

イエス・キリスト

神の愛の啓示者

カウンターレイヤーのテキスト:

人類は愛の神を求めて模索している。聖書は神が存在すると教えています

そして「それは愛です」(1ヨハネ4:8)。そして神は御子を通してご自身の啓示を与えられました。研究
イエス・キリストの起源、立場、使命、働き、犠牲について学ぶと、私たちは次のことを知ることができます。

私たちは永遠の昔から、常に神の心に大切にされてきました。それは私たちに次のことも示しています

神は私たち一人ひとりの人生に、すべての悪を清めるための素晴らしい計画を持っておられます。

私たちに永遠の命を与え、何よりも祝福の天国を享受できるようにしてください。

期待。「目で見たことも、耳で聞いたことも、世界に入ったこともないもの」

「人間の心」は、神を愛する人々のために神によって用意されました(1コリント2:9)。

イエス・キリストの啓示を通して神の真の姿が見られるとき

聖書で与えられ、この知識が世界に発表されれば、すべての人間が持つことになるでしょう。

壮大で、説得力があり、魅惑的で、魅力的なものに抵抗しないとしても、神に感謝し、愛するための条件。

彼の愛の包み込むような影響力。

イザヤはこう預言しました。「地は主の知識で満たされるでしょう。

水が海を覆う」イザ。 11:9。本書は、この言葉の実現に貢献します。

について、現在までに神が喜んで著者に明らかにしたことを提示します。

イエス・キリストを通しての神の愛の現れ - 永遠の始まりから

私たちの時代まで。これを読むと、誠実な人は毎日水浴びをする意欲が湧くはずで

この素晴らしい啓示の果てしない海へと、どんどん深くなっていきます。「そして永遠の命とは、

これは、彼らがあなたを、あなただけを唯一の真の神として知っているということです。そしてイエス・キリストへ

あなたが違わしたのです」ヨハネ 17:3。

序文

多くの人は、物語の中に愛の神を見出すことができません。

聖書、特に旧約聖書と黙示録の預言。そしてこれは

本文の中に表現されているキリストとその働きを見つけることができていない。しかし、彼らが彼と彼の姿を見ると、これらの文章に示されている作業により、不明瞭だったものが明らかになり、明らかになるでしょう。

それから神の働きの性質についての真実。そうすれば慈悲と正義が生まれるだろう

古くから、あらゆる目的において完璧なバランスが保たれていると考えられてきました。

世々に永遠に続くものであり、また神の政府とその知恵を示しています。

すべての生き物の幸福を促進するのに最適です。

この本のメッセージがあなたの目をこの現実を開き、神への忠誠へと導くことが著者の心からの願いです。

読んでいるあなたに神のご加護がありますように!

導入

起源についての啓示、

キリストのご性質と私たちに対するキリストの働き。

キリストにおける神の愛の啓示の深さは、人類の限界をはるかに超えています。

人間を理解する能力があり、間違いなく研究の対象となるでしょう。

永遠に主から贖われます。しかし、キリストについては真実があります

使徒の時代から隠されてきたが、今日理解されれば貢献できる

多くの人があるままの神を知り、神を受け入れることを妨げているバールを取り除くこと

計画を立てて救われます。この巻では、主に喜ばれたいいくつかのことを明らかにします

御言葉の研究を通して自分自身を明らかにしてください。「隠されたものは人々のためのものである」と書かれています。

私たちの神、主よ。しかし、明らかにされたのは私たちと私たちの子供たちのためです。

常に、私たちがこの法律のすべての言葉を履行できるようにするためです。」 29:29。「から何があったのか」

原理、私たちが聞いたこと、自分の目で見たこと、

私たちは命の言葉について熟考し、手で感じます（そして人生は

私たちはそれを見て、それを証しし、あなたにそれを宣言します。

永遠、それは御父とともにあって私たちに現されたものです) 、私たちが見聞きしたものです
私たちはまた、あなたがたも交わりを維持できるように、他の人たちにもお知らせします。
私達と一緒に;そして私たちの交わりは御父とその御子イエス・キリストとの間にあります。」ヨハネ第一 1:1-3。

聖書は、「主を知り続けましょう」と勧めています。ように
この検索の結果、「彼は雨のように、後の雨のように私たちのところにやって来ます。
地球。"おせ。 6:3。私たちは聖書の各節におけるキリストの啓示を知らなければなりません。
聖書。

イエス・キリストの啓示が各章で明らかになったということを明確にする価値があります。
人間を「後の雨」に導く可能性があるのは、次のことだけではありません。の中に
千ページを超える聖書には、あらゆる種類の心の傷に効く薬が書かれています。そして投稿してください
私たち一人一人が異なる必要を持っていることを知っているように、主はご自分の羊をそれぞれ
彼女が恵みのうちに成長し、彼女の特有の欠点を克服し、そして
イエスに似せて人格を完成させる。本書の目的は、あなたの貢献に貢献することです。
キリスト教の完全性を目指す旅、そして何よりも同じ探求を行うよう動機づける
私はそれを御言葉の中で行い、その結果としてその章ができました。そして、この検索があなたに次のことにつながりますように。
私とそれに参加するすべての人たちと一緒に、「雨のように、
大地を潤す後の雨のように。」それでは、本題に入りましょう！

第1章

キリストに基づいて設立された神の永遠の契約

永遠の日々における彼の目的と約束

「山々が生まれる前、あるいはあなたが地球と世界を造る前でさえ、永遠から永遠まで、あなたは神です」詩 90.2。永遠の時があった神だけが存在した過去。キリストの起源はその後に起こりましたが、永遠の日々にも。御言葉にはこう書かれています。何千ものユダの中から、イスラエルの主となる方があなたから出て来るでしょう。その出自は太古の昔から、永遠の日から。」ミク。 5:2。

私がまだ孤独で、永遠に、誰の伴侶もなく、孤独だったとき、神は次のことを予見されました。未来。彼は自分自身について次のように宣言します。「私は神です…最初から終わりを告げる者です。始まり、そして古代からまだ実現していないこと」イザ。 46:9,10。彼は「存在しないものを、あたかもすでに存在しているかのように呼びます。」ロム。 4:17。そこで、その後知ったのですが、知的存在とその住居となる場所、空、宇宙、惑星を創造する存在の秩序（一部の天使や人間）は神の意志に反抗するでしょう。それは反乱を起こせば彼らは取り返しのつかない死刑宣告を受けることになる。神はこう言います。わたしに対して罪を犯すことは、あなた自身の魂に暴力を与えることになる。私を憎む者は皆死を愛する。」教授8時36分。

神の政府においては、神の意志が法となるでしょう。彼の命令、あるいは戒めは、律法の表現であり、神ご自身の性格と一致しており、そうすることができます。その転写とみなされます。

「罪は律法を犯すことです」ヨハネ第一 3:4。それは神の意志に反します。彼は神に従わないという被造物の意志を具体化したものである。それはまた、その被造物が神の意志に反逆しているという証拠でもあり、

神に支配されたくない、神の王国に属したいという願望の表れです。

しかし、神は万物の創造主であるため、神の管轄権、つまり制限はありません。

政府とは宇宙全体、あるいはあらゆるもの、そしてすべての人々のことです。したがって、生き物がある場から抜け出す方法はありません。

神の政府の限界。詩篇作者はこう言いました。

あなたの顔からどこへ逃げますか？私が天国に昇れば、あなたはそこにいます。シェオルでベッドを整えたら、見よあなたもそこにいるということ。もし彼が朝の翼を手に入れたなら、もし彼が海の果てに住んでいたなら、そこでもあなたの御手はわたしを導き、あなたの右手はわたしを支えてくださいます。詩 139:7-10。ただのために死は被造物が神の国を放棄する可能性があります。避けられない結論は、神に対する反逆の道は死につながります。または、書かれているように、「給与」または

「罪」の報いは死です（ロマ6:23）。罪人が生きることは不可能だ永遠に。

創造主の政府は、死がなく、罪がない場合にのみ安定します。またはつまり、神の被造物たちから暗黙的かつ自発的な服従と服従があった場合です。存在たち思慮深く知的な人々は、愛からのみそのような忠誠心を示すでしょう。

神は最初からご自分が誰であるかを知っていました：「神は愛です」(1ヨハネ4:8)。でもあなたの被造物は神を知る必要があるでしょう。彼は自分が作った作品を通して自分自身を知らせようとした。•使徒パウロはずっと後になって、次のように証言しました。「神について何が分かるか...神それを彼に表現した。世界の創造以来、神の目に見えないものについては、神の神性としての永遠の力は、次のようなものによって理解され、明確に見られます。作られている。」ロム。 1:19,20. しかし、依然としてこの現れのただ中に生きており、アダム、イブ、そして彼らの人間の子孫は罪を犯し、死刑判決が下されることになります。彼らは。

罪は2つの方法で現れる可能性があります。1つ目は、すぐ目の前で神の愛、力、栄光が完全に啓示される前に。2番目は次のとおりです彼の不在 - 神の愛の部分的な現れに直面しました。その方が良いでしょう以下に説明します。

一部の天使は御父の御前で罪を犯しましたが、サタンはかつてルシファー、光の担い手、翼で神の栄光を覆う天使でした。どれが他のどの生き物よりも神に近かったのです。「あなたは油注がれた智天使でした。」守ってください、そして私はあなたを確立しました。あなたは神の聖なる山、石の真ん中にいましたあなたは赤くなった。あなたは生まれたその日から、あなたのやり方では完璧でした、あなたに不正が見つかるまでは。」エゼ。 28:14,15. 反逆者は知っていて見たので、神ご自身、そして神の愛があなたの目の前で示されているにもかかわらず、それでも神のご意志の賢明な助言に頑固でした、神以外に何もありませんでした罪人に従順に戻るよう説得するためにご自身を現すことができた自主的な。このような反乱は修復不可能であるように見えました。このため、かつて彼と彼らの天使たちは自らの立場を堅固にし、彼らを救うためにできることは何もありませんでした。いいえ反逆的な天使たちに救いの可能性があったのです。

人類は神の栄光と性質の部分的な啓示を前にして罪を犯しました。「エデン」とは楽園を意味するため、エデンの園は素晴らしかったです。しかし、その輝かしい姿は神の性質の小さな側面を表したものでした。

同じものの部分的なデモンストレーション。人類の罪について使徒パウロ

「蛇がその狡猾さでエバを欺いたのと同じように、

あなたがたも感覚を何らかの形で損なわれなさい」 2コリント11:3。

天使たちとは異なり、イブと今日まで彼女によって生まれてきたすべての男性は、天使とは異なります。彼らは、自分たちが誰に反逆しているのかを、徹底的に知っていました。これらのために彼らの忠誠心を取り戻し、欺瞞の業を元に戻す希望があるだろう。神の真の性質を明らかにすることです。この啓示に直面して、男性たちは、彼らは神の政府と律法への従順に戻り、死を逃れることを選択することができました。福音はこの啓示で構成されており、以下に示します。

どのようにして、そしてどのような代償を払って、男性にこの機会を与えることができるのでしょうか？「ああ罪の対価は死です」 6時23分。神の政府の安定だけが違反者に罰則を適用することで維持されるだろう。したがって、人間にとって、生きることはできても、一度罪を犯したら、そのために死ななければなりません。

解決すべき問題があった。人間が罪を犯し、誰かが彼のために死ぬとしたら、それは解決すべき問題である。そのとき人間は救われ、自分を犠牲にした者は失われる。ある命は別の命のために与えられます。もし1つ他の誰かが救われるために負ける。それは完璧な解決策ではないでしょう。保存することは可能でしょうか？誰も失わずに？はい、ただし誰かが死ぬ可能性がある場合に限りです。復活する。神は不滅であるため、人間のために死ぬことはできません。不滅で、目に見えない、唯一の賢明な神に...唯一不滅を持ち、住まわれる方近づきたい光の中で。だれも見ることがないし、見ることもできない」（1テモテ 1:17; 6:16）。人間のために死んだ後、ご自身の義によって復活することができる存在、つまり救い主を存在させる必要がありました。

しかし、この存在は生き物であるはずがありません。すべての知的存在は「神の像」 Gen. 1:26。しかし、神との平等ではありません。神性の性質を持っているが、生き物が充実しているとは言えない彼から。したがって、たとえ被造物が罪深い人間のために喜んで死んだとしても、無知、またはキャラクターの部分的な無知によって失敗する可能性があります。神の意志。被造物の最高位である天使でさえも、この世界から逃れることはできません。ルール。次のように書かれています。「人間は創造者よりも純粋なんでしょうか？それから

「彼は自分の僕たちを信頼せず、自分の天使たちを愚かだと思う。」ヨブ記 4:17,18. もし天使がもし彼が罪深い人間のために死んだなら、彼は自分の義によって復活することはできません。なぜなら彼女は法律の要件の範囲をはるかに下回るでしょう。詩編作者はこう言っています。完璧さには限界が見えましたが、あなたの戒めは非常に広範です。詩 119:96。法律というのは表現です。神聖な性格の。そしてすべての生き物は法則の対象です（法則に支配されています）。

この文脈では、復活できる存在はただ1人だけです：人格の高さを持つもの法律と同等。全体を通して神の律法の要求と同等の高さその広さ。彼は反乱と何のつながりも持っていなかったし、そうでもなかった無知からであっても間違いは犯しませんでした。彼は罪を犯さずに生きることができた。それは、

死んでから、ご自身の義によって復活します。そしてこれは神の律法の悪化を引き起こすことなく、政府。律法は神の性質の転写であるため、人格の聖さ

この存在のそれは神自身のそれと同等でなければなりません。

この観察から、神は条件を満たす解決策を考え出しました。

神ではない（したがって不死ではない）息子を産む。

死ぬ）そして彼と同等の神聖な人格を持っていた。ここ地球上で、私たちは次のことを観察しています。

子供は父親から性格特性を受け継ぎます。そして神は私たちができるようにそのようにしてくださいました

「父と子」の関係を理解することで、自然のものを通して、

永遠からの神の働きを理解してください。神が御子を生んだ場合、その伝達は

神の働きはすべて完璧なので、性格も完璧でしょう（申命記32:4）。したがって、息子は

御子の意志は御父と完全に一致するでしょう。そして

神の意志が律法であるように、御子の意志もまた律法となるでしょう。したがって、彼は神と同じように、

彼の父は、両者が一緒に創造する存在のための法則の与え者となるでしょう。

この時点で、明確にする必要があります。神には人間のような制限はありません。

子供を産むために。女なんて必要ないよ。彼は言った、「見よ、わたしは主である。

すべての肉なる神。私にとって難しすぎることはありますか？」ジャー。

32:27。彼は男性と女性を創造しました。彼は彼らに、子供を産む能力を与えました。

両方の結合。しかし、創造主である神は、自らの創造物に課した制限に従うでしょうか。

生き物？私たちは、女性の像を彫刻した芸術家は次のようなものであると結論付けます。

女性の彫刻のみを作成することに限定されており、女性の彫刻を作成することはできません。

男性？言い換えれば、神はその考えや思考において限界があるだろうかということです。

創造性と神の力が私たちの考え方に影響を与えるでしょうか？彼は御言葉の中で次のように述べています。

あなたの考えはあなたの考えではないし、あなたのやり方は私のものではない

そう主は言われます。天が地よりも高いのと同じように、

私の道はあなたの道よりも高く、私の考えは

あなたの考えよりも高い。」いさ。55:8,9。さらに、神は次のように教えています。

新しい命の誕生は父と母の結合だけではなく、

それは「父親」の体の一部からでもありました。いくつかの植物種はそうではありません

彼らは生殖するために「男性と女性」の結合を必要とします。むしろ、他のものを生み出すことができます

自分自身の断片から新しいものを作ります。枝を切り取って地面に埋めるだけです

そして彼は新しい植物を形成します。したがって、いくつかの植物が「子供を生み出す」ことができることがわかります。

枝の。もし神がこのように繁殖できる植物を創造したとしたら、次のことは明らかです。

彼が望めば、この手段を通じて子供の父親になることもできる。

原点に立ち返って、神は永遠の過去において、未だ孤独なまま、考えた。

これ全部。人間が救われる可能性があることは明らかでしたが、

罪を犯した後、彼が息子を産んだ場合。この御子は人々を救うために遣わされるであろう、彼の代わりに死ぬのです。したがって、メシア、またはキリストという名前が付けられました。「キリスト」の語源は次のとおりです。「遣わされた」を意味するギリシャ語「クリストス」に由来するメシア用語。

さらに、共に生きながら神と同等の性質を受け継ぐことで、人々はイエスを彼らに明らかにするでしょう。したがって、神ご自身がご自身を与えるというのは真実でしょう。御子の人格において人間を知りなさい。そして人々が次の啓示を受けたとき、キリストのうちにある神は、神を知り、神の救いを選び、神の臣民となることができました。永遠の死から逃れる王国。そして、その恩恵を受けるのは男性だけではありません。全て知的な存在の命令は神の性格と愛をよりよく理解するでしょう。被造物の生涯、メシア、受肉した神の子、人間の中で証明されるイエス・キリスト。そして、彼らを創造主と結び付ける愛の絆は、彼らはこの巨大で十分な量についてさらに研究し、学んだので、それは神の政府の永遠の安定と国民の完全な幸福を保証する啓示である。彼のすべての生き物。

救いの約束は将来の罪人たちに与えられることになっていました。そしてその基礎は、生成されてメシアとなる神の御子でした。キリスト。したがって、生き物の全宇宙と私たちに對する神の目的は、彼に基づいています。そして、キリストは「とこしえの時代に」（ミカエル 5:2）生まれましたが、神を通しての神の目的は神の存在以前のものであり、それは「創造された永遠の目的」です。私たちの主キリスト・イエスにあって」エペソ 4: 3:10,11。

結果としての真実は、神の目的は、いかなる目的であっても、彼の創造物、あるいは彼らが住む宇宙はキリストに基づいています。従って私たちは、キリストが「神の創造の始まり」であることを理解しています。3:14;つまり原則は救いと人を救うという神の永遠の目的から生じる、あらゆるものとすべての人に対する神のプロジェクトのこと。主を通して行われる犠牲と働きを通して、すべての人の永遠の幸福を保証する息子。これと同じ意味で、「万物はキリストのうちに創造された」コロサイ 1:14。つまり、すべて創造されたもの、あるいは存在するように設計されたものは、その基礎としてキリストを持っていました。もし彼がそうでなかったら生成されたとしても、宇宙と存在は何も生成されません。罪。したがって、「キリストなしには、造られたものは何も造られなかった」(ヨハネ 1:3)。

宇宙と存在の創造は、単に世代や存在に基づいたものではありませんでした。キリストの存在。それはまた、彼の使命、彼の受肉、そして人間のための彼の犠牲のこと。パウロは「神は…イエス・キリストを通してすべてを創造されました」と言いました。エフ。3:9。この節で使徒は御子の個人的、肉体的な参加について語っているわけではありません。地球と他の惑星の創造における神の働き。なぜなら、彼は「イエス」という名前を示しているからです。キリスト"。「イエス」という名前は、イエスが受肉してこの世に来られたときにのみ与えられました。

そのとき、天使はこう言いました。「マリア、恐れることはありません。あなたは神の好意を得ました。

そして見よ、あなたは胎内に宿り、息子を産み、その名を呼ぶだろう

イエス。"リュック。 1:30,31. したがって、神は「イエス・キリスト」を通してすべてを創造されたと言うには、次のようになります。

パウロは、創造物の存続可能性は、神の到来の約束によるものであると伝えています。

受肉した神の子、そして神の犠牲。

人間イエス・キリストは創造プロジェクトの基礎、つまり礎石です。

それが、他の誰でもなく、彼が「隅の頭として置かれた石」である理由です。

(マルコ 12:10)、教会は、それを伝達するための指定された導管です。

地球上の救いのメッセージについての知識は啓発されなければなりません。

この素晴らしい計画の文脈では、これまでに見られたことから、それは次のようになります。

倒錯、神の偉大な計画を人類の共通の計画に無限に追いやること。

人間の日常生活では、生き物として生まれた人間は誰でも、

私たちは、独り子として神との生を持っていないのです。

地球上のキリストのこと。これを受け入れることは、その生き物を創造主の立場に置くことになります。その男

汚れのない、完全で祝福された神の御子に代わって、不純で罪深い者となります。私たちの救いのために置かれた
錨、真の石を変え、神の威厳を取り除きます。

空を作り、その場所に「小石」を置きます。これはキリストがペテロに与えた名前です

マタイ 16:18 にあります。原文より：「あなたはペテロ（小石）です、そしてこの岩の上に私は私の教会を建てま
す、そして地獄の門がそれに打ち勝つことはありません。」

偉大な石であるキリスト・イエスを「小さな石」と交換することは、無限の偉大さを貶めることになるでしょう

そして、宇宙の玉座で父の隣に座る神の子の純粋さは、

一般人、墮落した人類に共通する自然の卑劣さの参加者。

本題に戻ると、これまでに暴露されたことを理解した上で、私たちはこう叫ぶことができます。

パウロのように：「私たちを選んでくださった主イエス・キリストの父なる神が祝福されますように」

世の基が置かれる前から、キリストのうちにあった」エペソ 1:11。 1:3,4. 彼は私たちのことを考え、目的がありました。

私たちに對して永遠であり、キリストにおいて、永遠に、キリストが生まれる前から私たちに愛してくださいました。

息子。これまで見てきたことから、私たちの救いに対する神の恵みはそうではないと理解しています。

それはちょうど2000年前、十字架上で私たちに与えられました。しかし永遠そのものの中で、

後に人間となる神の子を犠牲にするという約束

イエス・キリスト。「神は……私たちに救い、聖なる召しをもって私たちに召してくださいました。に従っていない

私たちの働きは、キリストご自身の目的とキリストにあって私たちに与えられた恵みに従って行われます。

イエスよ、世が始まる前に」テモテ第二 1:8,9。

したがって、神が次のように言われるとき、神は真実であることがわかります。

私は愛してきたから、優しさをもってあなたを描きました。」ジャー。 31:3。キリストは「彼の愛の子」です（コロサイ、

1:13);神の永遠の愛が私たちに、そして私たちに絶えず現されているお方です。

宇宙全体。そして私たちにとって、キリストは私たち自身の存在の保証人であり、
神の愛の真の性質を明らかにする者。私たちの救い主、永遠の仲介者です
恵みの契約について。和解の約束の履行に対する永遠の保証
罪からの自由と、彼の側にある将来の永遠の命を永遠の父とともに。 "神
私たちに永遠の命を与えてくれました。そしてこの命は御子の中にあります」 ヨハネ第一 5:2。

人間の救いの代価は神の子の命です。彼はもっと上手いかもしれない
キリストがどのように神によって永遠に創造されたかについての啓示に基づいて評価され、
それについては次の章で見えていきます。

第2章

神の独り子と救いの代価であるキリスト

御子を生み出す際の神の苦しみ。

被造物に対するすべての約束はキリストにおいて与えられました。

これは新旧問わず聖書全体を通して確立されている真理です。

キリストが文字通り神の子であったという証拠。神はヨブに語る時、次のことに言及します。

彼は言いました：「私が地球を築いたとき、あなたはどこにいましたか？...どこへの道はどこですか？

光は生きているのか？そして暗闇に関して言えば、その場所はどこにあるのでしょうか。あなたがそれらをあなたのところに持ってくるができるように

制限を設けて、家までの道を知るには？もちろん、あなたはその時代に生まれ、あなたの日数が多かったので、それを知っています！」ヨブ 38:4,19-21。明らかに、

この文書はヨブについては言及していませんし、人類の父であるアダムも神が生まれたときに生まれたわけではありません。

地球を創設した。しかし、キリストはそうです、そうでした。「彼は初めに神とともにあった」ヨハネ 1:2。

その後、箴言の本の中で、キリストご自身がそこに呼ばれました。

神の「知恵」（1コリント 1:24,31）は、彼が永遠の日に生まれたと宣言しました。

主はその最も古い働きの前、働きの初めに私に憑依されました。以来

永遠は、地球が始まる前に、最初から確立されていました。存在する前は

深淵、私は生まれました、そして、水で満たされた噴水が存在する前に。の前に

山ができて、丘ができる前に私は生まれました。彼はまだそれをやっていなかった

地球も、その広がりも、世界の塵の始まりさえも。」教授8:22-26。それから、

生まれた後、彼は神とともに万物の創造に参加しました。

天、そこに私はいた…」箴言。 8時27分。

すでに新約聖書の中で、キリストは地球上での使命を果たしながら宣言しました。

この世に生まれる前に生まれたピラトにこう言いました。「イエスは答えた、『あなたは私が王だと言っています。』

このために私は生まれ、このためにこの世に生まれ、真実を証しするために」 ジョン

18:37。情報の順序に注意してください。最初に彼が生まれました。それからこの世に誕生しました。

まず、永遠の昔に、彼はそこで生まれました。そして数年前に彼はこの世に生まれ、

メアリーの胎内で。

パウロはキリストの言葉を確認しながら、キリストが神の子であることを証言します。

文字通りの誕生であり、彼の起源を天使の起源と区別し、後者は次のように創造しました。

神は息子をすべての後継者に任命し、彼を通して世界も造った。それは、彼の栄光の輝き、そして彼の人柄の明白なイメージがさらに増しました。彼らよりも優れた名前を受け継いだ天使たちよりも優れています。なぜなら

「あなたは私の子です、今日私はあなたを産みました」と言ったことのある天使は誰ですか？そしてもう一度「私はあなたのためにいます父よ、彼は私の息子になるでしょうか？」へブ。 1:1-5。ここで言及されている機能のみ文字通りの息子の：「父の名」の相続人。「父によって生み出された」。「急行」であること彼の人物像。」そして御父ご自身が、「あなたは私の子です、今日私はあなたを産みました」と言われました。存在しない別の方法で理解する方法。

キリストが文字通りの御子であるという完全な証拠を見て受け入れたら、神から生まれた私たちは、世界の終わりにいた場所に戻る立場にあります。前の章。私たちは、はるか昔にその目的を理解していました。被造物に対する神と、それらを統治する政府はすべて、キリスト。しかし、出来事が起こった当時、この計画は神の心の中にのみ存在していました。キリストはまだ生まれていませんでした。神は孤独だった。この現実はヨハネ 1 章 1 節に描かれています。ギリシャ語原文のバージョンでは、その文字通りの翻訳は次のようになります。言葉は神の中にあり、神は言葉そのものであった」（ヨハネ1:1）。とは違うことはわかっていますそれは現代版の聖書に載っています。最新バージョンでは歪みが生じることが判明しました。オリジナル。一語一語翻訳されたギリシャ語のテキストを参照してください。

v それは言葉であり、言葉は神に向けられたものであり、神は言葉であった
pχ 初めに言葉がありました、言葉は神の中にあり、神は言葉でした

原文の意味は、永遠の父である神は、世界に存在する「言葉」でした。原理。そして彼が一人だったとき、神はご自身に代わって語られました。その後、出産後、息子よ、神はキリストが今後ご自身の代弁者となることを決定されました。の単位二人の間の思考と目的は非常に完璧だったので、言葉は思考のためのものであり、キリストは父のためのものである、それが聖書がキリストについて言及する理由である。「言葉」とは、「そして言葉は肉となって、わたしたちの間に宿った」（ヨハネ1:14）というものです。

キリストが言葉であったことを理解すれば、私たちはヨハネの時代に戻ることができます。1:1を理解して、その意味をより深く理解してください。もう一度本文を見てください原文：「初めに言葉があった、そして言葉は神の中にあり、神は言葉であった。」ここで、聖句の中央にある「言葉は神の中にあつた」という表現に注目してください。これにはそれがありません前回と同じ意味です。「そして神は言葉であった」（ヨハネ 1:1）。唯一の理解可能性としては、言葉、つまりキリストが神の中にあつたということです。神、キリストしかいなかった頃私は神の中にいました。それは単に神の心の中のプロジェクトとしてではなく、神の中にあるのです。このような？「イン」とは「内部」という意味です。このテキストは文字通り、キリストが生まれたことを表現しています。

つまり、それは神の体内から採取された一部から生成されました。

イエスは大祭司の祈りの中ではっきりとこう言われました。

あなたは私に与えてくれました。そして彼らはそれを受け取り、私があなたから来たことを本当に知り、信じました

あなたが私を送ってくれたことを。」ヨハネ 17:8。「私はあなたを去りました」という表現は、「私はあなたの元を去りました」という意味ではありません。

なぜなら、それはシーケンスの中で「あなたが私を送ってくれた」という言葉によって表現されているからです。注意してください

情報の順序として、最初は遠い過去の「私はあなたから出てきました」。それから「私

送りましたか？」彼は永遠の日に神の体を去りました。しかしそれは私たちに送られてきました

約二千年前。

イエスは神から来ましたが、胎内で創造されたわけではありません。

女性は赤ん坊を運んでいる。なぜなら、彼女は夫との団結なしに、一人でそれをしているわけではないからです。なしで

父親と母親の合計では人間の子供は形成されません。でも神は絶対だったので

一人であるならば、御子は彼一人から生まれるべきである。

創世記の中に、これまでのところ最良であることが証明されている記述が見つかります。

神の御子の生成過程を示す図：「それから主なる神は、

アダムは深い眠りに落ち、彼は眠ってしまいました。そして彼の肋骨の1本を取り出して閉じました

代わりに肉。そして主なる神が人から取られた肋骨から、

女性;そしてそれをアダムに持って行きました。そしてアダムは言った、「これはもう私の骨の骨であり、私の肉です」

私の肉体。彼女は男性から取られたものであるため、女性と呼ばれるでしょう。」将軍2:21-23。

イブはアダムの肉体から生まれました。そして、両方とも異なっていました、保存されていましたが、

それぞれが独自の個性を持ち、人間という同じ本質を共有していました。それらは作られました

肉と骨の。

ちなみにアダムという名前は「男」を意味します。聖書はその起源について言えば、

人類はこう言います。「これはアダムの世代の本です。神が創造したその日、

人間は神に似せて彼を作りました。彼は男と女を創造し、祝福し、呼んだ

彼らの名前はアダムであり、彼らが創造された日にちなんで付けられました。」将軍5:1,2. 神は両方に名前を付けました。

アダムとイブ、「アダム」、または人間。このようにして彼は自分の平等について言及した。

身体的性質、性格、目的 - どちらも人間であり、神の手から来たものです。

創造主自身も、創造主から性格特性を受け継ぎ、その目的に沿ったものでした。

彼らは一緒に調和して暮らし、家であるエデンの園の世話をしました。

アダムとイブの例は、キリスト誕生の謎に光を当てます。

永遠の日々。アダムの体の一部から神はイブを形成しました。

胸の中にある肋骨。これは、「独り子」、つまり唯一の者にそれがどのように起こったかを示しています。

神から生まれた子。書かれているように、神の「目に見えないもの」は「理解され、

それは創造されたものによってはっきりと分かります」(口マ 1:19,20)。ジョンはこう言いました。

「独り子」とは「父の懷に」ヨハネ 1:18 です。この聖句は、神が創造したことを示しています。

息子が自分の体の一部を胸の高さから取り除きます。

アダムからイブを形成し、アダムから息子を形成しました。彼はそれを足から外しさえしなかったそれは、神が彼をご自分と同等の地位に高めるためであり、彼の手ではなく、彼の胸でした。

同じ。この真実には非常に印象的なものが含まれています。神様のとき

エバを形成し、「アダムに深い眠りをもたらし」、彼は眠りに落ちました（創世記 2:21）。彼

肋骨を切除する痛みを感じないように彼に麻酔をかけましたが、

その後、彼の仲間会った喜び。神の場合はそうではありませんでした。する人は誰もいなかった彼に麻酔をかけ、彼自身の体の一部を切除し、穴を閉じることで痛みを和らげます。

傷の場所から息子が生まれます。

あるタトゥーアーティストはかつて、胸は人がタトゥーを入れる場所の一つであると述べました。

タトゥーを入れるとさらに痛みを感じます。そして神はご自身の胸から一部を取り出しました。

私たちが最も痛みを感じる場所。したがって、私たちは彼が感じた肉体的な痛みを理解することができます。

私たちは「主に似せて」造られました（創世記 1:26）。これはすべて、それすらしない私たちのせいです。

もし私たちがまだ創造されていたら、私たちは罪を犯し、死からの救いが必要になるでしょう。神よ、

過去の永遠、彼に極度の苦痛を与えた犠牲を自分に課した

御子を生み出し、御子を通して私たちに救い主を与えることができるようにするためには、言葉では言い表せません。したがって、いつ

過去の永遠を見ると、私たちは神の中に自己犠牲的な愛の啓示を見ることができます。

「神は愛です」ヨハネ第一 4:8。そして「愛は切望に苦しむ」コリント13:4です。彼が自分自身を犠牲にしたのは、

永遠からあなたを大切に、愛していました。そこには「私は永遠の愛であなたを愛しました」と書かれています。 31:3。

創世記 1 章 26 節で宣言されている、私たちの体が神に「似ている」ということによって、

私たちは、神が胸の一部を取ることによって、自分の体の一部を取り去ったことが理解できます。

それは心に近かった。心臓は愛に最も関係のある臓器です。これは示しています

神の意図は、将来、今日、私たちが見たとき、

この神秘的な犠牲は、それ以外の理由ではなく、愛のためであると確信できました。

それは、神がそれを成し遂げたからです。永遠の過去におけるキリストの誕生は、

神の愛の証明。御子は生まれたときからすでにその目的を果たしていました。

宇宙に対する父の愛を実証します。書かれているように、神の愛は「内にあります」

キリスト・イエス」（ローマ 8:39）。

この啓示から、私たちはパウロの言葉をより明確に理解します。

神は「私たちが救い、聖なる召しをもって私たちが招いてくださった…神の言葉に従って」と書いてください。

キリスト・イエスにあつて私たちに与えられたご自身の目的と恵みです」（2テモテ1:9）そしてまた

彼が「世界が始まる前に」キリストにあつて「永遠の命」を約束したと言ったとき

（テトス第二 1:1,2）。つまり、永遠の昔、宇宙と時間そのものを創造する前に、神は、

言葉では言い表せない犠牲によって、神は私たちに希望の礎石であるキリストを与えてくださいました。

そして彼を通して私たちの罪の赦しと永遠の命の恵みを確保してくださいました。 •

人間の父親と母親は、ベッド、衣服、寝室を備えたレイアウトを準備するのに苦労しています
小さな赤ちゃんのために、生まれる前に購入します。神は私たちのためにも用意してくださいました。
私たちが生まれるずっと前から、私たちに無料のレイアウトを提供してくれました。したがって、誰も自分自身を許してはならない、
神の目から見てあなたはそれほど貴重ではないと一瞬も思っははいけません。あなた
そして私は愛され、大切にされ、期待されていました。詩編作者は次のように言いました。
私の体はまだ形成されていません、そしてあなたの本にはこれらすべてのことが書かれていました。
それらのどれも存在しなかったとき、日ごとに形成されていました。」(詩 133:16)。

こうしたすべてに直面しながらも、キリストを見つめ、その中に神の私たちに對する神の愛を見て、
私たちは神に自分自身を捧げますか？私たちは罪の道、律法違反の道から立ち戻ります
神に対して、神の意志に反抗して、神に仕えるのは、神が私たちが愛しているからです。
あなたの政府はきっと私たちにとって最善のものになるのでしょうか？私たちは、神の戒め（出エジプト記 20:3-17）に表さ
れている神のご意志に調和して自分の人生を歩むのでしょうか？私たちにとって何の意味があるのか
昔の生活、反逆の人生？彼女のために死のうそ！私たちの作品を考えてみましょう
本当の不服従：快樂ではなく、憎しみに満ちた不当な行為である。
最初から私たちのためにご自身を犠牲にするほど私たちが愛して下さった方への反逆
永遠！まったく重要ではない趣味と本当の意味
私たちが愛して下さっている創造主に仕えるために生きることに比べて！王国の主題については、
神とキリスト、「彼の死に関して言えば、彼はすぐに罪に対して死んだのです。しかし、それに関しては
生きなさい、神のために生きなさい」ロム。6時10分。

「神はその独り子をお与えになったほどに世を愛されました」
彼自身のために多大な犠牲を払って、彼から生まれた（したがって独生者）、
それは神が人間に引き渡されたときだけで、人間が来るずっと前に、
「それは、彼を信じる者が滅びず、永遠の命を持つためです。」
(ヨハネ 3:16)。それだけではありません。神の愛は地球の水よりも深い
海。その姿を垣間見るには、数え切れないほどのダイビングが必要になるでしょう。
あらゆる次元で隠された驚異。そして次はチャプターaで行います
次に、独り子であるキリストの性質、栄光、威厳を学びます。
そうすれば、私たちは神とその犠牲の大きさについてもう少し知ることができるでしょう。
息子よ、私たちの救いのために。

第3章

独り子キリスト

キリストの性質、栄光、威厳。

遠い永遠の昔、キリストが生まれたとき、神はキリストにこう言われました。

あなたは私の息子です、今日私はあなたを生み出しました」へブ。 1:5。彼は「彼の人柄をそのまま表現したもの」へブでした。

1:3。「表現された像」という用語は、イエスが御父を完全に反映したことを意味します。で
肉体、外側と内側、道徳、性格、魂。

神は御子を御使いとしてモーセに差し出し、こう言われました。

彼の御名を受け取りました。「天使」という言葉には「メッセンジャー」という意味もあります。

神によってキリストに適用されたもの。そのテキストは次のとおりです。「見よ、私はあなたの前に天使を送ります。

あなたをこの道に留まらせてください...神の前で自分を守り、神ではなく神の声に耳を傾けてください。

怒りを引き起こす。なぜなら、彼はあなたの反逆を許さないからです。わたしの名は彼の中にあるからである」(出エジプト記 23:20)。そして、新約聖書の中で、パウロは神の靈感によって、キリストについて次のように明確にしています。

彼らは「へブ。 1:4。聖書では、名前は性格を表します。その一例がヤコブです。

「詐欺師」という意味です。彼は父親のアイザックを騙したときに自分の性格的特徴を明らかにしました
かつて兄エサウに与えられていた長子の権利の祝福を得るために。彼がいた

エサウが言ったとき、「彼の名前はヤコブと呼ばれるのが正当ではなかったのですか？」したがって、すでに2つ

何度も彼は私を騙した」 27:36。ジェイコブがこの悪い性格特性を克服したとき、

国名を「勝者」を意味するイスラエルに変更しました。名前を変えることによって、キリスト

「あなたは君主として、神と、人々と、そして

あなたが勝ちました」 32:28。さて、本題に戻りますが、ヘブライ人への手紙 1 章 4 節ではこうなっています。

キリストが神の名を受けたと述べましたが、使徒は私たちに次のように教えています。

彼の「性格」を受け継いだのです。

これを理解する別の方法は、次のように自然そのものと類推することです。

創造されたものは、目に見えない神の霊的なものを明らかにします（ローマ 1:20）。親は子供に性格特性を伝えます。子どもが同じことを繰り返しているのがよく見られます。

父親が「父のように、息子のように」と言ってやったこと。私たち人間とはどのような存在なのか
不完全であると同時に、この性格特性の伝達も不完全です。しかし、神はそうではありません。

御子を生むことによって、御子性の神への伝達は完璧でした。したがって、の性格は、

前の章で見たように、息子は父と同等であることが必要でした。

それは、御子が、その下にある生き物たちの救い主となるためでした。

罪の力。

キリストの本質に立ち返って、その体に関して聖書は、キリストは次のように教えています。

「神の姿で」、それによって私たちは神が身長、外見、特徴を持っていたことを理解します

父なる神と同等です（フィリピ 2:5）。

さて、神の独り子キリストの「魂」を少し分析してみましょう。用語

聖書の「魂」とは「命」という意味です。レビ記 17:11 にはこう書かれています。

血の中で」。しかし、脚注では別の訳として「生命」という用語が示されています。で

ポルトガル語への翻訳改訂および更新されたアルメイダ版はこれです

変形：「肉の命は血の中にある」。同じ意味が創世記 2:7 にも見られます。

「そして神である主は土の塵で人を造り、その息をその鼻に吹き込まれた」

人生の;そして人間は生きた魂となった。」したがって、私たちは、生まれたキリストの「魂」が、

神の命は神の命に対応します。したがって、キリストは「明示的に」生まれたので、

父なる人物の似姿（ヘブライ人への手紙 1:3）は、同じ魂、つまり同じ命を持っていました。

父が所有していた。この概念を理解することは、次のことを正しく理解することを意味します。

数十の聖書本文は、そうでなければ混乱しているように見えますが、それが必要です

これについては、次の段落でさらに詳しく説明します。

「神の命」が何を意味するかは、エペソ人への手紙 4 章の聖句から理解できます。

「そして私はこう言い、主にあって証します。あなたがたはもはや人々と同じように歩いていないのです。

他の異邦人は、空虚な心の中で。理解が暗くなり、遠ざかってしまう

彼らの中にある無知のせいで、彼らの心のかたくなさのせいで、神のいのちが失われてしまいました。どれ、

感情を失った彼らは貪欲に解散に身を委ねた

あらゆる不純物を犯してください。」エフ。 4:17-19。本文によれば、異邦人は分け隔てられている

彼らは「自分の心の虚栄心の中で」歩み、「解散に至るまで」自分自身を放棄するため、「神の命」を失います。

そして不純物。」言い換えれば、彼らは自分自身を捧げているため、神の命から切り離されているのです。

罪を犯し、悪を行い、悪の中を歩むこと。したがって、「生命」は次のように理解されます。

神はこれらのものの反対です。もし異邦人が神のいのちにつながっていたとしたら、

彼らは神聖のうちに歩み、善を行い、愛のうちに歩むでしょう。神の命は

神聖さ、純粋さ、正義に関連しています。正義は十の法則で表現される

神の戒め。「神の戒めはすべて義である」（詩 119:172）からです。•

戒めは「永遠の命」（ヨハネ 12:50）であり、「律法の成就是愛」です。

13:10。したがって、愛は神の命であり、それは正しく行動することによって明らかにされます。

法律に従って;そして、これは神聖さの中を歩み、神聖な状態で生きることと同じです。

純粋さ、「律法は神聖である」という意味です。 7:12。

これまで見てきたことから、神の愛を研究すると次のように結論付けることができます。

キリストを通して明らかにされ、キリストの誕生から、私たちは次のような立場に置かれています。

神の命そのものとの接触、なぜなら愛は神の命であり、「神の愛…」だからです。

キリスト・イエスのうちにいます」ローマ。 8時39分。したがって、私たちの精神（心）は、

感動した;そして、もし私たちがこの啓示に身を委ねるなら、私たちは神のいのちで満たされるでしょう。

あなたの愛から。使徒パウロの願いは、クリスチャンに次のような経験をしてもらうことでした。

「このため、私は主イエス・キリストの御父の前にひざまずきます...

愛に根ざし、愛に基づいているあなたは、それを完全に理解することができます。

すべての聖徒よ、幅が、長さが、高さが、深さが何であれ、

あらゆる理解を超えたキリストの愛を知り、あなたは満たされるでしょう。

神の満ち満ちたすべて」エペソ 4: 3:14-19。

本題に戻りますが、聖書にはいくつかの用語があることを強調しておきます。

神の命と結びついています。これは、私たちの人間の言語が

神の生涯を一言で定義するにはあまりにも貧弱です。しかし、

聖書に示されているさまざまな用語から、私たちは以上のことを学ぶことができます。

神はご自身について私たちに明らかにしてください。この分析は、次のテーマに関連していると言えます。

神の独り子キリストの性質。なぜなら、神は「急行」を生成されたからです。

父の姿」(ヘブライ人への手紙 1:3)を理解することで、父がどのような方であったかをより深く理解することで、生まれた時の父がどの

ような方であったかを理解できるようになります。今、私たちは特に神の「いのち」を分析しています。あ

聖書はこう述べています。「父がご自身のうちにいのちを持っておられるように、御子にも命をお与えになりました」

ご自身のうちに」ヨハネ 5:26。この表現はキリスト教界では非常に誤解されています。

それはまさに、神の「いのち」とは何かについてのより深い知識が欠如しているからです。

したがって、それに関連するいくつかの用語を分析してみましょう。

イエスはこう言われました。「わたしを遣わした父は、わたしが何をすべきかについて戒めを与えてくださいました。

言ってください...そして私は神の戒めが永遠の命であることを知っています」ヨハネ12:50。十戒

それらは神の性質の表現であり、したがって神の意志の表現です。私たちはそこに「命」を見出します

彼らへの服従。しかし、戒めは神の本質ではなく、むしろ神の表現です。

彼女。パウロは「戒めは一生続くものであった」とロムに言います。 7時10分。しかし、彼は「命」ではありません。あ

「命」は神の本質です。あるいは神とは何なのか。聖書の他の箇所では、

私たちが異なるものを理解するために人間の言語で使用されるさまざまな用語

神の「いのち」の意味の諸相。「神は愛です」ヨハネ第一 4:8。「神は光です」ヨハネ第一

1:5; 「神は霊である」ヨハネ 4:24。そして彼は自分自身についてこう言います。「わたしはあなたの神、主です。

聖なる者よ」レビ記 19:2。愛、光、神聖さは神の命に対応します。

このことは、以下に示す他の文書によっても確認されています。

- 神は愛です: ヨハネは、私たちが「死から命に移ったのは、なぜなら、

私たちは兄弟たちを愛しています」ヨハネ第一 3:14。

- 神は光です: イエスはこう言いました。私に従う者は歩まない

暗闇の中にも、命の光を得るであろう」（ヨハネ 8:12）と明らかにしています。

主の模範との調和は、光の中を歩むことに相当します。対照的に、

主に従うことを拒否することは、暗闇の中を歩くことに等しい。そしてイエスは

戒め（ヨハネ15:10）。したがって、光の中を歩むことは、従順に歩むことを意味します

そこから、戒めは「軽い」ものであることがわかります。あれは

詩篇作者は次の言葉で宣言しました。「あなたは私の足のともし火です。

詩 119:105。そして賢明なソロモンはこう言いました。「律法は光である」箴言。 6時23分。光

戒めの矯正、神聖さ、正義に対応します。そして暗闇

それらは、彼らに対する不従順の不正、不敬虔、不正に相当します。として

たとえば、私たちが第六戒「汝殺すなかれ」を次のように認識していると引用します。

正しくて正義である一方で、同じ犯罪である殺人が見られます

間違い、不敬虔、不正として。

- 神は霊です: パウロは「律法は霊的なものです」と言いました。 7時14分。法律というのは、

神の意志の表現。神は律法の与え主です。したがって、法律は調整されています

彼の思いとともに。したがって、神の心は常にそれと調和しています。この意味で神は霊である、つまり

神の考えは

常に神が定めた法に従っています。そして、これと同じ意味で、

キリストに改宗した人は「霊」です。イエスは人間の状態を比較しました。

彼の回心の前後で、次の言葉が述べられています。

肉;そして霊から生まれるものは霊である」ヨハネ 3:6。まだポイント通りであれば、できます

また、神は霊的な存在である、つまり、神は霊的な存在として考え、行動する、とも言う。

神の律法の原則と文言との調和。

これまで、「神は光である」と「神は霊である」という表現がどちらも正しいことを見てきました。

それは神が神の律法と完全に調和しているという事実に関係しています。そしてそれはそうする必要があります

それは神の意志の表現であるため、そうです。私たちはまだ理解する必要があります

「神は聖なる」という表現の意味。

評価してみると、律法は「神聖である」ことが証明されます。そして戒めは神聖で、正しく、そして良いものです。」

ロム。 7:12。「聖なる」という言葉は、欠陥がないことを確認した後に得られる結論を指し、ローマ人への手

紙 7章では次のような意味で使用されています。そしてその

罪の法則?全然違います! ... でも罪が、機会を利用して... 私のすべての中で目覚めました

情欲...だから律法は神聖だ。そして戒めは聖であり、正しく、そして善いものである」ローマ。 7:7-12。

したがって、律法の与え者である神が「聖なる」という言葉は、律法の完全性を表しています。

神。したがって、聖書は神が愛、光、霊であると宣言しているにもかかわらず、イエスはご自身について語るとき、「わたしは聖です」と言われます（レビ19:2）。覆い被さる天使たち自身が、彼の玉座を取り囲む言葉はこれ以上に適切な言葉が見つからなかった彼らが創造主に見た本質を表現します。したがって、「彼らは日中も休まない」

「聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな、全能の神、主は聖なるかな」と夜に言うこともなかった。4:8。繰り返すには最上級の意味があり、つまり、彼らが神を次のように見ているという意味です。

最も神聖で、愛、性格、目的、仕事、そして道において完璧です。そして、「いいえ」という表現「昼も夜も休まない」とは、彼らが飽きずに宣言することを意味します。

彼らは神の中に神聖さを見出します。したがって、「聖さ」という言葉は完全を意味します。

この時点で、次の点を追加するために小さな括弧を作成する価値があります。

テーマの理解に貢献します。神はこれを自分だけのために保持していません。

素晴らしい完璧さ、あるいは神聖さ。むしろ、彼はそれを私たちに伝えます。その一部を私たちに提供します

私たちが受けたいと願うのに応じて、神の聖霊を与えてください。イエスはこう言われました

霊は「父から出る」(ヨハネ15:26)、つまり、父の内から出ます。彼を非難することで

神は私たちに聖性を与えてくださいます。

イエスは、「霊は活力を与えるものである」(ヨハネ6:63)、つまり命を与えるものであったと言われました。ポールそれを「命の霊」と呼んでいます(ロマ8:2)。したがって、霊によって次のことが理解されます。

聖なるかな、神の命が私たちに伝わります。聖さは生命であり、霊はそれを伝える「媒体」または「経路」です。聖さには愛が含まれます。なぜなら「神の愛」だからです。

私たちに与えられた聖霊によって、私たちの心に注がれます。」 5:5。

神聖さは完璧を意味します。そして「愛は完全の絆です」コロサイ 3:14。誰が心に神の愛があり、聖性があり、また自分の領域において完璧である

神の目に影響力を与えます。イエスは愛と完璧を次の言葉で結び付けました。

あなたの敵よ、あなたを呪う者たちを祝福し、あなたを憎む者たちに善を行い、祈りなさい。

あなたを虐待し、迫害する人々のために。あなたがたがあなたの父の子供となるためです。

天国で。神は悪人にも善人にも太陽を昇らせ、雨を降らせるからです。

公平と不公平。というのは、もしあなたが自分を愛してくれる人々を愛したら、どんな報いがあるでしょうか？私たちは作りません

公務員も同じですか？そして、兄弟たちだけに挨拶するとしたら、あなたはどうしますか？

過度に？徴税人もこんなことするんじゃないの？したがって、ありのままに完璧でありなさい

あなたがたの天の父は完璧です。」マタイ 5:44-48。

ここで、神の神聖さ、あるいは完全さと、神聖さ、あるいは完全さとの違いを明確にする必要があります。

生き物は持つことができます。生き物の文脈では、完璧とは悪意がないこと、または

悪を行う意図。聖書はルシファーについて次のように述べています。

あなたが創造された日、あなたの中に不正が見つかるまで」エズ。 28時15分。「不法行為」

欺瞞または意図を意味します。「主が帰属されない人は幸いです。」

「その霊には偽りがありません。」詩 32:2

更新しました)。しかし、生物の完全さにおいては、無知による欠点は排除されます。神

「彼は狂気を天使たちのせいだと考えています。」ヨブ 4:18 つまり、彼は天使たちに不完全さを見ているのです。といえば詩篇作者は次のように述べています。でもあなたのもの

戒めは無制限です」詩 119:96。言い換えれば、絶対的な完全性が存在するのは神だけです。

生き物は、その知識の程度の範囲内でのみ完璧に歩くことができます。

彼らが悪を企てていないのであれば、つまり限られた知識の範囲内で、彼らは次のように理解しています。

正しいことを決めて実行する、言い換えれば、神への愛のうちに歩む

そして他の人々は、神によって彼らの領域において完全であると見なされます。これが意味です。

マタイの聖句より:「天におられるあなたの父が完全であるように、あなたも完全でありなさい。」

マタ 5:48。したがって、神は「無知の時代」(使徒 17:30)を考慮に入れません。

むしろ、完璧さ、神聖さ、

彼らの良心を照らした神の愛は次のとおりです。

法律があれば、彼らは当然合法的なことを行いますが、法律がないので、彼らは自分たちだけのものです

法;彼らは心の中に書かれた律法の働きを示し、共に証しをします。

彼の良心と考え、それを非難するか擁護するか。日中に

私の考えによれば、そこで神はイエス・キリストを通して人間の秘密を裁かれるでしょう。

福音。"ロム。 2:14-16。したがって、神の完全性、あるいは神聖さは、たとえ無知によるものであっても、

いかなる欠点も完全に存在しないことであるのに対し、被造物の完全性は、

それは神の神聖さ、つまり愛についてのあなたの知識の程度に比例します。

本題に戻って、神の本質についてこれまで見てきたことを要約すると、

私たちは彼が聖なる方であることを知っています。聖さは完全さ、あるいは神の人生です。それは神への愛を包含します

そしてその他は、十の法則の要約と成就です。

戒め。法律は本質的に霊的なものであり、神の詳細な意志であるか、あるいは

生き物が理解できる言語で説明され、生き物が正しいものを区別できるようにする

間違いから。この意味で、律法は人間にとって光でもあり、人間に次のことを示します。

永遠の命に至る行動の道。

これを理解したら、キリストの性質の研究に戻ることができます。キリスト

神の「明示的なイメージ」が生成されました。したがって、彼は生命、つまり神聖さを持っていました

あるいは神の絶対的な完璧さ。これがイエスの言葉の意味です。

父はご自身のうちに命を持っておられるので、御子にもご自分のうちに命を持たせるためにお与えになりました。」ヨハネ

5:26。キリストのうちには、借り物でも派生でもない、本来の命（聖性）があります。聖書では、

神に関して使用される「聖さ」という言葉に含まれるすべての用語、

息子にも適用されます。聖書は「神は愛である」と述べています。ヨハネ第一 4:8。そしてそれも

「神の愛はキリストのうちにあります」(ローマ 8:39)。使徒ヨハネは「神は光である」と明らかにしました (I

ヨハネ 1:5);そして彼自身、キリストについて次のように述べています。

ヨハネ 1:4。つまり、神の聖さ、あるいは神の愛と順応です。

律法はキリストのうちにありました。何が神聖で、正義で、善であるのかについて、これらの啓発された人たち。聖書には、「神は霊である」(ヨハネ 4:24)とも書かれています。そしてキリストについて彼は次のように述べています。それは御霊です」(IIコリント 3:17)。つまり、神が法と調和する存在であるのと同じように、それは霊的なものであり(ローマ 7:14)、キリストも同様です。そしてそれは天国でも認められます。のようなキリストを取り囲んでいた熾天使たち、そして御父との関係において(そして実際に)行いました。

「彼らは互いに叫び合って、聖なる、聖なる、聖なる、と言いました。」

万軍の主イザ。 6:3 御子の聖性、あるいは完全性を次のように認識します。

神に等しい。このため、キリストの臨在は父の臨在と同等であり、事実です。

聖書のいくつかの箇所でも明らかにされています。そのうちの1つはよく知られていますが、出エジプト記3章にあります。

「そしてモーセはイテロの羊の群れを飼い、神の山にやって来ました...そして主の天使が、藪の真ん中で、火の炎の中で彼に現れました...そして彼が振り向いてそこを見ているのを見た主は、藪の中から彼に呼びかけて言われた。モーセ！ ... ここまで来ないでください。足から靴を脱いでください。なぜならその場所はあなたがいる場所は聖地です。さらに彼はこう言いました、「わたしはあなたの父の神、アブラハムの神です」(出エジプト記3:1-6)。使徒行伝の中でステパノは、モーセが主の天使であるキリストに話しかけたとはっきりと述べています。「主の天使がシナイ山の荒野で彼に現れました...それからモーセ...その光景に驚いた。そして、彼が観察しようと近づいたとき、主の声は彼に聞こえました。『わたしはあなたたちの先祖の神だ』と言いました」使徒 7:30-32。キリストは自ら臨在し、モーセの前で。しかしその瞬間、それは父なる神を表していた。しかし、その言葉は父のものであり、彼は代弁者、つまり「言葉」でした(ヨハネ1:14)。それが理由です。「わたしはあなたたちの先祖の神である」という父の言葉を伝えました。そして彼はこう付け加えた。足には靴。あなたがいる場所は聖地だからです」とはっきりと述べています。神の臨在が御父と同じ神聖さを表わしていることを理解するためです。

この時点で、聖書は御父の生涯が次のようなものであったと示していますが、御子の中で、これは肉体的な命ではなく、霊的な命であることが明確に明らかにされています。それで、肉体的な命に関して、聖書は父と子の間には顕著な違いがあると教えています。で神はこう言われます：「世々の王、不滅の者に...唯一の神に」Iテモテ 1:17。そして、Iで付け加えます。テモテ 6:16:「ただ一人不死を持っている者」。そしてキリストはご自身についてこう言います。私は生きていて殺されましたが、見よ、私は永遠に生きています」アポック。 1:17,18。したがって、聖書が次のように述べていることがわかります。

御子にも、御自身のうちにいのちを持つようにしてください。」(ヨハネ 5:26)「いのち」という用語には、肉体的ないのちは含まれません。

神だけが絶対的に不滅、あるいは言葉の厳密な意味で不滅でした。息子
いいえ。

父は永遠に不滅でした。聖書の言葉を借りれば、「かつて何があったのか、今、何が起きているのか、
来る。」アポック。 1:8。しかし、息子は調和している限り不滅でした。

神の意志と法に従って。これは多くの人にとって、深く難しい点です。

理解すること。しかし聖書の光は明らかにされています。キリストが聖性を受け継いだことを私たちはすでに見てきました。

父よ、それゆえ、あなたの意志は神の意志と一致しました。そしてそれを表現した法律

父の意志もまた父の意志でした。律法に従う道は「永遠の命」の道です

(ヨハネ 12:50)。したがって、キリストが生まれたときからの状況は、

彼自身の意志は律法を完全に満たしました。それは神の表現であったからです。

この意味で、イエスは法の与え主でもありました。それは彼にとって自然なことだったのです。

永遠の命の道を歩みましょう。あなたが何世紀にもわたって神のご意志を行いつつ、

彼の命を失う危険を冒すことは決してありません。彼の完全な聖性が彼を保証しました

完全な不死性。しかし、彼は肉体的には不死ではありませんでした。これが彼に許されたことだ

人類の犠牲となりなさい。神の聖性を退け、ご自身を神聖なものと同じ視することによって、

人類の罪を犯し、ご自身を「私たちのために罪を犯した」とされています(IIコリント5:21)。死んでしまうだろう。そしてそれは

神がそうしたのです。イエスはこのご自身の選択について次のように述べられました。

もう一度取ってください。誰も私からそれを受け取ることはありませんが、私はそれを自分から与えます。私には力がある

それを与え、そして再びそれを受け取る力。この戒めは私が父から受けたものです。」ジョン

10:17,18。この聖句は次のように理解されます。

人のために死ぬ)それを再び受け入れるために(彼が罪を犯さずに再びよみがえるとき)。誰でもない

彼女は私からそれを受け取ります(私が罪を犯すことを選択した場合、私はそれを失うだけです)、しかし私はそれを自分から与えます

(私は自分の聖性を放棄し、人の罪を引き受け、罪とされることを受け入れます

彼らのために、そして父から離れました)。私にはそれを与える力(私の神聖さを届ける)と力があります

もう一度それを受け入れてください(私は一度も罪を犯したことがないので、この神聖さとともに復活します)。これで

父から受けた戒め(神のご意志は、私がそうできるようにすることでした)

その男を救ってください)」。

キリストが生まれた日に戻ると、御父がキリストに聖性を与えられたことがわかります。

自分自身、つまり自分自身の中にある命です。キリストはヘブの「栄光の輝き」とされました。 1:3;

そこから、栄光は聖性の目に見える現れであることが理解されます。栄光の輝き

神の光はキリストにおいて輝きます。ヨハネは彼の顔を「力強いときの太陽のように」見た

輝く」アポック。 1:16。パウロは「キリストの栄光」に言及し、キリストは「キリストの似姿」と述べています。

神」(IIコリント4:4)。そして彼は後でこの概念を繰り返し、「栄光の知識」について話します。

イエス・キリストの御顔において、神の御名を表わす」IIコリント4:6。したがって、キリストが生まれたとき、キリストは造られたのです

体、性格、聖さ、栄光において神と一つになるのです。

キリストは「聖性」の中で生成された最初の存在でした。それまでは神だけだから存在した。しかし聖書は、イエスがそのようにして、後に他の人たちもそうなるようになったことを明らかにしています。また、新たに創造され、神の手から離れたとき、天使と聖なるペア（アダムとイブは）創造者によって与えられた神聖さを持っていました。それを保存するかどうかは彼ら次第でした。しかし、彼らは罪によってそれを失い、神聖さの中で生成されます。男性の場合、これは新生児の誕生によって起こります。聖霊を受けてください。イエスは、私たちは「生まれ変わって…生まれて…から生まれなければならない」と言われました。霊」（ヨハネ 3:3,5）。この誕生について、ペテロはこう言いました。「朽ちる種からではなく、朽ちない種から、神の言葉によって生まれたのです。」（1:23）。そしてパウロは、「新しい人は…神によれば、真実の姿で創造された」と述べました。義と聖さ」エペソ 4: 4:24。つまり、キリストの後、かつては罪人だった人々です。彼らは「聖性において生まれた」のです。キリストは、他の多くの人々の中で最初に生成されました。パウロがイエスを「すべての創造物の初子」と呼んでいるのはこのためです（コロサイ 1:15）。プリモジェニートとは「最初に生まれた者」という意味です。

キリストが生成された日に戻ると、キリストの誕生後、謎の講和会議が開催された。神が御子に次の計画を告げるのはふさわしいことだった。宇宙、天国を創造し、そこに神聖で幸福な存在を住まわせます。一部の人は陥るでしょう。罪を犯し、彼らを救うためには、神が彼らのために犠牲として命を捧げる必要があるでしょう。これを証明する聖書は、「キリストの血は...世界の建国以前に」 I Pet. 1:20。キリストはその瞬間から私たちを愛し、償還計画を実行することに同意し、こうして彼が対等であることを示した。愛と憐れみの神よ、アーメン！聖書は「永遠の命の希望」を報告しています。「神の目的と恵みに従って、それはキリスト・イエスにあって私たちに与えられました。「何世紀にもわたって」（テトス 1:2; 2 テモテ 1:9）。この言葉は私たちをこの評議会に引き戻します。表現「時代の経過」とは、創造されてから経過した時間を指します。何世紀にもわたって。私たちは地球と地球の星の動きによって時間、さらには年を数えます。空。したがって、大昔の時代の「前」に行われた会議は、その以前から行われていました。宇宙の創造について。「世の時代」の前に、無限の神とキリストなんと、彼らは私たちの救いの計画を立て、私たちに恵みが与えられました。父に栄光あれ。そして息子へ！

同じ聖句から、この重要な会議で取り上げられた計画が次のとおりであることがわかります。神と御子との間には「キリスト」が基礎としてあったのです。それは彼にとって必要だった。彼は宇宙と地球を安全に創造できるように自分の命を捧げることに同意した。天使や人間を含む存在の秩序。この方法でのみ、作成時に安全性が確保されます。彼らが困難に陥った場合に彼らを救うための措置が概説されることになる。

罪。キリストが私たちの救い主になることに同意しなければ、何も創造されません。それから神はその愛のゆえに、たとえ可能性があることを知りながら存在を創造することはなかった。たとえ、遠く離れたところにある-彼らは永遠の破滅に陥り、神が彼らをそこから救うことができない場合、希望。だからこそ、ヨハネは、「イエスなしには、造られたものは何も造られなかった」と言っているのです（ヨハネ 1:3）。パウロは、「キリストのうちに」、「初子」、つまり聖性において最初に生まれた者たちが「天と地にあるすべてのもの、目に見えるものも見えないものも、それが王座であるかどうかにかかわらず、創造されています。自治領であろうと、公国であろうと、権力であろうと。すべては神によって、そしてそのために創造されたのです」「神です。神は万物の前におられ、万物は神を通して一つに保たれています。」コロサイ 1:15-17。キリストは、人のために自らを犠牲にする意志によって、安定の保証となるでしょう。宇宙の永遠の統治と、これから創造される存在たちの幸福。導管。それを通して神の愛がすべての被造物に明らかにされるでしょう。これを通して啓示があれば、彼らは意識的に、自発的に、そして喜びをもって忠誠へと導かれることになるでしょう。創造主に向かって。そしてついに、起こった反乱は鎮圧されるだろう。もう一度、神を「すべてにおいて」神とする、1コリント 15:28。つまり、もしみんなの心の中に君臨しました。

このように、将来の罪とその罪の出現を予知することは、その結果、神と御子は、宇宙創造の仕事を始めると、それは、キリストが私たちのために死ぬという約束に署名するか、あるいは宣告されるのと同じことだろう。死。「小羊は世の初めから屠られた」とアポック書に書かれているのはそのためです。13:8。次に、神は御子の命を諦めなければならないことを知り、御子に命を与えました。人類のために。私は彼があらゆる種類の虐待と虐待に苦しむのを見なければならなかった。反抗的な生き物の病んだ心が考え出したもの。なんと素晴らしい愛でしょう！キリストの立場、威厳、働きを学ぶにつれて、私たちはキリストについてさらに深く知ることになるでしょう。創造と普遍政府については次の章で説明します。

第4章

独り子キリストの立場と働き

...神の創造と政府において。

「初めに神は天と地を創造されました。」 1:1。そしてキリストは「初めにあった」神と。すべてのものは神によって造られたのです」ヨハネ 1:3。

宇宙と存在の創造にはキリストの積極的な参加があっただけではありません。すべてのもの、すべての人が神から贈り物として与えられました。パウロはこう書きました。

神のために創造されました」コロサイ 1:17。

キリストはこう言われています。いつ

深淵の面が周囲に広がっていた。彼が深淵の源を強化したとき。いつ

神は海に境界線を与え、水が神の命令を破らないようにした。いつ

地球の基礎を形成したので、私は神と共にいて、彼の生徒であり、

毎日主の喜びを感じ、常に主の前で喜びなさい。」 8:27-30。本文

父性愛と親孝行性の関係を表しています。神は御子のために創造されたことを喜びました。

キリストは「彼の喜び」であり、御父の力について見たものを学び、喜びました。

(御子の)御言葉を通して「常に御前に立つ」ことを達成するのです。

箴言 8 章の本文は、キリストが全知で生まれたわけではないことを私たちに理解させます。

神のようにすべてを知っています。彼は「学生」でした。したがって、彼は学びました（箴言 8:30）。しかし、

御父がご自身の目的を明らかにされたとき、キリストはご自身が次のとおりであることを実証されました。

神の意志と一致します（この時点で、神はすでに次の者となることを決意していたことを思い出しましょう）

私たちの代理であり救世主です）。

最後に、神はご自分の御子を全能者として創造されたのではないことがわかります。聖書全体を通して、そのように示されている唯一の存在は父なる神です（創世記 17:1、出エジプト記 6:3、エゼ 10:5。

アポック。 4:8; 1:8; 11:17; 15:3; 16:7; 19:6,15; 21:22）。イエスはパリサイ人たちにこう言われました。

「全能の神の右」に座していました（マタイ 26:64; マルコ 14:62; ルカ 22:69）。しかし

彼は全能者ではありませんでした。

神は、その時に神に固有の力を与えなかったが、

神の完全な神聖性と人格のゆえに、神は安全に誕生することができた

息子の決断をすべて支持します。それが、神に無制限の権威を与えた理由です。へ

御子の決断は常に御父の力の現れによって支えられていました。

この一例は、神の使命に関してモーセに与えられた神の言葉の中に示されています。

息子は主の天使として、イスラエル人をカナン之地に連れて行き、次のことを実行します。

「わたしの天使があなたより先に行き、あなたをアモリ人、ヒッタイト人、ペリジ人、カナン人、ヒビ人、エブス人のところへ連れて行きます。わたしは彼らを滅ぼします」（出エジプト記 23:23）。

キリストはご自分の民を率いて約束の地を征服されるでしょう。彼は彼らに命令し、

戦争では指導するだろう。「私の天使は行きます」と神は言いました。しかし、敵を滅ぼす力は、

キリストの命令を実行すること、それは神の命令でした。父は、「わたしが彼らを滅ぼしてやる」と言われました。

キリストに与えられた無制限の権威のもう一つの例は、20節と21節にあります。

「見よ、私はあなたの前に天使を送ります...彼に気をつけて、彼の声に耳を傾け、彼を怒らせないでください。神はあなたの反逆を許さないからです。」 23:20、

21. 神は、キリストが自分の望むように行動する完全な自由とその決定を持っていることを明らかにしています。

息子の息子が最終的なものとなるだろう。同じように、新約聖書の中でイエスは次のように述べています。

誰も裁かず、すべての裁きを御子に与えました。それは、誰もが御子を次のように敬うためです。

「父を敬え。子を敬わない者は、彼を遣わした父を敬わないのである。」ヨハネ 5:22,23

これらの言葉は、神が御子に御自身と同等の権威を与えられたことを示しています。

皆が父を敬うのと同じように御子を敬えますように。」

被造物以前のキリストの威厳は、その神聖さ、その聖さによって際立っていた。

神に等しい愛、栄光、品性、権威。これに加えて次の事実があります

キリストは各存在の創造に積極的に参加されたということです。それで最初の画像は

すべての天使が創造されたときに見たものは、神とともに天使が最初に神に挨拶したときのものです。

人生の日。キリストは、後に反逆したケルビム、ルシファーさえ創造しました。

あなたは守るべき油そそがれたケルブであり、私はあなたを立てました。あなたは神の聖なる山にいました。」

エゼ。 28:14.彼が父なる神を三人称で表現していることに注目してください。

ルシファーを形作ったのは彼、キリストであり、「私はあなたを設立しました」と言った。同じことが起こりました

アダムとイブの創造 「神は言われた、『人間を我々の姿に似せて造ろう』」 創世記1:26。

キリストは私たちの種族の父の初顔の絵の中にありました。

私たちはみな「神のために」造られたことを思い出しましょう（コロサイ1 :16）。つまり、私たち全員が

私たちは神の所有物として生まれました。誰もが神から生まれ、依存して生まれてきた

無限の神聖さ、栄光、威厳、権威の中で生き、神を見つめることです。

このようにして、父の決意によって、そして当然のこととして、彼は被造物の前で、

普遍の玉座。使徒ヨハネは、玉座が「神と小羊の玉座」と見ました。

アポック。 22:1.原文に最も忠実な翻訳によれば、パウロは次のように述べています。

(父は)こう言われる、「あなたの王座は永遠に神のものである」へブ 1:3 1:8.そしてお父様と一緒に

キリストはあらゆる被造物から敬意、賞賛、崇拜を受けました。ジョンは聞いた

「天にあるもの、地にあるもの、地の下にあるもの、海にあるもの、そしてすべてのもの

彼らの中にあるものは、王座に座っている者に、そして小羊に、と言いなさい。

感謝と名誉と栄光と力が永遠に与えられます。」 5:13。

彼が放棄したのは、名誉、威厳、栄光というこの素晴らしい地位でした。

私たちの弱った人間性を自ら引き受け、サタンとの戦いに立ち向かってください

アダムとそれまでのすべての子孫が倒れた地で、克服するために

それは私たちを救ってくれます。壮大、素晴らしく、神秘的な見下し！ 「間違いなく

敬虔さの奥義にはいくつかの偉大なものがある。肉体において現された彼は、

霊によって義とされ、天使に見られ、異邦人に宣べ伝えられ、世を信じた」 イテモテ 3:16。

私たちはこの愛の偉大な神秘、メシアの到来と受肉について学びます。

神の子については次の章で。

第5章

化身

「そして、言葉は肉となって、私たちの間に宿りました。

そして私たちは彼の栄光を父の独り子の栄光として見ました。

恵みと真理に満ちている」ヨハネ 1:14。

アダムとイブが罪に陥った日、神は初めて明らかにした

謎の講和会議で何が決定され、それまで隠されていたのか。

生き物たち。彼はサタンに対し、サタンが欺くために使用した手段である蛇に向かってこう言いました。

私はあなたとその女性の間に、そしてあなたの子孫と彼女の子孫の間に敵意を置きます。これはあなたを傷つけるでしょう

そうすれば、彼のかかとを打撲することになるでしょう」 創世記 3:15。聖書の中で女性という言葉は次のことを表しています。

教会。パウロはコリントの信徒への手紙で、「わたしは、あなたを純粋な処女として一人の夫、さらにはキリストに差し出せるよう備えておいたからです」と言いました。コリント第二 11:2。サタンの種

「王子によれば、それは彼に仕えた人々で構成され、歩いている」

空気之力、不従順の子供たちの中で今働いている精神の力...

肉の意志と思いの意志」エペソ 4: 2:2,3. 女性の種は誰かだろう

神の民、キリストの中から出て来たのです。パウロはこう書いています。

アブラハムとその子孫。そこには、「そして、多くの人々について言えば、子孫たちに対して、

しかし、一つとしては、そしてあなたの子孫、それはキリストです。」ギャル。 3:16。神の子

アブラハムの血統を引く人間の子孫としてこの世に生まれることとなります。

聖書によれば、種子は人間の精子であり、これが卵子と受精して、

新しい生き物を形成します。ヨハネはこう書いています。「神から生まれた者は罪を犯さない」

罪;なぜなら、彼の種は彼の中に残っているからです。彼はから生まれたので、罪を犯すことはできません。

神。"ヨハネ第一 3:9。 「種子」という言葉は、原文の「精子」の訳語です。そう言うことで

キリストは女性の「種」として来られるであろうことは、彼が種として世に来られることを示している

メアリーの子宮に移植され、卵子を受精させ、神秘的に彼女を覆う
神の魂と自然、あるいは人間の肉体。したがって、「化身」という用語が生まれます。

受肉には無限の愛の犠牲が伴うが、これまでほとんど理解されていない
そして人類によって高く評価されていますが、それも部分的に隠されたままです。
天使にとっても謎。ペテロはこう宣言しました。「恵みを預言した預言者たちは、
あなたに与えられたもの…彼らのうちにおられるキリストの御霊が…その苦しみを示しました。
キリストが来られるはずだった…天使たちはそれに注意を払いたいです。」ペット1匹。 1:10~
12.

キリストは、「神の姿をとっておられたので、神と同等であることを強盗とは考えなかったが、
彼は自分自身を空にし、僕の姿をとり、自分自身をそのようなものにした
男性」フィル。 2:6,7.神の姿をしているという表現は、神の肉体を指します。
神から生まれ、外見においては父と同等であり、雄大な肉体を持ち、
完璧かつ不滅の男らしさの活力と強さの中で、堂々とそびえ立っている
神の姿に比例する生き物たちは、神よりも輝かしいものでした。
彼らから、彼の体は輝き、父の栄光を放ち(ヘブライ人への手紙1:2)、彼の顔は
太陽のように明るかった(黙示録 1:16)、「彼の目はたいまつのようにあり、彼の腕と腕は、
足は輝く青銅のようだ」ダニエル 10:6.彼の声は力強かった。

「群衆」(ダニエル書 10:6) 、そして同時に甘くて親切です:「彼の口はとても穏やかです」(歌 5:16) 。そして彼の外見
は完璧に美しかった。

望ましいものです」(歌 5:16) 。

「キリストは…神との平等が篡奪であるとは考えていませんでした」フィル。 2:5,6。
前回は、「神と同等である」という言葉が何を意味するのかの一部を見てきました。ポジションを網羅してよ
キリストが占めている :宇宙、あらゆるもの、すべての人の共同創造者、分かち合い
父の、そして当然のことながら、被造物たちの前で宇宙の王座を決定すること。受信
同じ理由で、彼ら全員の名誉と崇拜。すべての人に法を与える者であり、
神の親密な目的のすべてに参加し、唯一の代弁者である
神の意志、つまり言葉によって認可され、被造物に聞こえるようにされた神の言葉です。

「神と同等である」ということは、神が同等の完璧さ、つまり愛を持っていることも意味しました。
神との人格、そしてその結果としての目的。キリストの完全さは絶対的なものではなく、
生き物のような相対的なもの。これは、彼の神聖さに関する知識の程度を意味します。
神が満ち溢れていました。そして彼はこの聖性も備えていました。影もなかった
神の聖なる御子の誤り、間違い、汚れ、または愛の欠如は、どんなに小さなものであっても。
そして、すでに見たように、天使たち自身がこの言葉を繰り返して御子の完全性を証言しました。
それが最高度に神に帰せられたことを示すために三回、「聖なるか、聖なるか、聖なるか」
万軍の主」イザ。 6:3。

ピリピ人への手紙には、キリストは「神との平等を把握できるものとは考えなかった」と書かれています。
(フィリピ 2:5)。「篡奪」という用語は、神に属さない場所を占領する、または引き受けることを指します。
所属。本文によれば、これはイエスがしなかったことです。したがって、それを理解すると、
逆も同じです。つまり、キリストは篡奪によってではなく、神と同等だったのです。
権利によって、被造物に対する父の決意によって誕生したのです。他では
言葉では、実際、肉体、精神、そして肉体に関するすべてにおいて神と同等でした。
性格（すでに見たように、力と絶対的な不死性は例外です）。

美しく雄大な姿で存在し、この輝かしい状態にあることで、
無限の高揚の立場、「自分を空っぽにした」。または、この用語に与えられた意味で、
欽定訳聖書訳、「評判がなくなった」。別のバージョンでは、
「彼自身を無にした」という用語の代わりに、「彼自身を消滅させた」という言葉が見つかります (Almeida Revista e Corrigida、
2009)。どちらの理解も適用できるだけでなく、説明する際に相互に補完し合います。
キリストがすでに自らの内に自発的に服従した無限の屈辱の謎
化身。

「ご自身を滅ぼされた」という用語の意味は、「キリストと同等の肉体を持ったキリスト」です。
神とは、本質的には、外的な形と栄光、あるいは聖書の言葉で言えば、「～の形をとった存在」のことです。
神は、永遠に神を失うことを卑下されましたが、同じものは破壊されました。彼は止まった
神の姿の身長とすべての栄光を持っていたが、体の大きさに縮小された。
小さな精子が神父によってマリアの卵子に導入される。キリストが言及する
この瞬間、父にこう言いました。
準備はできています」へブ。 10:5。御子の出産の執行は天で始まりました。
転生の機会に、そして無限のコストをかけて。

さらに言えば、キリストにとって肉体を失うことは、ほとんど無限の屈辱だったでしょう。
神を除く他のすべての存在よりも優れた形態を持ち、その性質を帯びている
人間は地球の塵から生まれました。それにも関わらず、彼女が到着すると主は彼女を引き取った
四千年の時を経て劣化し、その弱さの限界まで
罪。平和評議会では、宇宙の利益のため、そして次のことが確立されました。
神の意志に反抗するさらなる言い訳を排除するなら、
息子が人間の本性が最大に達したときにそれを引き受けるのは都合がよかった
そこではサタンに立ち向かうにはどの程度の弱さがあるのか。そのためには、次のことを待つ必要があります。
何世紀にもわたる退化。そして、「時が満ちたとき、神は御子を遣わされました。
女から生まれた」ギャル。 4:4。人類が停滞期に達した証拠
下は、この品種の弱さを浮き彫りにするさまざまな病気の報告です。
キリストの時代に存在していた :生まれたときから盲目であった (ヨハネ9:1) 。足が不自由、聾啞、
ハンセン病患者 (マタイ 11:5) 、中風患者 (マタイ 4:24) 、狂人、悪霊患者 (マタイ 17:15) 、

あらゆる種類の病気の保菌者です（マタイ 9:35）。そしてこれはイスラエルの真ん中で、人々は当時の神の教授。彼は背教する前から何世代にもわたって、彼らは、モーセが受け取り、出エジプト記、レビ記、申命記の本に文書化された、栄養、衛生、健康保持に関する特別なガイドラインに従いました。

しかし、神の御子が屈辱を受けたのはそれだけではありませんでした。・ピリピ人への手紙 2:7 の本文は、別のことも考慮すると意味が広がります。ジェームズ王欽定訳聖書の翻訳の可能性。そこには、イエスは「何者にもならなかった」と書かれています。評判"。神は、地上における御子のホストとして、貴族や貴族ではなく、金持ちのほうが、神に肉体的な慰めと良いものをよりよく提供できるだろう。人間社会の標準に従って、機会。ご家族の中からお選びください謙虚で、ユダヤ人の中で特別な区別はありませんでした。選んだ、いいえ女性が明らかに女性だった時代に、男性だけど女性だった壮大なものの受け皿として、社会ではあまり区別されないと考えられています。天からの贈り物。そして彼はその中で最も貧しい者の一人を祝福者として選びました。イスラエルの女性たち。

これまでに暴露されたものに加えて、多くの画像や画像で見られるものとは反対に、イエスの母を表す絵として使われたが、マリアは女性ではなかった素敵な。原則として、子供は両親と似た外観を持っています。そして聖書にはこう書かれていますイエスには「美しさも美しさもありませんでした。そして彼を見ても、私たちは何の美しさも見ませんでしたそれは私たちが彼を望むためです」イザ。 53:2。神の子が受け継いだ人間とは何だったのかマリア、したがって彼女は美しい女性ではないという結論になります。そしてそれは次のような認識の中にあった彼女自身の中に、男性の目には母親になることを勧めるような要素は何もなかった自分が選ばれたことを知った後、彼女は救い主について次のように述べました。「私の魂はさらに大きくなります。」主よ、そして私の霊は私の救い主である神を喜びます。彼はその卑劣さに気づいたからだあなたのしもべ」イザ。 53:2。したがって、イエスは注目を集めるような美しい赤ん坊ではありませんでした。特にこの点については、「私たちが見たとき、神を望むほどの美しさは見られなかった」からです。1つ。 53:2。

彼の地球への到着の出来事を取り巻く特別なファンファーレはありませんでした。天使から家族に直接の連絡が送られました。「天使ガブリエルが送ったのです。」ナザレというガリラヤの町、婚約した処女に神よ。ダビデ家の人で、名前はヨセフという人でした。そして処女の名前はマリアでした。そして、入ると、彼女がいたところにいる天使は、「万歳、祝福された方よ」と言いました。主はあなたとともにおられます。あなたは恵まれていますか女性は...恐れる必要はありません。あなたは神の好意を得ているからです。そして見よ、あなたの子宮の中であなたは身ごもって息子を産み、その名をイエスと呼ぶでしょう。これは大きくなるだろうし、いと高き方の子と呼ばれるでしょう...聖霊があなたに臨み、神の力が降り注ぎます。

いと高き者はその影であなたを覆います。したがって、あなたから生まれる聖なる方も、彼は神の子と呼ばれるだろう」リユック。 1:26-35。

メアリーは夫と結ばれる前に妊娠しました。その結果、救い主の出生の状況に関連して、救い主の生涯にさらなる影が生じました。彼女の夫でさえ、「彼は公正であり、彼女の信用を傷つけたくなかったので、彼女から離れようとして密かに。そして彼がこれを計画していたとき、見よ、主の天使が夢の中で彼に現れた。「ダビデの子ヨセフよ、マリアの内にあるものを恐れずにマリアを妻に迎えなさい」と言いました。「聖霊によって生まれました」マタイ 1:19,20。

「するとマリアは言いました、「わたしの魂は主を讃え、わたしの霊も讃えられます。」私の救い主である神を喜びなさい。それは、彼が自分の僕の卑劣さを考慮したからである。見よ、これからは、あらゆる世代が私を祝福者と呼ぶだろう、なぜならあなたは私を偉大にしてくれたからだ偉大なもの。そして神の御名は聖です。そして彼の慈悲は世代から世代へと受け継がれます彼を恐れる人々について。彼は腕を使って勇敢に行動しました。誇りを払拭した彼らの心を思いました。彼は権力者を王座から追放し、謙虚な者を地位を高めました。彼は飢えた人々を良いもので満たし、金持ちを空っぽにして送り返しました。彼はそのしもベイスラエルを助け、神の憐れみを思い出しながら。彼が私たちの先祖たち、アブラハムとその子孫たちに語ったように、後世、永遠に。」リユック。 1:46-55。

それだけでは十分ではなかったかのように、神はご自身の誕生の地として、政治的表現や世界でのいかなる区別も受けていない小さな都市を選びました。

イスラエル社会：「そして、ベツレヘム・エフラタよ、あなたはユダの数千人の中では小さいですが、イスラエルを統治する者はあなたからわたしのもとに来るだろう、その歴史は古代からのものであり、永遠の日から。」ミク。 5:2。そしてこの軽蔑された街で場所が選ばれたのは、これ以上謙虚なことはありません - 動物のために建てられ使用される厩舎夜を過ごす。彼の生家は飼葉桶、つまり牛の餌皿でした。

「そして、ヨセフもガリラヤからナザレの町からユダヤに上って、ベツレヘムと呼ばれるダビデの都市（彼はダビデの家と家族の出身だったため）に入隊するために妊娠中の妻メアリーと一緒に。そして、彼らがそこにいる間に、それは起こりました。彼らは彼女が出産する予定だった日々を充実させた。そして彼女は長子を出産し、彼は産着で彼を包み、飼葉桶に寝かせました。

「宿屋」... 「そして天使は彼らに言った、「恐れることはありません。見よ、私はあなたたちに偉大な知らせをお届けします」それはすべての民にとっての喜びです。なぜなら、あなたは今日ダビデの町に生まれたからです。それは主であるキリストです。そして、これはあなたへのしるしです :あなたは子供が産着に包まれているのを見つけるでしょう、そして飼葉桶に横たわっています。」リユック。 2:4-7; 10-12。キリストの誕生という文脈で言えば、「へりくだった」という用語はその完全な意味を持ち、自発的な気質を例示しています。

すべての神の僕の中には、イエスの血によって洗われた者がいるに違いない。
そうすることで父の善意を満たす限り、自分自身に何の責任もありません。

天から送られてきた

聖書は、イエスがメシア、つまり御子キリストであったという十分な証拠を残しています。
天から地に遣わされた神。彼はただの人間、つまり次の人の息子ではありませんでした。
ヨセフ。キリストは、ご自身の受肉について語りながら、父なる神にこう言います。 10:5;の
先に存在した神の子である彼は、肉体を持ってこの世に来られたと理解されています。
神が用意したものの、この場合はマリアの卵。

聖書は、イエスが文字通りヨセフの息子であった可能性を排除しています。
マタイ 1:23 は「処女はみごもって男の子を産む」と肯定的に述べています。とき
天使が神の御子の到来をマリアに告げると、マリアはこう答えました。
私が男を知らないことがわかりましたか？」リュック。 1:34。そして、ヨセフは「しなかった」と書かれています。
彼女は息子、長子を産むまでそれを知っていました、そして彼女は彼の名前をイエスと呼びました」マツト。
1:25。真実は、「彼の母親であるマリアは、二人が結ばれる前にヨセフと婚約していました。
聖霊を宿したことが判明した」マタイ 1:18。

として？

天使はそれがどのようにして起こるかをこう言いました。
いと高き者はその影であなたを覆います。したがって、あなたから生まれる聖なる方も、
彼は神の子と呼ばれるだろう」リュック。 1:35。イエスは聖霊によって生まれたものではありません。
この聖句を誤解して意図的に解釈している人もいます。彼自身、自分がこの世に生まれてきたことを次のように宣言しています。
「私は…真理を証しするためにこの世に来ました」ヨハネ 18:37。したがって、
天使が使った表現は次のとおりです。「聖霊があなたに臨み、いと高き方の力があなたに臨まれるでしょう。
「カバーします」は単に神の魂を配置する神の働きの神秘を囲み、要約しているだけです。
私たちの DNA に相当する彼女の息子がメアリーの卵の中にいます。聖霊は
実体でも人でもありません。むしろ、それは「父から出る」美德です（ヨハネ15:36）。当たり前
この徳によって、その性質が私たちには知られていないこの神秘的な力によって、神は
受肉の働きを行った。

受肉の物理的プロセスは私たちには明らかにされていませんが、その結果は
その霊的意味と同様に、聖書には広く開示されています。

あなたの理解は私たちをその地位に置き、維持することに大きく貢献するからです
救いの道。受肉の結果、既存の生命が移植されました。

人間の中に宿る神の子（マリア）。聖書では、「魂」という言葉は命を表します。

レビ記 17:11 には、「肉の魂は血の中にある」と書かれています。翻訳しながら

『アルメイダ・レヴィスタ・エ・アトゥアリザダ』は、「肉の命は血の中にある」と述べています。創世記では
2章7節、聖書はアダムの創造について次のように述べています。

大地を踏みしめ、その鼻孔に命の息を吹き込むと、人は生きた魂となった。」

将軍2:7。神の御子は神によってマリアの卵の中に「生きたまま」入れられたので、

キリストの「神聖な魂」が彼の中に宿ったと言うのは正しいことです。

ここから、特に注目すべき真実を抽出します。彼のものを持っているという事実
神の姿をした偉大な体は、「置かれる」ために無に変わった。

マリアの受肉」は、受肉がいわば「ハイリスク手術」であったことを示している。

神によって作られ、その結果、以前の肉体は破壊または死をもたらしました。

神。それから神は、その生命の本質を含む部分を注意深く移しました。

息子がメアリーの卵に。この真実は次の聖句の言葉の中に暗黙的に示されています。

「神の姿をしていながら……彼は自分自身を消滅させ、しもべの姿をとった」フィル。 2:7。

どのような手術も、その後の結果を生み出す痛みを伴うプロセスです。それによって

私たちは、キリストがその苦しみを私たちには理解できない過程を経て成し遂げられたことを理解しています。

彼の元の体は無になり、マリアの中に置かれました。それはどんな愛ですか、

神秘的、素晴らしい、理解できない、尊敬に値する、賞賛に値する、尊敬の念、それが

正義は聖性の完成に向けてのものであり、あらゆる賞賛と崇拝に値するものです。

第6章

幼子イエスの神聖さ

前の章で学んだことを踏まえて、さらに重要な点を抽出できます。

イエスの誕生に関する天使の宣言に含まれている真実は次のとおりです。

聖霊と至高者の美德があなたを覆うでしょう。したがって、またあなたから生まれる聖者は神の子と呼ばれます」リュック。 1:35。その化身となったのは、先在のキリストの命、または神の魂が卵子に移植された結果。マリア。当然の結果として、赤ん坊のイエスは、彼と同じ神聖さを持って生まれるでしょう。キリストは天において所有しており、それはひいては神ご自身と同等でした。そしてそれが天使です。言葉の中で明らかにしています。「したがって、あなたから生まれる聖なる方も呼ばれます。神の子”。言い換えれば、「このため」、誕生が神の働きによって起こったという事実のため、神は御霊によって御子をマリアの中に置きました。「あなたから生まれる聖なる方は、神の子と呼ばれる。」幼子イエスの神聖さは、イエスが彼は先に天に存在していた神の子であり、地上に遣わされました。このイエスはこう主張されました。ユダヤ人たちと話すとき、何度かこう言った。「そこでユダヤ人たちは彼を取り囲んでこう言いました。いつまで私たちの魂を吊り下げておられるのですか？あなたがキリストであるなら、率直に教えてください。イエスは彼らに答えられた、「わたしはあなたたちに言いましたが、あなたたちは信じていません。」私が行っている作品は、私の父の御名、これらは私について証言します。」ヨハネ 10:24,25. 彼の愛と義の業そして慈悲は彼の神聖さと愛を証明し、彼が主であることを確認しました。メシア、キリスト、天から遣わされた救い主。

幼子イエスの中に神の聖性が現れましたが、それは人間の姿であり、こうしてそれが男性たちに明らかになったのです。この理由から、彼はインマヌエルという名前も受け取りました。「神は私たちと共におられる」という意味です。「見よ、処女がみごもって息子を産む、そして彼は生まれるだろう」インマヌエルという名前で呼ばれています。（インマヌエル訳は「神は私たちと共におられる）」マタイ 1:23。光私たちがこれまで研究したことから、このテキストは決してそうではないことが明らかにわかります。彼は、一般に多くの人々が大切にしているキリストが存在するという教義を支持すると主張する「神」、あるいは「御子なる神」。イエスは、自分の父だけが神であると肯定的に言いました。話す彼は祈りの中でこう言いました。真の神」ヨハネ 17:3。そして彼は自分が神の子であることを明らかにしました、「彼はこう言いました。わたしは神の子です」ヨハネ 10:36。そして、これまでに見たことを繰り返して、次のように宣言します。キリストが神であるということは、救いの働きの基盤そのものを否定することになるだろう。神は「不滅」（イテモテ 1:17）であり、死ぬことはできません。そして息子は死ななければなりません - したがって、彼は死ぬことができませんでした「神」になること。

神の聖性とは次のようなものであることを理解したところで、本題に戻ります。イエスが赤ん坊だったときからそれが現れているので、私たちは他の聖句の意味を理解することができます。この輝かしい啓示を伝えてください。「彼の中に命があり、その命は人の光でした。そしてその光は暗闇の中で輝きますが、暗闇はそれを理解できませんでした。」ヨハネ 1:4,5。そこには神聖さ、神の命がありました。彼女は男性たちに与えたという意味で男性たちを啓発した神がどのような方であるかを知ること。「すべての人を照らす真の光があった。

世に来る」ヨハネ 1:9。愛を含む神聖さに関する知識、

神の性質と神の王国の霊的性質、への完全な従順に関連する

十戒は、イエスの人生の最初の数秒から明らかになりました。

男としての存在。この意味で、キリストの聖性は全体を照らしました。

永遠の命への道が何であるかを示しました。これは彼によって開かれました

私たちに有利に働くことを、彼の人生の模範によって概説します。

使徒ヨハネも最初の手紙の中で同じようなことを主張しています。

命が明らかになり、私たちはそれを見て、それを証し、あなたに永遠の命を宣言します。

それは父とともにあり、私たちに明らかにされました) 」ヨハネ第一 1:2。つまり、キリストのうちにあったのは、

それは神の聖さであり、それを持つ者には永遠の命が保証されています。そして使徒は

さらにこう付け加えた：「私たちが見聞きしたことをあなたたちに宣言します...そしてこれは、というメッセージです。

私たちは神から聞いてあなたたちに宣言します、神は光であり、神には暗闇がまったくありません。」ヨハネ第一

1:3,5。つまり、ヨハネと使徒たちは、神が完全であることをキリストから学びました。

聖なる;神には不完全さはなく、愛、正義、思いやりの欠如もありません。

彼の生き物たちと一緒に。彼らはキリストの美德を見て、彼らがキリストの美德であることを理解しました。

父がそうであったように。

私たちが瞑想している時点で、研究の別の分野が開かれます。から

赤ん坊のイエスは神と同等の聖性を持っていた、したがって無限であるという認識

神と私たちの間には明らかな違いがあることがわかります。私たちは生まれながらにして聖人ではありません。イエス・イブ

ヨハネは人間の誕生について、「肉から生まれたものは肉である」という言葉で言及しました。

3:6。この肉が持っているものはパウロによって次のように描写されています。

肉のことに心を向けなさい...肉の心は死です...それは敵意です

神は...神の律法に従わないし、また実際には従えません。」8:5-7。することが

肉から生まれたということは、アダムの子孫であることを意味します。イブを見たとき、彼はこう言いました。

今は私の骨の骨、私の肉の肉です。」2:23。に陥った後

罪、アダムとイブは彼らの肉体的な弱さと道徳的退廃を彼らに伝えました。

子孫。言い換えれば、彼らは自然にこうする傾向を持ち始めたのです。

悪を行い、それを子供たちに伝えました。これが遺伝的傾向として知られているものです。

これはパウロが次の言葉で描写したものです。「肉の心は...に対する敵意です。

神は...神の律法の対象ではない。」

ヨセフとマリアはアダムの子孫でした。聖書はマタイの書で次のことを概説しています。

ヨセフ側の家系は次のように終わります。

イエスはマリアから生まれました」マタイ 1:16。ルカの書は上昇線をたどります。

イエスはマリアの側に立って：「そしてイエス自身もおよそ30歳になり始め、

(彼が気にかけていたように)ジョセフの息子、そしてヘリのジョセフ」リュック。3:23。ルーカスが祖父を紹介する

ヨセフとも呼ばれたマリア。通常、女性はそうではありませんでした。

聖書の系図の中で言及されているのは、その焦点がキリストを提示することであったためです。

誰が男として来るだろうか。イエスは聖書について次のように言いました。

証しなさい」ヨハネ 5:39。ルークはマリアからアダムへの上昇線をたどり続けます。

同じイエス…（信じられていたように）ヨセフの息子であり、ヘリのジョセフ…とエノス

七、そしてアダムからの七、そしてアダムから神から」ルカ 3:23-38。だからマリアもみんなと同じようにアダムの子孫は、肉から、肉として、同じ肉を持って生まれました。

人間なら誰でも持っています。そして彼も同じ傾向、つまり肉体の傾向を受け継いだのです。

「神に対する敵意」であり、「神の律法の対象ではない」 ロマ 16:30 8:7。そして、この傾向のせいで、多かれ少なかれ、他のすべての男性と同じように、彼女も罪人になりました。

「すべての人は罪を犯し、神の栄光を受けられないからです」と書かれています。 3:23。 「

死はすべての人に広がったので、彼らはみな罪を犯しました。」 5:12。したがって、

私たちはマリアが真のクリスチャンであったと信じる十分な理由を持っていますが、

その言葉の意味と真の神の僕であり、彼女が持つて生まれたことを否定しました。

罪を犯す傾向があり、罪人であったことは神の言葉に矛盾します。という人もいます。

この理由からそれを弁護するために、彼女は罪がなければ生まれてきたであろうとふりをする

イエスは聖人として生まれていたでしょう。しかし、聖書に照らしてみると、この主張は成功しません。

それ自体を維持します。イエスは聖人として生まれました。なぜなら、彼はすでに天にいて、そのようにして地上に来られたからです。いいえ、違うかもしれない。

したがって、マリアも他のすべての人間と同様に、罪を犯す傾向がありました。

そして彼に服従した。その結果、時々罪に陥ることがあります。

たとえ善意を持っていたとしても、誰でも。このため、

息子はヨセフとの結合によってのみ、同じ肉の傾向を持つことになるでしょう - したがって

その結果は、アダムの他の息子と同じように、罪を犯すことになるでしょう。人間の本性のために、

神の助けは悪に抵抗することはできません。

イエスがマリアの胎内に宿った後、「聖なる」者として生まれた唯一の理由は、次の事実です。

地球に来る前からすでにそうになっています。受肉において、聖なる方であるキリストは神によって置かれ、

メアリーの胎内で。悪魔自身もその事実を認識しました。私たちがあなたと一緒に持っているもの、

ナザレのイエス?私たちが滅ぼしに来たのですか?私はあなたが誰であることを知っています。神の聖者です」マルコ 1:24。

キリストの聖性は人類に特有のものではありません。アダムが墮落した後、彼女は、

彼はどうしても神聖さを必要としていたにもかかわらず、本質的に神聖さを持っていなかった

彼女。アダムによって失われた神聖さは神の介入によってのみ可能である

再び人間の神殿で、これは聖なる御子の到来によってのみ可能となるでしょう。

神よ、人間として。この霊的な真実は何世紀にもわたって教えられてきました。へ

モーセにイスラエルに聖所を建てるよう命じると、こう言いました。

私は彼らの間に住むつもりです。」出エジプト。 25:8。聖域は人類を代表するものでした。もしここが神の聖性の住まいのための神殿だったら、パウロはこう書きました、これを証明するのは、「神が言われたように、あなたは生ける神の神殿です。彼らの中で」わたしはとどまります」 2コリント6:16。この神聖な目的は主にキリストにおいて実現されました。彼ヘブは「あなたは私に体を用意してくれました」と父に言いました。 10:5。彼が転生したとき、そのときの満ち足りたものは、聖性はキリストが生まれた時から持っており、最初は神殿に住んでいました。人間。そして彼女は、神が他のすべての人に起こることを望んでいることの模範でした。人間の神殿 - 私たち: 「あなたが神の満ち足りたすべてで満たされるためです」 3:19。 • 神の目的は、イエス・キリストの使命を通して、神の御業が満ち満ちることです。神聖さが全人類の魂に植え付けられますように。そしてこれは人生で起こるでしょう。この目的が自分の人生で達成されることを本当に望んでいるすべての人、後で見てください。

第7章

原罪はない

現時点では、問題を取り除くことを目的として、明確にする価値があります。を実行するという神聖な目的の達成に対してサタンによって設けられた障壁。私たちの魂に満ちる神の愛と神聖さ。何世紀も前に策定されました。人間が生まれたことを意図した著者による、聖書ではない教義。アダムの子を受け継ぎ、生まれながらに罪深いのです。 ~の避けられない結果。その理由は、人間は自分自身の本性から自由になることができないため、罪人であることをやめるのは不可能でしょう。しかし、その作者たちは失敗した。聖書によれば、何が人間を罪人にするのかを理解してください。これが基礎です。あなたの間違いについて。「罪は律法に違反することである」ヨハネ第一 3:4 (アルメイダ改訳) 更新しました)。したがって、罪は神の命令に従わない行為です。それは「性質」でも傾向でもなく、行為です。彼は実践する罪人です。アクション。実践しない人は、神に背かない人は、たとえそうであったとしても、罪人にはなりません。アダムとイブの子孫。

前述の反聖書の教えに依存する人たちは間違っています。ダビデの祈りの一部を解釈すると、「見よ、私は不法と罪の中で形成されました。母が私を身ごもりました。」詩 51:5。そこから彼らは人間が妊娠すると推測する

すでに罪人として。しかし、この聖句は実際にはダビデが罪人の子であったことを教えています。だからこそ彼は、「母は罪の中で私を身ごもった」と言うのです。さらに、詩篇51篇の祈りは、ダビデが姦淫の罪を悔い改めて行ったこととして知られる

続いて殺人。バテシバと不倫し、夫ウリヤに姦淫を命じた。

彼は間違いなく戦闘で殺されるであろう状況に置かれ、そして彼は実際にそうであった（2を参照）サムエル記11章と12章）。そして、悔い改めた彼は、2節からこう宣言しました。

私の咎を完全に取り除き、私の罪から私を清めてください。私が知っているので私の罪、私の罪は常に私の前にあります。あなたに対して、反対して

わたしが罪を犯し、あなたの目に悪を行ったのはあなただけです。詩 51:2-4。デビッドは後悔しなかった堕落した性質や何らかの「原罪」を持っているのではなく、悪い行為によるものであり、彼が実際に犯した罪のために。彼は言いました、「私は罪を犯し、悪を行いました。」彼明らかに神の戒めに違反する行為を指します。それで、あなたのことについて話すとき、罪を犯したダビデは、罪人の子であるために受け継いだ弱さを嘆きます。

次の節ではこう述べています。「見よ、私は不法のうちに形成され、罪のうちに形成された。私の母が身ごもりました」詩 51:5。この聖句は、「最初の罪」については言及していません。

人間が持つことができる性質。いいえ！彼は人間の弱さを認識している悪との戦いにおいて。

要点を押さえた上で、「不法行為の中で私は形成された」という言葉を分析してみましょう。元の言葉

「形成された」と訳されますが、「存在する」という意味もあります。用語

「不法行為」は詩篇 32:2 で次のように説明されています。

不法行為を非難しており、その精神には欺瞞がありません。」

更新しました)。「Dolo」は法曹界で広く使用されている用語であり、以下のことを指します。

辞書、欺きたいという願望、悪意、「完全に」法律に違反するという決断

行われていることの犯罪性についての知識。」さて、「不法行為の中で私はいた」という言葉は、

「形成された」とは、人間の形成、または生成、つまり、

精子は卵子を受精させます。子宮内で受精したとは言えない

母親は「犯罪性を十分に承知した上で法を犯す決意を持っている」

何が行われているのか。」彼はまだ自分の存在すら気づいていない。したがって、

この言葉で語られる、人間が形成される「不平等」は、

両親に起因するもの - 彼らはすでに法律を知り、「意図」をもって行動する良心を持っています。で

この聖句の場合、次のように書かれているように、この言葉は明らかに母親のことを指しています。

「母は罪のうちに私を身ごもりました。」詩51:5。元の単語を翻訳したもの

詩の中の「conceived」という用語には「熱」という意味もあり、

男と女の親密な関係。したがって、「彼女は罪の中で私を身ごもった」と言うとき、

私の母」というテキストは文字通り、デビッドの母親が彼を妊娠させたという事実を指しています。

心は神ではなく自分自身を喜ばせることに集中しました。楽しみを求めながら
男×女の関係を通して肉体を。この詩は次のような現実を描いていることがわかります。
親であるすべての大人、特に既婚者には、
認識するのが難しい。神はご自身の相続物として「子供たちを」両親に与えられます（詩篇 13:30）。
127:3）。しかし、どうやって送るのでしょうか？瞬間の熱気の中で起こる何かのために。圧倒的な中で
ほとんどの場合、男性も女性も神のご意志を行うことに集中していませんでした。
彼らが肉体の快楽を求める前、つまり子供たちをこの世に産んだときのことです。この現実
詩篇 51:5 ではダビデによって描かれています。

したがって、論点をまとめると、物議を醸している詩篇 51:5 の本文では、ダビデが次のように述べていることがわかります。

人間の本性は弱いと認識しており、
人間は親が自分の快楽を追求した結果です。そして彼の母親は
罪人。彼は両親の性癖を受け継ぎ、それに負けて姦淫に陥った。しかし、
しかし彼は、人間の弱さを乗り越えられない障壁とは考えていませんでした。
正義を実践する。彼は神が自分を清め、力を与えてくださると完全に確信していました。
それ以来、彼の人間性においてさえも、純粋な人生を歩むことになる。
それは次の聖句に見られます。私を洗って、そして
私は雪よりも白くなります...神よ、私の中に純粋な心を作り、そして新しくしてください
正しい精神...意欲的な精神で私を支えてください。それでは、私が教えます
罪を犯した者はあなたの道を歩み、罪人はあなたに立ち返るでしょう。」詩 51:7-13。デビッド
彼は、神が自分を清め、「進んでの精神」、つまり、
神に従うという固い決意、そして最終的には効果的に従う力をあなたに与えるのです。
彼の戒めは、ダビデが「教える」ことに専念すると言ったきっかけです。
違反者に対するあなたのやり方よ。」

最後に、私たちは罪を犯す傾向を持って生まれてきたと結論付けます。

私たちの最初の両親はそれらを私たちに伝えました。しかし、私たちは生まれながらにして罪人ではありません。罪というのは、
傾向ではなく、行動すること。「罪は律法を犯すことです」ヨハネ第一 3:4 (改訂新訳)。それは私たちが違
反を選択した結果です。聖書にはこう書かれています。

ロムは「すべての人が罪を犯した」というだけの理由で、死がすべての人に広がったのです。5:12。死は
それは「罪」(ローマ 6:23)の報酬であって、罪への傾向ではありません。そして、私たちは皆、生まれてきましたが、
罪への傾向があり、それを犯した場合にのみ、私たちは死にさらされます。
罪は完成し、死を生み出すのです」叔母さん。1:15。私たちはできるし、

真の福音であるならば、私たちはキリストが私たちに与えてくださる力によってそれに抵抗しなければなりません。これについては対応させていただきます

後で、私たちがキリストの人間性の完全性についてもっと知った後、
これは次の章での研究テーマになります。

第8章

キリストの人間性の完全性

救いという文脈では、神の御子の人間性が私たちにとってすべてです。それでも、それはまだ明確に理解されていません、そしてこれが非常に多くの人がそうする理由です。誠実な人はクリスチャン生活における自分自身の葛藤を克服できません。彼らは何を理解していない。イエス・キリストが地球にいたとき、彼らに似ていた程度です。だから彼らは見ないのです。誘惑がどのようなものをもたらすかの一例として、イエスが誘惑に対して勝利を収められたこと、そして彼らは、もし神を信じたいなら、神が受けたのと同じ力を受けるでしょう。

ピリピ人への手紙 2章6,7節の本文から、キリストの前の体が去ったことがわかります。彼が転生したときに存在したこと。キリストは神秘的な方法で変容されましたが、そうではありませんでした。それは父によって、精子に相当する種の形で明らかにされ、マリアの卵子の中に入れられました。それ以来、彼は人間でした。「言葉は肉となった」ヨハネ 1:14。

妊娠後、キリストの誕生は他の存在と同じように起こった人間：「マリアは……妊娠していました。そして、彼らがそこにいる間に、彼女が出産する日が満ちたことが起こりました。そして彼女は長子を産み、彼を布で包みました。

布」リュック。 2:5-7。彼の最初の日の記述は、彼を他の人々と区別するものではありませんでした。

私たちの一人：「そしてイエスは…知恵も身長も伸びました」リュック。 2:52。あなたとの関係ヨセフとマリアは聖書の中で全人類に共通のものとして描かれています。

「そして彼は彼らと一緒に下ってナザレに行き、彼らに服従した」とルカ。 2:51。あなたの知人彼らは言った、「これは私たちが知っている父と母であるヨセフの子イエスではないでしょうか？」ヨハネ 6:42。

「これは大工であり、マリアの息子であり、ヤコブ、ヨセフ、ユダ、そしてヤコブの兄弟ではないでしょうか」サイモン？それで、あなたのお姉さんたちも一緒にいるんじゃないの？」マルコ 6:3。

イエスの心は人間の心であり、彼には固有の限界がありました。独特の。彼は次のように証言したように、すべてを知っていたわけではありません。

天にいる天使たち、子ではなく父です」マルコ 13:32。人間として、彼の精神的な能力は両親の生命力によって伝えられたものでした。イエス・キリストは

「ダビデの子、アブラハムの子」マタイ 1:1。したがって、彼はダビデやダビデよりも優れていたわけではありません。アブラハム。彼は人間の推論、記憶、意識を持っていましたが、それらには限界がありました。「なぜ、実際、神は天使たちを捕らえたのではなく、アブラハムの子孫を捕らえたのです」ヘブ。 2:16。

イエスの体も、人間の両親から受け継いだ力に限界がありました。彼は私たち全員に共通のニーズに応えてくれました。彼はお腹が空いて喉が渇いて、疲れていて、

休息が必要だった。「そして、彼は四十日四十夜断食した後、その後、
「飢え」マタイ 4:2。「イエスは言われた、『渴く』」ヨハネ19:28。「だからイエスは、もう飽きたんだ」
途中で、イエスは泉のところでお座りになった」ヨハネ 4:6。「そして彼は船尾で眠っていた」
すると彼らはイエスを起こしてこう言いました。「先生、あなたにはそれは不可能です」
滅びる？」マルコ 4:38。喉が渴くと、彼は井戸の前で待たなければなりませんでした。
誰かが人間が使用した装置を持ってやって来て、
水:「それで、イエスは旅に疲れて、こうして泉のところでお座りになりました…」
サマリアの女が水を汲む。イエスは彼に言った、「水を飲ませてください。」ヨハネ 4:6,7
女性との会話の中で、彼女は井戸の水についてこう言いました。
「それで汲み出すと井戸は深い」ヨハネ 4:11。

イエスは「自分では何もできません」と言いました(ヨハネ5:30)。それは
私たち全員が通らなければならない道を進むという父の計画。
彼の勝利は、誰でも人生で再現できる例だった。
彼は私たちの手の届く範囲にある武器を使って敵に立ち向かいました:(i) 聖書
神聖、(ii) 信仰、(iii) 祈り。

(i) 聖書:「そして誘惑者が彼のところに来て言った、「もしあなたが息子なら」
神の命令よ、これらの石がパンになるように。しかし彼は答えてこう言いました。
「人はパンだけで生きるものではなく、人の口から出る一つ一つの言葉で生きる」と書いてあります。
神。それから悪魔は彼を聖都に連れて行き、山の頂上に置きました。
そして彼に言った、「もしあなたが神の子なら、ここから身を投げてください。」なぜならこれは
「彼はあなたに関して天使たちに命令し、彼らはあなたを彼の手で捕らえます。
決して足を石にぶつけないでください。イエスは彼に言った、「次のようにも書いてある」。
あなたはあなたの神、主を試みてはならない。再び悪魔は彼を非常な場所に連れて行きました
高い;そして彼に世界のすべての王国とその栄光を見せました。そして彼は彼に言った:これはすべて
あなたがひれ伏して私を崇拜するなら、私は与えます。それからイエスは彼に言った、「サタンよ、出て行け。彼はいるから」
「あなたはあなたの神、主を崇拜し、主だけに仕えなさい。」と書かれています。それから悪魔は彼を去りました」マツト。
4:3-11。

(ii) 信仰:「夜の四番のとき、イエスは海の上を歩きながら彼らの方に来られました。弟子たちはイエス
が海の上を歩いておられるのを見て、恐れて言った。
おぼけ。そして彼らは恐怖のあまり叫びました。しかしイエスはすぐに彼らに話しかけて言われた、「頑張ってください」
元気出して、私です、怖がらないでください。するとペテロは彼に答えて言った、「主よ、もしあなたでしたら、私を送ってください」
水の上からあなたのところに来てください。そして彼は言いました:「来てください。」そしてペテロは舟から降りて歩きました
水を越えてイエスのところへ行きます。しかし、強い風を感じて彼は怖くなった。それは、
底に沈み始めたので、彼は叫びました、「主よ、私を救ってください！」そしてイエス様、
彼は手を伸ばして彼を掴み、「信仰の薄い者よ、なぜ疑ったのですか」と言った。マツト。

14:25-31。別の機会に、祈りの中でイエスは御父に対する完全で揺るぎない信仰を表明されました。

「あなたがいつも私の話を聞いていることは知っていますが、私がこれを言ったのは、次のような理由からです。」

あなたがわたしを遣わされたことを信じさせるために、周りに立っている群衆」ヨハネ 11:42。「そしてイエスは

彼らに言った、「名誉のない預言者は、自分の国、親戚の間、そしてこの国以外にはいない」

彼の家...そして彼は彼らの不信仰に驚いた。」マタ 6:4,6。

(iii) 祈り: 「肉の時代に、大声で叫びながら捧げ物をし、

イエスを死から救ってくださる方への涙と祈りと嘆願が聞き届けられました。」 5:7。あ

ヘブライ人への手紙の続きは、イエスの完全な人間性のもう一つの証拠を示しています。

私たち全員と同じように、彼も次のことを学ばなければなりませんでした。

彼が苦しんだこと」ヘブ。 5:8。彼は子供の頃からこの経験を生きてきました。

「そしてイエスは神と人々に対して知恵を増した」と書かれています。

2:52。

イエスの奇跡

イエスがどのようにして私たちと同じ人間であったのかを理解しようと努めていますが、それでも非常に多くの奇跡を起こす能力があるため、最も誠実な人さえも困惑させます。

聖書を学ぶ生徒たち。ヨハネは次のように書いています。

彼がやった;そして、それらのそれぞれを書いたとしても、全世界ですらそれは不可能だと思います

書かれた本が含まれています」ヨハネ 21:25。それでもイエスはこう宣言されました。

本当にあなたに言いますが、わたしを信じる者はわたしと同じ業を行うでしょう。

わたしは父のもとに行くので、これら以上のことをするでしょう。」ヨハネ 14:21。彼はそれを明らかにした

それはすべて信仰の問題です。彼には信仰があった。

奇跡は信仰に応じて神によって天使を通して行われた

イエスのこと。彼はかつてペテロにこう言いました。

わたしの父よ、わたしに十二軍団以上の天使を与えてはくれないというのか？」マタ 26:53。あなたの

ラザロの復活の際の次の言葉も彼の信仰を証しています。

彼は目を上に上げて言いました。「父よ、私の話を聞いてくださったことに感謝します。」そうですね

あなたがいつも私の声を聞いていることはわかっていますが、私がこれを言ったのは周りに人がたくさんいたからです。

それは、あなたがわたしを遣わされたことを彼らが信じるためです。そして、こう言うと、ラザロ、大声で叫びました。

出てくる。すると死んだ男が出てきて、手足は包帯で巻かれ、顔は縛られていた

スカーフに巻かれています。イエスは彼らに言われた、「彼を解き放って、放してください。」ヨハネ 11:41-44。として

奇跡がイエスの信仰によって行われたこと、そしてそれが可能であることを示す追加の証拠

他の人たちによっても行われますが、エリヤ、エリシャ、ペテロ、パウロは信仰によって、

死者をよみがえらせました（列王上 17:22; 列王下 4:32-36; 使徒 9:39-41; 20:9-12）。エリシャ

パンを増やし（列王記下 4:42-44）、その言葉によってナアマンはらい病を癒されました（列王記下 4:42-44）。5:9、10、14、15）。ペテロは信仰を持っていた間、水の上を歩きました（マタイ 14:28-31）。ポール彼は生まれつき足が不自由だった人を治しただけでなく（使徒 14:9、10）、他の病気も治しました。悪霊を追い出します（使徒 16:18; 19:11、12）。「神はパウロの手を通して奇跡を起こした」並外れたものです」（使徒19:11）。

イエスは能力的にも完璧な人間でしたから、肉体的、精神的な限界、彼が受けた誘惑は他のすべての人々と同じでした。私たちは主体です。「子供たちが肉と血にあずかるのと同じように、神もまた、同じことに参加しました...すべてにおいて兄弟たちと似ていることが彼にとって好都合でした、神から出たものにおいて、慈悲深く忠実な大祭司になること...それは、ご自身が誘惑を受け、苦しみを受けながらも、誘惑されている人々を助けることができになるということです。」 2:14、17、18。「私たちに大祭司がいます...彼は私たちと同じようにあらゆる面で誘惑を受けてきましたが、誘惑に遭うことはありませんでした。ペカド」へブ。 4:15。

人間イエス・キリストにおける神性の現れ

キリストの人間性を研究するとき常に疑問が生じるテーマは次のとおりです。「イエスの生涯に起こった神性の超自然的な現れをどのように調和させるか」キリスト、彼は100パーセント人間であるという事実を持って？」この一連の症状の中で彼の変容とその他のものであるが、正確には分類できない彼女と同じように、それらは通常、人々によって行われます。

まず変容を分析しましょう。マタイには次のように書かれています。ペテロとヤコブとその兄弟ヨハネは、密かに彼らを高い山に導き、彼は彼らの前で変貌した。そして彼の顔は太陽のように輝き、彼の服は輝いていました。マタイ 17:1、2。イエスがとったこの姿は、約500年前、ダニエルがイエスを見たとき、次のように説明しました。私の目と私が見ると、見よ、亜麻布を着て、腰に麻布を着た男がいた。ウファズ産の純金。そして彼の体は緑柱のようで、顔は稲妻のようでした。彼の目はたいまつのようなもので、腕と足はまるで火のように輝いていました。磨かれた青銅。そしてその言葉の声は群衆の声のようであった」ダニエル 10:5、6。ダニエルは、独り子であるキリストを、受肉するずっと前に見ました。記述の一致イエスの変容が弟子たちに与えられたデモンストレーションであったことを明らかにします。彼は天から遣わされたキリストでした。彼らは、イエスが地球に来る前に持っていた栄光を見ました。使徒ペテロは、弟子たちに次のようなことを与えたのは神であるとはっきりと宣言しています。

彼らが山にいたとき、イエスの栄光が現れました。

壮大な栄光から父なる神に次のような呼びかけがあったとき、彼は父なる神から栄誉と栄光を受けました。

voice: これは私の最愛の息子であり、私は彼を大いに喜んでいます。そして私たちはこの声を聞きます
私たちが神と共に聖なる山にいる間、天からの導きです。」 1:17、18。

したがって、変容はキリストの栄光の現れでした。

彼女を見た使徒たちに、イエスがその人であることを確信させる目的で、父によって。

神の独り子キリスト。と解釈することはできませんし、そうすべきではありません。

イエスご自身の中に本質的に持っていた何かを表現することです。それは醜いことになるだろう

御言葉の中で明らかにされた彼の完璧な人間性は、栄光ある人々に影を落としています。

イエスは人間なら誰しもがそうであるように罪と向き合い、それゆえに罪と向き合ったという真実

それが私たちの行動例となりました。

この時点で、目に見える栄光が何を表すかという概念を再考する価値があります。

第3章 彼女は、内なる目に見えない神聖さの、外面に目に見える現れです。キリスト、

独り子は「彼の栄光の輝き」へブとされました。 1:3;彼のことが理解されるよりも、

栄光は、御父の中に存在する御父の聖性が目に見える形で現れたものです。ポールが言及するのは、

「キリストの栄光」であり、彼は「神の似姿」であると述べています（2コリント4:4）。そして、それは次のようにも述べられています

「イエス・キリストの顔における神の栄光の知識」を得ることが可能です（IIコリント4:6）。

したがって、キリストが生まれたとき、彼は聖性において、そしてその結果として栄光において神と一つとされました。

聖さから生じる栄光はキリストに特有のものではありません。モーセが国から戻ったとき、

彼の40日間の神の臨在の中で、「彼の顔の皮膚は輝いた」例。 34:30。そして、復活後の天の聖徒たちの輝きについて語るとき、パウロはこう言います。

太陽の栄光、また月の栄光、そして星の栄光。スターだから

他のスターとは栄光が異なります。死者の中からの復活も同様です。」 I Cor.

15:41、42。その明るさは、神とともに歩むことによって得られる神聖さに比例します。

キリストを通して、地球上で。そこから、合理的かつ合理的な世界では、

知的な人にとって、栄光とは、創造主であれ、創造者であれ、その存在の内なる神聖さが目に見える形で現れたものです。

生き物。それは神から贈り物として与えられたものです。イエスが存在であるという事実

人間が弟子たちの前で変貌したことがその証拠です。

繰り返して要約すると、イエスは人間として生まれつきの力を持っていませんでした。

超自然的なもの、私たちに一般的ではないもの。そこで何が起こったかという、神はその摂理において、

御子がこの世に来る前に持っていた栄光を弟子たちに明らかにするのがふさわしいと考えられたのです。

世界。これはイエスの内なる聖性の目に見える現れでした。それはともかく、

御子が地上の人類の間をさまよっている間、神によってベールに包まれていたとしたら、

彼の復活後に再び完全に現れました。それで、ジョンが彼を見たとき、

天国の聖域であり、彼の顔は「力強いときの太陽のようだった」と宣言されました。

輝いています」牧師。 1:16。

神の家族

まだ変容を扱っているのです、私たちは重要な真実を引き出すことができます。すでに

私たちは、聖霊を受けるすべての人間が実際には「聖人」であることを見てきました。

回心した人、つまり「新しい人」は、「真の義と聖さをもって創造された」エペソ 16:4。

4:24。つまり、キリストと神と一致する人は皆、キリストの参加者なのです。

神聖さ。聖書は、天使も「聖なる」者であると宣言しています。

人は栄光のうちに来ます、そしてすべての聖なる天使たちは彼と一緒に来ます…」マタイ 25:31。したがって、

神、キリスト、天使、そして改心した人間が大家族を形成しています。

聖人、神聖さを持った存在。パウロはそれについて次のように述べています。

このことについて私は、私たちの主イエス・キリストの御父の前にひざまずきます。

天と地にある家族がその名を取る」エペソ 16:14 3:14,15。エペソ人への手紙のこの本文では、次のように書かれていることに注意してください。

パウロは、聖徒たちの「家族全員」が父の名を名乗っていると宣言しています。

家族は神です。そして詩篇 82 篇で、彼は回心した人々について次のように宣言しています。

あなたがた全員、至高者の子供たち。それでも、あなたは人間と同じように死に、他の人と同じように墮落するでしょう

詩 82:6,7。この聖句は、聖徒の家族のすべての成員が、

彼らは「神」、つまり神の家族の参加者です。彼らは肉から生まれたとき、

まさに人類の家族の一員です。しかし、神は私たちを子供として養子として迎えました。

私たちは救い主イエス・キリストを受け入れます。「そして、あなたがたは息子であるため、神はあなたを遣わしました。

御子の御霊が心に叫び、「アバ、父よ」と叫びます。 4:6。聖霊によって、

私たちの魂に聖性を植え付け、私たちを神の家族にあずけてくれました。

キリストとその御子と天使たちは神の家族に属していました。だからこそ私たちは

神を私たちの父として呼びかけるよう勧められました。「あなたは次のように祈らなければなりません :私たちの父よ、

天にある」マタイ 6:9。私たちと天使たちは神の家族に属しており、神の子供です。 •

私たちは神性にあずかっているのです、「あなたは神である」という言葉が私たちに当てはまります。しかし

私たちを創造者や全能者にするのではなく、むしろ私たちがその世界の参加者であることを確認します。

あなたの神聖さ。聖性はいわば神の家族の「DNA」です。そのブランド

そのメンバーを識別します。それはイエスが天の父に似ていることを証明しています。

この家族という概念は、イエスのもう一つの言葉を明確にするのに役立ちます。

一般的に誤解されており、聖書によって確立された真実が歪められています。

彼の完璧な人間性について。このときイエスはこう言われました、「わたしと父は一つである」

ヨハネ 10:30.この発言をした後、イエスはユダヤ人たちから自己批判で非難されました。

「神」と宣言します。すると彼は、それを自分自身に当てはめて、同じ意味で答えました。

ここで私たちが見つけたこの言葉、「あなたたちは神です」。一緒に読みましょう：

「私と父は一つです。それからユダヤ人たちはイエスのために再び石を拾いました。

石。イエスは彼らに答えて、「私はあなたたちに多くの良い行いを示しました」と言いました。

私の父のこと。あなたはこれらの行為のうちどれに対して私を石打ちにするのですか？ユダヤ人たちはイエスにこう言いました。

私たちはあなたを石打ちにするのは、いかなる善行に対してもではなく、冒涇に対してです。なぜなら、あなたであることは

男よ、あなたは自分を神にしてしまっているのです。イエスは彼らに答えられた、「あなたの手紙にこう書いてあるではないか」

法: 私は言いました:あなたは神ですか?なぜなら、律法が神の言葉が宛てられた人々に神を呼び、聖書を破ることができない

としたら、父が聖別した者、そして

この世に遣わされたのに、あなたはこう言う、「冒涇者、私が言ったから、私は神の子だ？」ヨハネ 10:30-

36. イエスはご自身を「神の子」、「神々」の家族、つまり神の家族の一員であると宣言されました。

神の家族。

神は私たちに構造だけでなく階層的順序も明らかにしました。

神の言葉における神の家族。それは家族の調査から知ることができます

なぜなら、「神について知り得ることは、人間の中に現われているからである。なぜなら、神は、

それを彼に表現した。世界の創造以来、神の目に見えないものについては、

永遠の力は神の神性と同様に理解され、物事によってははっきりと見ることができます。

作成されます」Rom。 1:18-20。

人類家族の始まりはアダムの創造の際に起こりました。「そして主なる神は、

土の塵から生まれた人間であり、その鼻孔に命の息を吹き込んだ。そして人間は作られた

生きた魂」 Gen. 2:7.その後、彼は肋骨の1本からイブを生成しました。

彼の胸の高さで：「それから主なる神はアダムに深い眠りを与え、そして彼は

彼は寝た;そして彼は肋骨の1本を取り、その代わりに肉を閉じました。そして肋骨

主なる神はそれを男性から取り上げ、女性を形作り、アダムのもとに連れて来られました。そして、言いました

アダム :これはもう私の骨の骨であり、私の肉の肉です。これは呼ばれます

女は男から奪われたものだから」 2:21-23.アダムとイブは同じだった

人間の本性。聖書は創世記 5章1節でこのことを明らかにしており、二人を「アダム」と呼んでいます。

これは「男」を意味します。「彼は男と女を創造しました。そして彼らを祝福し、彼らの名前を呼んだ

アダム」将軍5:2.したがって、人類家族ではアダムが最初の人物であり、

イブは、(人間の)性質と性質において同等であり、両方とも人の手から生まれたからです。

神。人類の三人目はカインでした。「そしてアダムは妻のイブを知っていました。

彼女は身ごもってカインを産み、「私は主から男を得ました。」と言いました。 4:1。

カインはアダムとイブの墮落後に生まれたため、道徳的に劣っていました。加えて

さらに、彼は後に反逆して兄弟を殺しました（創世記 4:8）。

神の家族は人間の家族から知られています。家族の最初の人
 神性とは、遠い永遠の中に単独で存在する神でした。
 あなたは神です。詩 90:2。二人目は、神から生まれた御子キリストです。
 神の懐 (ヨハネ 17:8; ヨハネ 1:18)、永遠の日々 (ミカエル 5:2)、同じ存在
 神の本質であり、性質と聖さにおいて神と等しい (フィリピ 2:6) 。の三人称
 神の家族はルシファー、つまり被造物であるケルブであり、したがって道徳的に
 父と子よりも劣ります (エゼキエル 28:12-15)。カインと同じように、彼は神などに反逆しました。
 その後、イエスはご自身の御子を人間の手によって十字架上で殺されました。したがって、最初の
 神性の家族の人は神です。二人目はキリストです。そして三人目はルシファーでした。彼
 彼は倒れ、ガブリエルがその地位を引き継ぎました。彼自身が次のように明らかにしました。
 それを私は神の前で見守ります」リユック。 1:19。

次の表は、家族の階層の比較表を示しています。
 人間性と神性。

家族：	一人称	二人称	三人称
神性	神	キリスト	ルシファー
人類	アダム	エヴァ	カイン

表 1: 人類と神の家族の階層の比較

人類の特徴は体の細胞に含まれる DNA ですが、DNA
 神性の本質は聖性、つまり愛です。神とキリストの場合、聖さは
 それは神の本質に固有のもので、生き物である三人称においては、神聖さは
 神とキリストによってあなたの魂に植え付けられました。ルシファーとガブリエルの時もそうだったが、
 天使を創造しました。ルシファーは反逆し、彼が受けていた神聖さを失いました。それで彼はやめた
 家族に属しています。ガブリエルは忠実であり続け、彼女を守り、彼女の中に残りました。見る、
 したがって、生き物は神聖さを持つことによって神の家族に参加します。
 魂に埋め込まれます。しかし、彼らが家族に属しているという事実は、彼らをその地位に高めるものではありません。
 "神";むしろ、それは彼らが神の神聖にあずかっていることを示すだけです。で
 イエス・キリストが地上にいたとき、同じセリフで「わたしと父は一つである」と宣言されました。
 これを彼が神の家族に属していたという事実に関連付け、「あなたは」というテキストを使用しました。
 あなたは神です」(詩 82:6) 。このような発言はイエスが聖性を持っていることを表しており、
 神の家族の DNA であり、その中で重要な位置を占めていました。なにもない
 「神である」という想定される主張との関係。これについて、彼は積極的に

ご自身を説明しながら、「私は神の子です」と宣言しました（ヨハネ 10:36）。つまり、あなたの「わたしと父は一つである」という宣言は、神の啓示の明快さを傷つけることさえありません。完璧な人間性。

自然要素に対するイエスの権威

キリストの人間性を考えるとき、疑問を引き起こすもう一つの疑問は次のとおりです。神が地球上の諸要素に対してさえ権威を持っておられたという事実をどのように調和させるか。完全に人間であるという事実？その一例は、彼が命令を下したときです。風と海が静まると彼らは従った。しかし、困惑が生じます。それは、彼らが聖書が明らかに明らかにしていることに注意を払っていないからです。イエスはこう叱責されました。本質的な超自然的な力によってではなく、信仰によって要素を取り除きます。読んでみましょう。報告：「そしてイエスは彼らに言った、『信仰の薄いあなたがたは、なぜ恐れるのか』。それから、立ち上がり、彼が風と海を叱責すると、非常に静まり返った。そしてその男たち。彼らは驚いて言った、「風や海さえも彼に従うとは、この人は何者だろうか？」とともに。 8:26,27。

弟子たちは、自分たちが到達できる高みを理解していませんでした。信仰。イエスはかつて彼らにこう言われました。

からしよ、あなたはこの山にこう言うだろう、「ここからあそこに移動しなさい。そうすれば山は過ぎていきます。」そして何もあなたのためにはならないでしょう。不可能です」 マタ 17:20。ヨシュアも信仰によって星々に命令しました。

「それでヨシュアは、主がエモリ人に与えられた日に主に語りかけた。イスラエルの子らの手に渡され、イスラエル人の前で「太陽よ、ここに立ち止まってください」と言った。ギベオン、そしてあなた、月よ、アヤロンの谷に。そして太陽も月も静止し、人々が立ち上がるまでは敵に復讐した。これはヤシエルの手紙に書かれていないでしょうか？その後、太陽が止まりました。空の真ん中で、彼は急いで立ち上がることもなく、ほぼ一日中...主の御言葉を聞き続けました。男の声。主はイスラエルのために戦われたからである」ヨシュア記 10:12-14。

したがって、イエスは信仰によって風と海に秩序を与えましたが、イエスに従う者たちも同じ信仰によって秩序を与えることができます。神からの贈り物として私たちに与えられる信仰(エペソ2:8)が「イエスの信仰」(黙示録14:12)であるのはこのためです。それを通してイエスはこう言われました。

あなたにはそれは不可能でしょう」(マタイ 17:20)。

したがって、イエスが癒しと復活の奇跡をどのように行ったかを研究することによって、死者の追放、悪霊の追放、そして自然の要素に命令を与えること、

私たちは、神が信仰、つまり御父の力への信仰によってそれらを達成された結論付けます。そしてこの信仰は私たちに提供されています。

神からの贈り物として。私たちはそれを手に入れることができ、それを通して神がなさったすべての働きを行うことができます。

気がついた。そしてイエスは言われた、「わたしを信じる者は、わたしと同じ業を行うだろう。」

わたしは父のもとに行くので、これら以上のことをするでしょう。」ヨハネ 14:12。言い換えれば、それは、より大きな範囲で機能します。イエスが地上で個人的に奉仕活動をしていた間、ユダヤとその周辺に限定されているので、弟子たちは福音を「すべての人に」伝えなければなりません。国家、部族、言語、そして人々」 Apoc. 14:7。したがって、神の働きは、神によって行われます。地球上のあらゆる場所の追従者たちは、神の承認を証言するでしょう。メッセージ。かつて、使徒たちは「去って、あらゆる場所で説教し、主は彼らとともに働き、その後のしるしによって御言葉を確証してくださったのです。」3月16時20分。そして現在、「この御国の福音は全世界に宣べ伝えられるでしょう。そうすれば終わりが来るのです」マタイ 24:14。

男性の考えに関する彼の知識

イエスの生涯の分析に戻ると、注目に値します。

可能性のある深さは、終わりのない研究で構成され、執筆が不可能になるでしょう。本から。さらに、私はこの範囲内で理解に達したとは主張しません。ただし、このトピックをどのような角度から探求できるかについては、取り組むことが生産的であることは理解しています。さらにもう一つは、イエスが人々の考えについての知識を実証したという事実です。多くの人はそれを全知 (全知: すべてを知っている) の証拠として受け取り、それを有利に利用します。

「イエス・キリストは神である」という彼の主張。そこで、以下で勉強していきます。

何よりもまず、この信念は矛盾している、矛盾していない、ということを繰り返し強調する価値があります。

神が誰であるかについての聖書の積極的な啓示と、

イエス・キリストご自身について。パウロは使徒たちの教会の信仰を次のように説明しました。

キリストご自身が次の言葉で受け取った、「しかし、私たちにとっては唯一の神、父がおられるのです」

コリント 8:6。そしてイエスは自分について、「わたしは神の子である」と言われました (ヨハネ 10:36) 。さらに、

イエスは、唯一の神は父であると宣言し、祈りの中で彼に向かってこう言いました。

これは永遠の命であり、彼らが唯一のまことの神であるあなただけを知るためです」ヨハネ 17:3。

そうは言っても、本題に入りますが、聖書は何度もこう述べています。

「なぜ心の中で邪悪なことを考えるのですか？」 「彼はよく知っていたあなたの考え」； 「しかし、イエスは彼らの考えを知って、彼らに言われた...」。

「しかしイエスは、彼らの心にある思いを見て、子供を連れて、ひとりぼっちにした。」

(マタ9:4; ルカ6:8; マタ12:25; ルカ9:47) 。これは注目に値するデモンストレーションではありますが、

人間は自分の考えを知らないのに、超自然的な行動の

国民の皆さん、聖書は神が人間の考えも明らかにされたことを示しています

キリストに従う者たちへ。アナニアとサフィラの間に起こった出来事を分析してみましょう。

使徒たちを欺こうとした。

妻は、彼の財産を知りながら、不動産を売却し、その代金の一部を手元に残しました。

女性;そして、その一部を取り、使徒たちの足元に置きました。するとペテロはこう言いました。

アナニア、なぜサタンはあなたの心を聖霊に嘘をつくようにしたのでしょうか。

不動産の価格の一部を保持していただけますか?あなたの為に保管していたんじゃないの?そして、売れました、いいえ

それはあなたの力でしたか?なぜこの計画を心の中で立てたのでしょうか?あなたは嘘をついていませんでした

男性、しかし神に... そして、ほぼ3時間後、彼の

何が起こったのか分からない女性。するとペテロは彼に言った、「教えてください、あなたは何円で売りましたか」

その不動産?そして彼女は言いました:はい、ですから。そこでペテロは彼に言った、「どうしてですか」

あなたたちは主の御霊を試みることに同意しましたか?こちらがその足元です

あなたの夫を葬ったのは誰であり、あなたも連れ去られるであろう」使徒 5:1-9。

つまり、イエス・キリストがされたことをペテロも成し遂げたのです。ピーターはどうしましたか

アナニアとサフィラの考えをご存知ですか?彼は明らかに次のことをほのめかした

それを明らかにした道具は「主の霊」でした。そして聖書は同じことを明らかにしています

神の御霊はイエスの宣教を助ける道具でした。

神が遣わされたのは神の言葉を語るということ。神は量り売りで御霊を与えてくださるわけではないからです。」

ヨハネ 3:34。そしてこれが、他人の考えを知るこの能力の理由です

人間は弟子たちよりもイエスのうちにはるかに頻繁に自分自身を現しました。

「神は量り売りで御霊を与えられるわけではない」。つまり、神はご自身の豊かさを与えてくださいました。

霊をイエスに。したがって、イエスの人間の考えを「読む」能力は、

神から与えられた御霊の賜物。それは神に固有の固有の能力ではありませんでした。

他の男性にはアクセスできません。

したがって、私たちが研究したさまざまな例を通じて、イエスが次のとおりであることを確認しました。

完全に人間です。あなたや私、あるいは地球に住む他の誰かと同じように。

彼は私たちと同じ立場、同じ状況で誘惑に直面しました。

私たちはそれらに直面し、私たちが自由に使えるのと同じ手段を使用して克服しました。

その後は信仰、祈り、そして聖書の研究です。精霊の賜物を受け取る

聖なるもの、神から与えられたもの。

第9章

イエス・キリストの権威

オーナーが全てを諦めたとき。

完璧な人間性に伴う限界を持っているにもかかわらず、神は依然としてこのように、イエスと私たちの間には、イエスの起源に関連した違いがありました。全てのアダムの子孫は、両親の結合を通じて存在し、それによって、胚が成長して赤ちゃんを形成します。しかし、キリストの場合はそうではありませんでした。彼の化身それは始まりではなく、神の存在の継続でした。それから彼は神の子になりました別の方法で - もはや父に似た体を持っているのではなく - 別の、生き物、人間（フィリピ 2:5,6）。しかし、彼は神の子であり続けました。ジョン・バプテストヨハネはイエスについて「そして私はこれを見て、これが神の子であると証しました」と言いました。1:34。

イエス・キリストは彼が持っていた栄光と威厳を残されましたが、天において神から生まれただけでありながら、依然として神の子であり、したがって、子どもと同じ権利を持っています。それらが何であったかを知れば理解できるようになりますそれよりも、神が私たちのために行使された犠牲と自制心がどれほど大きかったかを考えてください。

ヨハネは言いました、「万物は彼を通して造られた、そして彼なしでは何も造られなかった」作られた」ヨハネ 1:3。彼がすべてを行ったとき、息子は小さな原子から原子に至るまで、正当な所有者でした。最大の惑星と星。小さな虫から人間や天使に至るまで、すべては神のものでした。同じ調子でパウロは次のように付け加えています。彼はすべての後継者を任命し、彼を通して世界も造った。」 「天と地にあるすべてのものは神によって創造されました。...すべてのものは神によって、神のために創造されました。」（ヘブライ人への手紙 1:1、2;コロサイ 1:16）。

イエスはすべてのものであるため、すべてに対する権威を持っていました。天使、人間、動物、植物そしてオブジェクト、すべては彼の命令に従いました。それで彼は誰にでも命令を与えることができました物や存在は、この宇宙の中で、いつでも彼が望めば、彼らは彼に従うでしょう。しかし父とともに立てられた計画で決定されたように、彼はこの権威を行使しなかった人間特有のあらゆる制限に自らに従わなければならないということです。それが示している祭司の使者がペテロを逮捕したとき、ペテロとの会話の中で次のように述べています。彼らは近づくとイエスに手をかけて逮捕した。そして見よ、その中の一人が、イエスと一緒にいて、手を伸ばし、剣を抜いて、高位の僕を打ちました。司祭、耳を切り落としてください。そこでイエスは彼に言われた、「剣を鞘に収めなさい。なぜ剣を取る者は皆、剣によって死ぬであろう。それとも私はそうは思わないと思いますか今私は父に、12軍団以上の天使を与えないようにと祈ることができるだろうか？それでは、これが必ず起こるという聖書の言葉はどのようにして成就するのでしょうか？」

マタ 26:50-54。彼は神の子として天におけるあらゆる権威を持っていましたが、地上では、彼は墮落した人間の運命に参加するために来ました。同じように罪と向き合う私たちの誰もが直面しなければならない地形と立場。そうすることで、次のようになります。私たちの救い主であるだけでなく、私たち全員ができるし、そうすべき模範でもあります
フォローする。

この時点で、権威と権力の違いを明確にする価値があります。聖書は明らかにしています。父なる神だけがすべての力を持っているということです。全能という表現が見つかりました。聖書の中で何度も、それは常に神について言及しています。以下にいくつかの例を示します。あなたは朝早く神を求め、全能者に憐れみを求めなさい」ヨブ8:5。

「おそらく、あなたは神の道を獲得するか、あるいはすべての完璧に到達するでしょう。強力ですか？」ヨブ記 11:7。「彼は神に対して、そして全能者に対して手を差し伸べた。怒った。」ヨブ記 15:25。「そうすればあなたは全能者を喜び、顔を上げます。」神へ。」ヨブ記 22:26。「神は私の心を和らげ、全能者は私を悩ませました。」

よかった23:16。(ver también: 創世記 28:3; アクソ 3:6; 民数記 24:4,16; ヨブ記 5:17; 13:3; 22:17; 25:13; 27:2,13; 34:10,12; 40:2; アポック。 16:7)。聖書には疑いの余地がない :神全能の父はこう言います。「そして私はあなたたちの父となり、あなたたちは私の息子や娘になるでしょう」全能の主よ。」コリント第二 6:18

この話題に関しては、特に注目に値するのは黙示録の本文です。

この節では、同時に神が全能者であり小羊であると述べられています。

両者の違いは明らかです。「そして、私はそこに神殿を見つけませんでした。主がその神殿だからです。」

全能の神と子羊よ。」アポック。 21時22分。注: 神は「全能者」であり、

イエス・キリストは「子羊」です。小羊は、たとえ与えられたとしても、全能者ではありません。

天と地のすべての権威。

Apoc のテキストを誤解しているため、この件に関して混乱する人もいます。 1:8: 「わたしはアルファでありオメガであり、始まりであり終わりである、と主は言われる、今も昔も、そしてこれからも。

来てください、全能者よ。」アポック。 1:8。彼らはその文章がキリストについて語っていると考えています。しかし、読書文脈を注意深く観察すると、彼が父について言及していることがわかります。

「今、何があったのか、そしてこれから何が起こるのか」。この表現は、永遠の存在を指します。

存在の終わりはあったし、これからはないだろう :現在 (である) 、過去 (あった) 、そして未来 (である) 来る) 。イエスは同じ章で、自分の存在を終わらせたのは自分であると認めています

- 殺されました: 「私は...生きていて殺された者ですが、見よ、私は永遠に生きています。

アーメン。そして私は死と地獄への鍵を持っています。」アポック。 1:17,18。比較に注目してください。

全能: (父なる神)		時代	そしてそれはやって 来ます(黙示録1:8)
---------------	--	----	--------------------------

イエス (息子)	生体内	私は殺されました	私は永遠に生きています (黙示録 1:18)
-------------	-----	----------	-------------------------------

表 2: 「全能者」とイエスの違い

したがって、黙示録 1 章 8 節の「全能者」とは父のみであることができます。

パウロはヘブライ人への手紙 7章3節で次のように語っています。

日々の始まりはあっても、人生の終わりはありません。」この説明は主にのみ当てはまります。

それどころか、イエスには父（神）がいて、自分の人生の終わり（十字架で死んだ）がありました。したがって、父は「全能者なる主なる神よ、かつて、そして今、そしてこれから来られる方。」アポック。 4:8。結論としては、なぜなら、キリストはすべての権威を持っておられましたが、すべての「力」を持っておられたわけではないからです。パワー"

キリストが神と完全に調和して行動したように、キリストの

実際、キリストが言われたことが起こるのは、次のような理由からです。

神はその力によって、キリストの言葉を成就させようとされました。何の

この章の後半で説明するように、これは実際に起こりました。ただし、それを容易にするために、

理解するには、まず各章で説明されている概念を確認しましょう

以前、永遠の日からキリストに適用されます。

キリストは神の内にあった「言葉」、あるいは「言葉」でした。「初めに言葉がありました。

そして言葉は神のうちにあった」（ヨハネ 1:1、ギリシャ語原文）。「すべてのことは、

神によって造られ、神なしには造られたものは何も造られなかった。」 「そして言葉は肉となった」ヨハネ 1:3、

18. 言葉は思想にとって何であるか、キリストは父にとってどのようなものであったか - 父の思想

「言語化」。言い換えれば、キリストは伝令者、言葉を告げた者であったということです。

したがって、私たちは、地球の創造の週に、

神は「光あれ」とおっしゃいました。 1:3 聞こえた声はキリストの声でした。

ある聖書説教者は、「声は私たちのものですが、言葉は神のもので」と言いました。これです

この例は、神と御子の間の密接な関係を示しています。言葉は彼のものですが、声は

それらを伝えるのは御子のそれです。聖書には、このようなことが起こった多くの事例が報告されています。それは

多くの人は、このような報告を読んだとき、父と子のこの結合を理解せず、

真実の啓示が指摘しているにもかかわらず、性急に「キリストは神である」と結論付ける

別の意味で。この例については、本書の前半ですでに検討しました。

燃え盛る藪の中でキリストとモーセ。エステヴァン氏はその時のことをこう語った。

「主の天使がシナイ山の荒野で、炎の真っ只中に彼に現れた。

「わたしはあなたたちの先祖の神です。」使徒 7:30,32。彼ははっきりと言いました。

モーセに現れたのは神ではなく（コリント8:6）、神の「天使」であるキリストであることが明らかになります。そして

キリストは、使者、つまり言葉として父のメッセージを伝えてこう言いました。

あなた方の先祖たちの神よ…」それ以来、キリストはご自身を「神」と宣言したであろうことを理解してください。それは、イエスご自身が御父にこう祈ったときに述べた証言を否定することに等しいでしょう。永遠なのは、彼らが唯一の真の神であるあなたと、イエス・キリストを知っているということです。あなたが送った人です。」ヨハネ 17:3。

本題に戻りますと、イエスは神の子として権威を持っておられたということになります。宇宙のすべての存在と要素について。しかし、すべての「力」を持っていたのは神でした。しかし、神の意志は父の意志と完全に調和しているので、彼の命令はすべて神の御座によって裏付けられていました。父はその決定を尊重し、御子の言葉は、御子の御力によって成就します。イエス・キリストはこう言われました、「すべての権威は、それは天と地でわたしに与えられたのです」マタイ 28:18。しかし、父なる神だけがすべてであり、強力です（黙示録 4:8）。

父と子の間には緊密な結合と調和が存在しているため、それは困難です。多くの生き物、特に人間は、所有することと所有することの違いを識別します。すべての「権威」とすべての「権力」。しかし、それは存在します。キリストの声は言葉を伝えた神の言葉：「光あれ」（創世記 1:3）。しかし、光を存在させた力は神の力でした。「神は私たちに光を与えてくださった主です」詩 118:27。キリストはすべての権威を受け取り、そして神はあらゆる力を持っており、その働きによってあらゆることにおいて御子の権威を維持しておられるのです。宇宙。そしてその代わりに、御子は常に御父の目的と調和して行動します。「わたしと父は一つである」と言えることが重要です（ヨハネ 10:29）。キリストは神の最愛の人であり、（マタ 3:17）神がその行為を喜ばれた人、したがってその言葉を喜ばれた人主の力の素晴らしい現れを光栄に思います。これらの線に沿って、彼は言いました。イエス：「父は御子を愛しており、御自分の業すべてを御子に示しておられるからです。あなたが驚くように、神はこれらをあなたに見せてくれるでしょう。」ヨハネ 5:20。

イエス・キリストがこの地球上にいたときのことを考えると、次のことがわかります。私たちがこれまで研究してきたことに基づくと、イエスは「全能者」ではありませんでしたが、まさに、御子が神ご自身に裏付けられて、すべてに対して無制限の権威を与えられたのと同じです。宇宙の存在と要素。しかし、父親と合意した計画に従って、いかなる場合でも、自分の利益のためにそれを使用すべきではありません。ただし、すべてを考慮すると、神が受けなければならない屈辱と苦しみ、そして人間の本性が陥りがちな屈辱と苦しみ。苦しみから身を縮めることは、神にとって、ご自身の重荷を軽くするためにご自身の権威を利用したいという大きな誘惑となるでしょう。それはアリののようなもので、とても弱いので、いつでも支配できる、絶えずあなたを刺し続けた、そしてあなたは何も反応せずに痛みを耐えなければならなかった。この状況では、こうすればとても簡単だということを思い出してください。小石を地面に投げると力を使いたくなるのと同じくらい、痛みを取り除くことができます。ほとんど避けられない問題を取り除くために。イエスは絶えず耐えなければならませんでした

このような性質の誘惑ですが、その強さは無限です。「彼は軽蔑されていた、そして最も人々の間で拒絶され、悲しみの人であり、出産の経験がある。そして、一つとして人々が顔を隠したイエスは軽蔑され、私たちはイエスに注意を払いませんでした。本当に神は私たちの弱さを自ら引き受け、私たちの苦しみを担ってくださいました。

彼自身について。そして私たちは彼が打ちのめされ、神に打ちのめされ、抑圧されていると考えました。でも彼は傷ついていた私たちの罪のために、そして私たちの咎のために打ち砕かれました。・

私たちに平安をもたらす懲罰が主の上であり、主の打ち傷によって私たちは癒されました。

私たちは皆、羊のように迷いました。それぞれが道に迷った

パス;しかし、主は私たち全員の咎を彼の上に負わせました。彼は抑圧され、

苦しみながらも、口を開けなかった。子羊が屠殺場に連れて行かれたように、そして

羊を毛を刈る者の前にいたので、イエスは口を開けなかった。」いさ。 53:3-7。

驚異よ、おお天よ。驚くべきだ、男たちよ！

この点は、男性にはほとんど理解されていませんでしたし、今でも理解されています。でも良かったです。サタンによって識別され、それはサタンの誘惑によって明らかに知覚されます。

提示されました。イエスは砂漠で40日間食べ物を食べずにひどい目に遭われた

「もしあなたが神の子なら、これらの石が空になるように命じてください。」

マタイ 4:3。私たちが研究したことに照らしてみると、これはイエスにとって本当の誘惑でした。彼

それらをパンに変える権限を持っていました。そして彼はそれを知っていました。彼の時代には

神との交わりによって、神が誰であるか、そして神の使命が何であるかが神に明らかにされました。・

使徒ヨハネは次のように認めています。

すべてのことは神から来て神へ行こうとしていました...」ヨハネ 13:3。

サタンは天におけるキリストの位置と栄光を知っていたので、次のように理解しました。

人間よりもはるかに優れた誘惑の強さを、神の御子は利用するのです。

彼の重荷を軽減するのは自分自身の権威です。このことは、

それは、イエスの人生のさまざまな瞬間、特に最後の瞬間に現れました。いつ

彼は十字架に掛けられ、手足に釘が刺さっていました。

イエスの耳元では、「自分を救って十字架から降りなさい」という罵声が発せられました。

3月15:30; 「神殿を破壊して三日で再建する者よ、自分を救ってください。

あなたが神の子なら、十字架から降りてください... 彼は他人を救ったが、自分自身を救うことはできません。

もし、もし彼がイスラエルの王なら、今すぐ十字架から降りてください、そうすれば私たちは彼を信じます。」マタ 27:40,42; 「キリストよ、

イスラエルの王よ、私たちが彼を見て信じることができるように、今すぐ十字架から降りてください。」マルコ 15:32。

イエスは十字架から降りてくることができました。釘をそこから出すように命令することができた

彼の手と十字架の木に向かって地面にそっと寄りかかり、彼を横たわせました

彼に苦痛を与えないように。人間の体に秩序を与えることさえできました。

そうすれば、生き物は自分自身を回復し、すべての傷をすぐに閉じることができます。できた

神のすべての人間の敵、さらにはサタンに沈黙するよう命令するか、

その場で死刑を宣告されることさえある。なぜなら、「すべては神によって、そして神のために創造されたからです。」コリ
1:16。しかし、もし彼がそんなことをしたら、彼は私たちを運命、すなわち死へと見捨てることになるでしょう。

罪の報酬。したがって、それは私たちの理性や心に訴えることができませんでした。いいえ

彼は愛をもって私たちを征服するでしょう。神の知恵によって、最も困難な道が辿られました。

十字架の。これだけが愛に満ちた神の性質を実証し、すべての被造物の絶対的な忠誠心を一度だけ、そして永遠に征
服することができます。それは次のように書かれているとおりです。「愛は苦しみ、善良です...それは自分の利益を求
めません...すべて

すべてを苦しみ、すべてを信じ、すべてを望み、すべてを耐える…」そして「決して失敗しない」コリント13:4-8。そしてこんな感じなので

同時に、魅惑的で、魅力的で、雄弁で、説得力があり、非常に強いです。

邪悪な情熱を鎮め、悪を征服する。それはイエスが以前に十字架から降りてこなかったからです。

私たちの罪のために苦悩と苦しみの杯を取り、それを飲み干しました。

糞便 - 私たちはそのようなものによって提供される、罪からのこれほど完全に広範囲かつ完全な救いを持っているということ

すべての汚れと罪を洗い流すことができる、あふれるばかりの恵み

私たちの生活。

十字架を放棄するという決定がもたらす結果をまだ分析しているところですが、私たちは次のようにしなければなりません。

もしイエスがそれを受け取ったら、神の戒めへの不従順、つまり罪を招くことになるでしょう。

「罪は律法に違反することである」(1ヨハネ3:4)からです。したがって、もし神がそこで屈服すれば、救いの計画は失敗
するでしょう。それだけではありません - 神の政府が

「罪を犯した魂は死ぬ」というエゼの言葉は成就しなければならない、と主張した。

18:20。したがって、イエスが神の戒めから少しでも逸脱した場合、

父がたどった屈辱と苦しみの道。もし彼が十字架から降りてきたら、

もし神の政府が維持されたなら、神自身の命が失われるでしょう。したがって、いいえ

完璧な計画に取り返しつかないダメージを与えることなく脱出することができた。

救いとキリストご自身へ。神とキリストは私たちのためにすべてを危険にさらしました。ハレルヤ！

繰り返しますが、それは簡単ではありませんでした。犠牲を払いながら最後まで進むために要した苦闘

それは前夜に話された言葉によって最もよく表現されます。罪の罪のとき

世界の崩壊と、その結果として生じる神との交わりからの分離が引き起こされました。

イエスについて彼は口ごもりながらこう言いました。「私の魂は死に至るまで深く悲しんでいます」 3月14:34。

それで、ゲツセマネの園に到着した後、彼は叫びを克服するために神と戦いました。

それは、全力を尽くして苦しみから後ずさる彼の人間性の表れでした。

彼は初めてこう祈りました。この杯をわたしから取り去ってください。

でも、私が望むものではなく、あなたが望むものです。」 3月14時36分。私たちのカップ

救いは彼の手中で震えました。信仰によって御父の力にしがみつき、「

二度目に彼はこう祈った、「父よ、もし私なしではこの杯が私から通り過ぎられないのなら」

飲みなさい、御心が行われますように。そして戻ってくると、再び彼ら（弟子たち）を見つけました。

眠っている、目が重かったから。」マタ 26:42。至高の中で

努力して、彼は神にしがみつきました。彼の魂の叫びは次のとおりでした。「あなたがいない限り、私はあなたを手放しません」

祝福します。「そして、再び彼らを残して、彼は行って三度目に祈り、同じことを言いました」

言葉。」マタ 26:42-44。

イエスはこのようにして、「大泣きし、涙を流しながら、祈りと祈りを捧げました。

彼を死から救ってくれる人への願いが聞き入れられた」へブ。 5:7。権威によってではなく勝ち取った

彼はそれを神の子として正当に所有していた。しかし人間として、立場と限界の中で

人間の性質に特有の絶対的なもの。言い換えれば、

誘惑は私たちと同じ立場にあります。そしてそれらは神をはるかに偉大なものにします

神の地位と権威が私たちよりも優れていたのに比例して、私たちのものでもありました。そして

詳細: 彼は従順を示し、肉体的な苦痛だけでなく、苦しみにも耐えました。

鞭と十字架の釘。全世界の罪の重荷が彼にのしかかり、

「主は私たち全員の咎を彼の上に負わせられたからです。」いさ。 53:6。言い換えれば、彼は優勝した

罪は私たちの誰よりも比較にならないほど難しい試練にさらされました

決して直面することはありません。そして彼は我々が自由に使える手段を使って勝利した

提供されるのは、聖書、信仰、祈りです。その結果、私たちは次のことを確認します。

罪深い肉に似た御子…彼は肉において罪を非難し、人間においてそれが違法であると宣言した。それは、歩まない

私たちの中で律法の義が実現されるためである。

肉に従っているが、霊に従っている」。つまり、私たちが従順に歩むためです

イエスがどのように歩まれたか（ロマ 8:3,4）。

イエス・キリストの完全な人間性は、彼の完全な聖性と結びついており、

権威は、まったく実りある、そして尽きることのない研究分野です。したがって、入力してください

ソロモンは彼について次のように証言しました。「彼はまったく望ましい人です」とカント。 5:16。

したがって、十字架の壮大な犠牲は、救われた者の知識と歌となるでしょう。

永遠に。「十字架の言葉は、滅びる者にとっては愚かなものだからです。しかし

救われる私たちには神の力があるからです。」コリント第一 1:18。それで、その間に

イエス・キリストという人物を別の角度から分析してみると、私たちはまだ

これまでのところ、それぞれの側面から研究するための深さの海を残しておきます

対処されました。そしてそれは、「肉なる者が神の前で誇ることができないようにするため」でなければなりません。 コリント 1:29。

したがって、知識のすべての驚異に対するすべての名誉、栄光、そして賞賛を。

これまで私たちに与えられてきた神の知恵が、独自に与えられ、

独占的に神とその子羊、イエス・キリストに！そうは言っても、次のように分析します。

次の章、すべての人を崇拜するイエスの権利を支持する理由

生き物たち。

第10章

すべての被造物を崇拝するイエスの権利

これは多くの人には理解されていないトピックです。単なる理屈に流されてそれは彼らにとって「論理的」に思えるが、多くの人は、神だけが崇拝されることができる、と考えている。したがって、もしイエスが崇拝されたのは、彼が「神」になるからです。彼らは理由がわからないからそうするので、私たちが崇拝すべきものは聖書で教えられています。

聖書は、私たちが創造した人たちを崇拝しなければならないと述べています。礼拝してひれ伏しましょう。私たちが創造された主の前にひざまずきましょう。』詩 95:6。"のみあなたは主です。あなたは天国、天国の中の天国、そしてそのすべて、地球、そしてすべてのものを創造しました。そこにあるすべてのもの、海、そしてその中のすべてのもの、そしてあなたはそれらすべてを生かし続けています。そしてその天の軍隊はあなたを崇拝しています。』二ム。 9:6。そして神の御子は創造主です。

神によって創造された」コロサイ 1:16。

私たちはまた、主の神聖さを崇拝します。

神聖さ;全地よ、神の前に震えなさい。』詩 96:9。この節と詩篇全体が、神ではなく「主」を指します。「主を礼拝しなさい」と書いてあります。キリストも同じでした。御父の聖性、なぜなら御父は「御人格の明白な姿」へブであったからです。 1:3。

私たちが崇拝するもう一つの理由は、神の善良さと「優しさ」のためです。後者は、神が私たちの利益について考えておられるという事実に関係しています。別のテキストで「イスラエルの子らは皆、火が起こり、主の栄光がその上に現れるのを見た」家に帰ると、彼らは歩道の地面に顔を伏せて礼拝し、賛美しました。主は言われた、「彼は善い方だから、彼の慈しみは永遠に続くからです。』二クロン。 7:3。エレミヤはキリストについて次のように言いました。彼"; 「万軍の主をほめたたえよ、主は善い方であり、そのゆえに優しさは永遠に続くのです」ラマ 3:25。ジャー。 33:11。キリストは「愛」のために慈悲深いお方です。神は…キリスト・イエスのうちにおられます」ローマ。 8:39、そして「愛は…親切です」コリント13:4。

したがって、神の子であるキリストは、キリストにふさわしい特質を備えていました。崇拝されています。受肉したときも、彼は神の子であることをやめませんでした。そのままの状態のままでした - 万物の創造主、御父と同じように神聖であり、御父にとって善良で慈悲深い方生き物たち。そうでないなら、イエスは受肉したキリストではないでしょう。このように、イエス・キリストは、

人の子、彼は崇拜に値する人物でした。そしてイエスがキリストであると信じた人は誰でもそれによって罪を負うことなく神を礼拝することができました。

聖書を注意深く分析すると、弟子たちが次のことに気づくでしょう。

彼らは彼が神の子であるキリストであると認識したときに礼拝しました。彼らはイエスを次のように崇拜しませんでした。

「神」：「イエスは彼らが彼を追い出したことを聞き、彼を見つけて言われた、「あなたは御子を信じますか」

神様のもの？彼は答えて言った、「主よ、彼は誰ですか、私は彼を信じるべきですか？」そしてイエス

「あなたはすでに彼を見ました、そして彼があなたに話しかける方です。」彼は言いました、「主よ、私は信じます。」そしてその

楽しかった。"ヨハネ 9:35-38。「すると、舟に乗っていた人たちがやって来て、イエスを崇拜して、「あなたはまさに神の子です」と言った。マタ 14:33。の場合でも、

取り憑かれました - 彼が彼を崇拜したとき、彼に取り憑いた悪魔が彼を息子であると宣言しました。

神：「そして、彼は遠くにイエスを見たとき、走って彼を拝みました。そして、大きな声で叫びながら、

彼は言った、「いと高き神の御子イエスよ、私とあなたと何の関係があるのですか？私は神によってあなたにそう呼びかけます

私を苦しめないでください。」マルコ 5:6,7。これらの記述は私たちが研究したことと一致しています。

聖書からわかるように、イエスが神にふさわしい者となるためには「神」である必要はありませんでした。

崇拜。それは、彼が「神」ではなかったとしても、次のような属性を持っていたからです。

神の創造物からこの敬意を受け取る資格があります。このため、神は、

彼自身が命じた、「もう一度、彼が長子を世にもたらすとき… :そしてすべての天使たち」

神を崇拜してください。」ヘブ。 1:6。

父なる神は、ご自身を崇拜に値するものにする特質もお持ちです。

創造主よ、彼は神聖であり、慈悲深いお方です。聖書は次のように明らかにしています。「神、万物を創造された方」 3:9。「神様、

主よ、天を創造し、それを広げ、地とそれが生み出すすべてのものを広げた方。何

そこにいる人々に息を吹き込み、そこを歩く人々に魂を与えてください。」いさ。 42:5。

「神々の神を讃美せよ。神の愛ある親切は永遠に続くからです。」詩 136:2。そして、

絶対的な、または厳密な意味では、神は唯一の善者です。「イエスは彼に言った :なぜ私を呼ぶのですか？

良い？神以外に善人はいない。」 3月10時18分。として理解されるもの

永遠であり、最初に存在する存在である神が善の根源であることを意味します。同じ

キリストは父と同じ善良さを持ち、「神の明確なイメージ」の中で生み出されました。

「人」（ヘブライ人への手紙 1:3）を善の根源として見ることはできません。生成されてからというもの、

彼が父から受けたもの。

聖書は、イエスが地上を旅したとき、「ある人は、イエスはこう言った」と証言しています。

ヨハネ7:12。しかし、これまで見てきたように、善は、神が生まれる前から、もともと父のうちにありました。

御子は永遠の日に生まれるでしょう。イエスが「ほかに善い人はいない」と言われたとき、

一人、それが神である」（マルコ 10:18）と明らかにしたのは、厳密で絶対的な意味では、神の父だけであるということです。

いいですよ」。人間は真実の全体を自分自身で見ることはできません。である必要がある

聖書を学ぶことでそれについて啓発されました。

さらに、同じ聖句から、イエスが明らかに望んでいたことが明らかです。

金持ちの青年が与えた褒め言葉を自分からそらして、もしそれを受け取ったら、彼の心に届くのを妨げてしまおう
あなたの心。青年は次のように対話を始めました。

永遠の命？" 3月10日17分。「良い」という形容詞の使用は、典型的なものを反映しています。

相手の良いところを引き出すために、相手を褒めることから会話を始めるというポリシー

喜んで。それには、イエスにふさわしい反応をイエスの中に生み出すという計算された目的がありました。

好ましい。しかしイエスは「政治的に正しい」行動には従わなかった。到達したかったのは、

心臓。もしその青年が完全に明け渡した心を持ってイエスを信じる者だったら、イエスは

彼の言葉を他の人が言ったのと同じ性質のものとして受け取ったかもしれない

信者たちはイエスについて次のように言いました。「彼は善良な方です」 ヨハネ 7:12。でもその瞬間は受け入れてください

それは、その若者を教えるという神の意図を損なうことになるでしょう。だからこそ彼は賞賛をそらしたが、それは心から言ったのだ。

礼儀正しく、愛情に満ちた態度で、彼の性格と調和しています。彼は父なる神に賛美を送りました。

絶対的な意味で優れているものだけです。しかし、神の言葉はそうではありません。

それは、彼、イエスは「善良な人間」ではなかったという告白として解釈されました。意味はそうではありません

これです。その証拠に、別の機会に、イエスご自身がこの形容詞をご自身に当てられたのです。

「わたしは良い羊飼いです」 ヨハネ 10:11,14

この章の中心点に戻ると、礼拝は神とキリストによるものであり、他の誰によるものでもないということがわかります。聖書は黙示録 5 章 13 節で次のように明らかにしています。

天に、地に、地の下に、海に、そしてすべてのものに存在する生き物

その中にあるものをこう言いなさい、「王座に座っておられる方」 神 そして小羊に、

感謝と名誉と栄光と力を永遠に与えてください。」

明らかにすべき詳細が 1 つ残っています: 父と子は崇拝を受けていますが
被造物の中で、父だけが神として崇拝されます。

彼らは神の前に玉座に座り、ひれ伏して礼拝した

神に」アポック。 11時16分。天使はヨハネに積極的に「神を崇拝しなさい」と宣言しました。 19:10。

ヨハネは、イエスが御座から「私たちの声を称賛せよ」と呼びかけたときも聞きました。

神、あなた、神のすべての僕たち、そして小さくても大きくても神を畏れるあなたたち。そして

私はそれが大群衆の声であるかのように、また多くの水の声であるかのように聞こえました。

大きな雷の声のように、「ハレルヤ！」と言うのです。今のところ、全能の神、主よ

強大な統治。」アポック。 19:5,6。詩篇作者は次のように宣言しました。なぜ

彼の慈愛は永遠に続きます。」詩 136:2。このように、キリストは価値があるにもかかわらず、

崇拝されるべきですが、最高の崇敬は御父にのみ与えられます。

イエスは、礼拝は神に返さなければならないと教えました。

彼は答えた、「『あなたはあなたの神、主を礼拝し、ただ主に仕えなければならない』と書いてある。」マタイ 4:10。

リュック。 4:8 (改訂および更新されたアメリカ訳聖書)。私たちはカルトに言及しなければなりません

父なる神、イエスの御名において。聖書はこう教えています。

言葉であれ行為であれ、主イエスの御名においてそれを行い、主に感謝しなさい。

父なる神よ。」コロサイ 3:17。神、全能であり、永遠であり、自己存在であり、創造されず、

生まれざる者、すべてのもの、すべての者の根源である、私たちの主イエス・キリストの父、

最高の崇拝を受けなければなりません。そしてこれはキリストを軽視するものではありません。いやあ、なんて良い息子なんだろう

自分の父親を家の長として尊敬も尊敬もせず、常に控えめな態度をとった

それは家の中で一番良い席ですか？

ここで事実を繰り返す価値があります。特にこの点において、聖書の教えは聖書の教えと矛盾しています。

「人間の論理」。イエスは論理的には「神」ではありません。「神はただ一人、父である」コリント 8:6。

人間の思考の論理に従ってはい誰も救われないことを忘れないようにしましょう。彼らです

「救いのためにあなたを賢くすることができる聖書」2テモテ3:15。聖書、

そしてその言葉だけが永遠の命の言葉を含んでいます。真実は、イエスは神ではないということです。

しかし、それでも崇拝に値するものです。言い換えれば、彼が「神」ではないという事実は、彼のものではありません。

デメリット。この教えは神の人格を軽視するものではなく、むしろ救いの計画を置き、

彼と神が真の光の中で捧げた犠牲は、間違いと闇を一掃し、

彼らが示した愛のより明確な啓示を妨げた迷信のせいでした。

礼拝する権利と同様に、イエスには他にも特権があります。

救いの計画は永遠の昔から主を中心としていたという事実は、人々にはよく理解されていません。そして、それらを理解できていないために、多くの人は次のように誤解しています。

救い主の真の性質、そうではない彼への敬意

真実と一致しています。次の章ではそのうちの1つ、つまり「国家の権威」について取り上げます。

罪を赦してくださるイエス。

第11章

罪を赦すイエスの権威

「さて、ある日、イエスが教えておられることが起こりました。そして彼らはそこにいたのです」
パリサイ人と律法教師たちは、ガリラヤ、ユダヤ、そしてガリラヤのすべての村から来ました。

エルサレムの。そして、主の力が彼とともにあり、癒されました。それから何人かが来ました

中風患者をベッドに連れてくる男たち。そこで彼らは彼を連れてきて前に立たせようとしたイエス。そして、群衆のせいで彼を連れて行く方法が見つからず、彼は屋上に上がりました。彼らはベッドの上、タイルの間の中央、イエスの前に降りました。彼らの信仰を見て、イエスは中風の人にこう言いました。「人よ、あなたの罪は赦されています。」そして律法学者たちとパリサイ人たちはこう考えて言った、「冒瀆を言うのは誰だ？誰が許せるのか神ではないとしたら、罪はあるでしょうか？しかし、イエスは彼らの考えを知って、こう言われました。あなたは心の中で推理していますか？「あなたの罪は許された」と言うのはどちらが簡単でしょう。それとも：立ち上がって歩きますか？しかし、人の子が持っていることをあなたがたに知ってもらうためです。罪を赦す権威 - 彼は中風の人に言いました：私はあなたに命じます：立ち上がって、罪を取りなさい。ベッドを置いて家に帰りなさい。」リュック。5:17-24 (改訂および更新されたアメリカ訳)。

興味深いのは、イエスの敵をイエスと結びつけたのは、イエスの敵だったということです。「神であること」によって罪を赦す権威。「律法学者とパリサイ人たちはこう論じました。「冒瀆を言うのは誰だ？神でなければ誰が罪を許すことができるのでしょうか？」それに対してイエスは彼らの告発を肯定しませんでした。彼は彼らに理由を与えなかった。前に、彼は単に自分には罪を赦す権威があることを示しただけです。それが基づいている基礎に関係なく、麻痺を治すことです。したがって、罪を赦す神の権威の根拠は他の場所に求められなければなりません。人間の論理でキリストを評価するという間違いを犯さないように、それを聖書の中に置きます。これが次に行くことです。

聖書は次のように明らかにしています。私たちは神に反逆したからです」ダニエル 9:9。しかし神は御子に赦す権威を与えました。罪については、次の神の言葉によって明確に理解されています。人の子は地上で罪を赦す権威を持っている、と彼は言いました。麻痺者)：起きて、ベッドに上がって、家に帰りなさい。」マタイ 9:6。奇跡はそれは単に、神が罪を赦す権威を与えられたという証拠です。あイエス・キリストについて、「すべての預言者は、イエス・キリストのうちにあるすべての者が、信じれば神の御名によって罪の赦しが得られます。」使徒 10:43。

しかし、この権威は御子に固有のものではありません。イエスは肯定的に宣言した「天においても地においても、すべての権威がわたしに与えられている。」マタ 28:18。つまり全権限(罪の赦しを含む)は父から生じ、父から子に「与えられ」ました。それでもイエスは「神」ではありません。神が与えた罪を赦す権威を持っています。

それが認められた理由は、ヨセフに対する天使の言葉に現れています。彼女が救い主の誕生を発表したとき、「そして彼女は男の子を産むでしょう、そしてあなたは彼の息子を呼ぶでしょう」名前はいエス。神はご自分の民を罪から救ってくださるからです。」マタイ 1:21。に関しては救いは、イエスが「その体に

私たちの罪を木の上に置きます、それは私たちが罪に対して死んで生きるためです

義のために」 1ペテロ。 2:24。イエスには罪を赦す権威があります。

救いの場合、神は私たちの罪に必要な死を支払ってくださると概説され、

そうすれば彼は私たちのために許しを得られるでしょう。そして、十字架を見て、私たちは次のように結論付けます。

私たちのために死んだ人々には、その犠牲が有効であることを父に求める価値がある

神が望む者の罪を赦してください。これはジョンの手紙で確認されています。

神は「私たちの罪のなだめの品として御子を遣わされた」のです。ヨハネ第一 4:10。 •

「宥め」という用語は許しに関連しています。イスラエルが罪を犯したとき、モーセはこう言いました。

「あなたは大きな罪を犯しました。しかし今、私は主のもとに昇ります。もしかしら私があなたの罪を償ってあげるかもしれませんが」 32:30。そして彼はそうして、次の言葉を神に語りかけました。

この人々は自分たちのために金の神を作って大きな罪を犯しました。したがって、今は彼らの罪を赦してください。そうでないなら、お願いだから、あなたが書いたあなたの本から私を消し去ってください。」出エジプト。 32:31,32。

したがって、神は御子を通して罪を赦すために御子を遣わされました。「そして彼は、

私たちの罪のためのなだめであり、私たちの罪だけでなく、他の人々の罪のためでもあります。

世界的に。"ヨハネ第一 2:2。

イエスは十字架の犠牲を通して、すべての人を赦す権利を獲得されました。

「あなたは高いところに昇り、捕虜を導き、人々への贈り物、さらには人々への贈り物も受け取りました。

反逆者たち」詩 68:18。そして給付金を全額適用する権限も得た

彼を信じるすべての人に許しを与えました。したがって、「御子を信じる者には命がある」

永遠の;しかし、御子を信じない者は命を見ることができず、神の怒りが彼に降りかかるのです。

残っている。」ヨハネ 3:36。

これまで見てきたことから、イエスには罪を赦す権威があることがわかります。

なぜなら彼はそれを父から受け取ったからです。そしてこれは人間の救いのために立てられた計画の中で定義されました。

イエスは私たち全員の罪を自ら背負って十字架の苦しみを受け取ります。そしてそれを通して

この無限の犠牲によって、主が許した人々の罪を赦す権利が得られるでしょう。

希望。したがって、彼がその使命を遂行する上で神に忠実である限り、

償還計画の範囲内では、この同じ計画により、

罪を赦す権利。彼の許しの宣言は、彼の期間中に与えられました。

地上での奉仕とそれ以前の十字架は祝福の「前味」でした

カルバリの十字架での彼の犠牲によって具体化されました。現実性の表現、

神と神は、犠牲を完遂するまでは自らの使命を失敗しないという信念を持っていました。

そして、罪の赦しはその後にもみ完成することができるため、

十字架の犠牲、イエスのこれまでの発言すべて：「あなたのものは赦されています」

「罪」は、勝利において彼が持っていた完全な信仰の実証でした。信仰とは

神はそれを貴重な「神の贈り物」として私たちに絶えず提供して下さいます。 2:8;そして私たちが

今日、私たちは神の助けによって明日必ず勝つでしょう。彼がいたこの信仰を持ったパウロは次のように宣言しました。人生も、天使も、公国も、権力も、現在も、未来、高さも深さも他のどんな生き物も私たちを引き離すことはできない私たちの主キリスト・イエスのうちにある神の愛です。」ロム。 8:38,39.そしてすべてキリストが初めて地球に来られる前に生きていた族長や預言者たち。天に召された人々、エノク、モーセ、エリヤは罪を赦され、彼の天国への入りさえも、この信仰によって保証されました。私たちが受け取れますように！

キリストの本質というテーマに戻ると、私たちはキリストの権威が次のことを理解しています。罪を赦したからといって彼が「神」になったわけではないし、罪を赦すことは決して神を支持するものではありません。ある人たちが神の御子を誤って「御子なる神」と呼ぶふりをしています。彼は神の子であり続けます。「神はただ一人、父である」(1コリント8:6)。それでもキリストは私たちの罪のために死んでくださったので、赦す価値がすべてありました。の光十字架、誰も、悪魔自身でさえも、イエス・キリストの権威に疑問を呈することはできません。

私たちが許してください。

イエスは罪に対する勝利を通してこの権利を獲得したので、神が人間として生きている間、外部の葛藤とイエスの内なる罪との葛藤。そして彼は私たちの模範であったので、私たちはこの研究から、困難を克服するのに役立つ貴重な教訓を確実に引き出すことができるでしょう。私たちの悪との闘い。次にそれを行います。

第12章

イエス・キリストの罪との外的な葛藤

聖書は、イエスがヘブに対して「私たちと同じようにあらゆる点で誘惑された」と積極的に宣言しています。4:15.彼も私たちと同じように誘惑に直面しました。つまり同じ土地、同じ条件。私たちの身体的な限界や、私たちが受けるストレスについて考えてみましょう。特に疲労の重みにさらされているとき。心配から生じる精神的苦痛。

苦しみ、敗北、屈辱の痛み。これらすべてのテスト状況は、
サタンは私たちが癩癩に陥らせたり、道から外れさせようとしています。
利益を求めるとき、あるいは損失や苦しみから逃れるときの戒め、イエス
も苦しんだ。以下にいくつかの例を示します。「それから、イエスは御霊に導かれて荒野に行かれました。
悪魔の誘惑に遭うのです。」マタイ 4:1。「そして40日間、彼は悪魔に誘惑されました。
何も食べない日もあった。そしてそれらが終わると、彼はお腹が空いていました。」リュック。 4:2。「そしてメインは
祭司と律法学者たちはイエスを捕まえようとしていました...そして、イエスを観察して、彼らは人を送りました
正義のふりをしたスパイたちは、何らかの言葉でイエスを捕まえ、彼らに引き渡そうとした。
大統領の管轄権と権限。そこで彼らはイエスに尋ねて言った、「先生、私たちはそれを知っています」
あなたは正しく正しく話し、教え、人の外見を気にせず、真実をもって神の道を教えます。私たちがカエサル
に敬意を払うことは合法ですか?そして、

彼らの狡猾さを理解すると、イエスは彼らに言った、「なぜ私を誘惑するのですか?」リュック。 20:19-23。イエス
彼は飢え、悪魔の狡猾さ、人間の偽善に直面しました。というのは、「彼が何をしたのか」
たとえ誘惑に遭い、苦しんだとしても、彼は誘惑に遭っている人々を助けることができます。」ヘブ。 2:18。

私たちが特に、紛争とは異なる紛争を抱えているとは言えません。

キリストと対峙する。以前は、神のテストが私たちのテストよりもはるかに優れていたことは明らかです。
ゲツセマネの園で語られた次の言葉を考えてみましょう。

死ぬほど悲しい。ここにいて見ていてください。」 3月14時34分。「そして彼は彼らから去った
石を投げてすぐのところにあります。そしてひざまずいて祈ってこう言いました、「父よ、もしよろしければお通りください」
この杯は私からのものです。まだ私の意志ではなく、あなたの意志で終わってください...そして、入れてください
苦しみながら、彼はさらに激しく祈りました。そして彼の汗は大粒のようになった
血が床に流れ落ちました。」リュック。 22時44分。ゲツセマネでイエスは大聖堂の下で頭を下げました。
すべての人間の罪の重さ。彼の挑戦的な対立を予見して、
イザヤはこう預言しました。

他の誰よりも傷つき、彼の姿は他の誰よりも
人の子らよ。」いさ。 52:14。それだけでは十分ではなかったかのように、悪魔の活動は
キリストの宣教は歴史上のどの時期よりも熱心でした。で
旧約聖書には、悪霊の活動に関する記述はほとんどありません。

人々を苦しめる。数少ないうちの一つはサウルの場合です。「主の御霊」
彼はサウルから悪霊を取り除きましたが、悪霊が彼を苦しめたのです」サム一。 16:14。一方、
福音書には、イエスが悪霊に遭遇した数多くの事例が記されています。

ガダラ人、口のきけない人、狂った少年、シロフェニキア人の女性の娘のように、
他の人たち：「そして彼らが反対側、ゲルゲセン人の地方に来たとき、彼らは出て行った。

私は悪霊に取り憑かれた二人の人が墓から出てくるのを見つけました。彼らはあまりにも獰猛だったので誰もいなかった
そっちに行くこともできた。すると見よ、彼らは叫びながら言った、「私たちはあなたと何の関係があるのですか?」

イエス、神の子？私たちの時間の前に私たちを苦しめるためにここに来たのですか？そして彼は放牧していた彼らから遠く離れたところにたくさんの豚の群れがいた。そして悪霊たちは彼にこう言った。
あなたは私たちを追い出し、私たちがその豚の群れに入るのを許します。」マタイ 8:28-31。"そして、彼らが立ち去ると、彼らは口がきけず悪霊に取り憑かれた男を連れて来ました。そして、追放された
「悪魔は口の利けない者を話した」マタイ 9:32,33。「そしてイエスは、自分から出てきた悪魔を叱責されました。そしてその時から少年は癒されました。」マタ 17:18。「するとイエスは彼に言われた、「この言葉によって、行く、悪魔はすでにあなたの娘さんのものを去ったのです。そして、彼女が家に行くと、娘が床に横たわっているのを見つけました。ベッドにいて、悪魔はすでに去ったと思いました。」マルコ 7:29,30。「そして彼らの会堂には、汚れた霊に憑かれた男は叫んだ、「ああ！」イエス様、私たちがあなたとともに持っているものはナザレ人？私たちを滅ぼしに来たのですか？私はあなたが誰であるかを知っています。神の聖者です。そして彼を叱責したイエスは言われた、「黙って彼から出て行け。」すると汚れた霊が彼をけいれんさせ、大声で叫ぶと、彼は彼の中から出てきました...そして彼は病気の多くの人々を癒しました。さまざまな病気を治し、多くの悪霊を追い出しましたが、彼はそれを許しませんでした。なぜなら、彼らはイエスを知っていたからです...そしてイエスはガリラヤ中の彼らの会堂で説教し、悪霊を追い出さない。」マルコ 1:23-26,34,39。

以前とその後の聖書の記述から、私たちは決してそうではないことに気づきます。地上でのイエスの宣教中にあつたのと同じくらい、目に見える悪霊の活動がありました。したがって、すべての悪の勢力が集結し、キリストと戦い、キリストに打ち勝つことを目指します。

サタンにとってはすべてが危険にさらされていました。もし彼が敗北したとしても、キリストは征服するだろう命によって達成された勝利のために、彼を裁き、火の湖に投げ込む権威。従順とそれに続く十字架の死。彼の復活は彼の勝利の証拠となるでしょう。彼はサタン自身さえも裁くであろうことを保証します。聖書はこのことをいくつかの言葉で証言しています
「神は……正義をもって世界を裁く日を定められた。
彼は運命の人を通して。そしてこのことを皆に告げて、イエスをその中から引き上げた。
死んだ。"使徒 17:30,31。「罪を犯した天使たち」は「裁きを受けるために留保されていた」（ペテロ第二 16:30,31）。3:4)、それはキリストによって成し遂げられます。なぜなら、「父は…すべての裁きを子に与え…そして彼に、彼は人の子であるため、裁きを執行する力がある。」ヨハネ 5:22,27。つまり、神は与えてくださいました。キリストは人間となり、罪と悪魔を征服されたので、すべての裁きを受けられます。ヨハネは、イエスが近づいてきたとき、神の天使たちがこう言ったのを見た、と報告しています。未来から悪魔の最後の懲罰までの場面が含まれる巻物を広げてください。あなたはその本を手に取り、その封印を開いてください。なぜならあなたは殺され、あなたの血で殺されたからです。あなたは神のために、あらゆる部族、言語、人々、国家から人々を買いました。」 5:9。

サタンとその悪霊たちは、自分たちにとってすべてが危機に瀕していることを知りながら、彼らはキリストを倒すために最善を尽くしました。イエスの罪との外的な葛藤

それは私たちの使命よりもはるかに偉大であり、神の使命の重要性がより大きくなりました。それでさらに比較のしようがないほど証拠的です。したがって、誘惑の強さは、キリストの苦しみは他の人間の経験の中で比類のないものです。唯一のポイント彼の外的葛藤が私たちの葛藤と同一視できるのは、次のような性質に関するものです。誘惑。これは私たちにも起こっていることと同じでした - 行動するよう強い圧力をかけられました。神の意志に反し、抵抗します。

この驚くべき紛争をめぐる謎は、解明すべき事柄の一部です。

「天使たちもそれを見たいと願っている」1ペト。 1:12。そして私たち男性はできるし、私たちは - うやうやしく - 彼らに耳を傾けなければなりません。これは私たちに素晴らしい啓示をもたらすでしょう。私たちがすべての悪から救い出す神の能力と、私たちに対する神の愛。なぜなら、キリストの信仰の祈りに応えて与えられた彼の力は、神がすべての誘惑を克服できるようにするには十分です。私たち自身が決して苦しむことはありませんが、この同じ力の助けによって、私たちの信仰の祈りに応えれば、私たちは勝利します。

そして、この打ち勝つ力を掴む信仰は、私たちが生み出せるものでも、生み出すべきものでもありません。それは「神の賜物」です(エペソ2:8)。神から与えられた贈り物です！私たちはこの賜物を受け入れ、それを通してあらゆる誘惑に打ち勝つことができます。勝利は我々のものだ！パウロが言ったように、「これらすべてのことにおいて、私たちは神によって征服者以上の存在です」私たちが愛してくれた人。」ロム。 8時37分。アーメン！

イエス・キリストが直面した葛藤の分析に戻って、私たちは次のように考えます。それは悪霊が受けたあらゆる外部からの圧力に直面したときの神の内なる葛藤でした。悪い人たち - 次の章で。

第13章

イエス・キリストの内なる罪との葛藤

イエス・キリストの内なる罪との葛藤の分析は、イエスは神ではなく人間であるという聖書の概念。神だったらそんなことはありえない。なぜなら、聖書は次のように述べているからです。なぜ神が悪に誘惑されることはありません。叔母さん。 1:13。もしイエスが多くの人たちと同じように「神」だったら神は、罪との内なる葛藤を持たず、罪を犯さないことを意図していました。

同じように勉強するのは理にかなっています。しかし、ひとたびキリスト・イエスが「人間」であることが確立されると（私はテモテ 2:5）。このテーマは有益な分野であり、研究の余地があることがわかります。

イエスが「私たちと同じようにあらゆる点で誘惑を受けたが、罪を犯さなかった」ことはすでに見ました。 4:15。聖書は、私たちがどのように誘惑されるかを次のように説明しています。

自分の欲望に騙されて。」叔母。 1:14。避けられない結論は、彼は

「彼自身の欲望によって引き寄せられた。」この表現は強く聞こえるかもしれませんが、多くのキリスト教徒にとってはばかげた話だ。おそらく彼らはこう言うでしょう。

神の聖なる御子に肉の欲望があったのか？」しかし、このスキャンダルはその結果です

聖書を正しく理解していないこと。実は「欲望」という言葉は、

物欲と官能的な快楽への欲求に関連しています。

しかし、より正確な分析によると、原文の意味はそうではありません。

特にこれ。「情欲」と訳されている言葉はエピチミアです。そして登場するのは

ほとんどの節は「食欲」と訳されています。「禁じられたものに対する憧れ、願望」という意味があります。したがって、「意志」と同義です。イエスが人間として持っていたもの

御父の御心とは異なる願望は、いくつかの節から明らかです。彼は言った：

「私が天から降りてきたのは、自分の意志ではなく、主の意志を行うためです。

私に送ってください。」ヨハネ 6:38。そしてまた、「父よ、もし望むなら、この杯を私から取り去ってください。ただしそうではありません

私の意志は終わりますが、あなたの意志は完了します。」リュック。 22:42。ここに、私たちとの類似点が見られます。

私たちにも神の意志と一致しない意志があり、それが私たちを満たします

イエスがなされたように、それらを克服し、父に服従させてください。

この啓示から、私たちはイエスの内なる葛藤をよりよく理解することができます。

罪。罪に対する神の心の敵意は、部分的には自然なものでした。彼はそうだったから

受肉した神の子。したがって、彼は同じ神聖さと悪に対する嫌悪感を持っていました。

以前に憑依されて、天国にいました。彼は「聖人」であり、転生したときもそうであることをやめられなかったもしそうでなければ、それは神ではないからです。それゆえに、神は「聖なる」者として生まれました（ルカ 1:35）。

しかし、罪に対するイエスの内なる葛藤は、部分的には私たちの葛藤とまったく同じでした。

彼は神の意志とは異なる欲望を持っており、それを制御するのは神次第でした。

多くの人イエスが抱くであろう考えに抵抗する共通の理由

聖書にはっきりそう書いてありますが、それは混乱の結果です。

罪を伴う「欲望」。欲望、つまり肉の意志は、そうでない場合には罪になります。

支配された;それは、私たちが彼を歓迎し、愛撫するときです。次のように書かれています。

妊娠したら罪を産むんだよ 叔母さん。 1:15。ルターは次のように言いました。

鳥が頭上を飛ぶのを止めることはできますが、止めることはできません

彼らに巣を作らせてください。したがって、私たちは存在から自分自身を解放することはできません

誘惑には遭いますが、誘惑に陥らないように戦うことはできます。」イエス様の場合ですが、

神が示した道から離れたたいという願望、あるいは意欲は存在しましたが、神はそうではありませんでした。彼に屈した。むしろ、彼は血が出るほど抵抗し、「父よ、もしよろしければ、これを私から取り除いてください。」と言いました。カップ;まだ私の意志ではなく、あなたの意志が行われます...そして、苦しみながら、彼はさらに祈りました。激しく。そして彼の汗は大粒の血のようになって、体に流れ落ちた。

床。"リュック。 22:42,44。 イエスは、「大泣きと涙を流しながらささげ物をささげて、彼を死から解放してくれる人への祈りと嘆願」そして「彼は聞き入れられました...彼が息子であったにもかかわらず、彼は苦しんだ経験から従順を学びました。」ヘブ。 5:7,8. そして彼はこう言うことができました。この世の君主であり、わたしのうちには何も持っていない」ヨハネ 14:30。悪魔は見つけられなかった彼らの誘惑がキリストの心に歓迎されるための支えとなるものは何もありません。

同様に、サタンとその配下の悪霊たちは常に、

さまざまな方法で、私たちに罪を示唆し、私たちの中に「欲望」を引き起こそうとします。

神の意志から遠ざかります。彼は創世記でイブと同じことをしました。

女性: あなたは決して死ぬことはありません。神はあなたがそれを食べる日にはそれを知っているからです。あなたの目は開かれ、あなたは神のように善悪を知るようになるでしょう。そして彼はその女性を見た。その木は食べ物に良く、目にも美しく、人間にとって望ましい木であると。

理解を与える。彼はその実をいくらか取って食べました」 3:4-6。実際には何も入っていなかった

「理解を与えることが望ましい」禁断の木の果実。騙されてイヴ

彼は果物の中に、そこになかったものが見え始めました。悪魔は彼女の中に、それを食べたいという欲求を呼び起こしました。

フルーツ。「それでは、貪欲は身ごもった後、罪を生むのです」叔母さん。 1:15。そして彼女は

彼が食べた。そしてそのプロセスは今日まで繰り返されているため、私たちは

欲望が私たちの心に現れます。しかし、我々は神の恵みによって彼らを征服することができます。

キリストは、まさにご自身がされたように、私たちを神の御心に従わせてくださいました。言えることは、

神:「私の意志ではなく、あなたの意志が成されますように。」 「そしてキリストに属する者たちは十字架につけられた情熱と欲望を伴う肉体。」ギャル。 5:24。

罪との内なる葛藤というテーマをさらに探究することができる

問題をより明確にすると同時に、問題を明らかにするために、深みを増します。

新しい光のニュアンス。もう一度次の聖句を考えてみましょう。「神は誘惑されることはありません」

悪のために」叔母。 1:13。彼は、彼が

宇宙の創造主。神は創造者であり所有者であるため、神は宇宙の王であり、神の意志です

それはすべての生き物の法則です。彼はそれを十戒の律法の中で明らかにしました。にあります

ローマ 7:13 聖書は、律法は「善い」ものであると述べています。法律が「善」であるならば、それを破ることが「善」である

悪い。言い換えれば、悪は罪なのです。言い換えれば、善とは意志の実現です

神と悪の関係は、それと矛盾することになります。

神がご自身の意志に反して誘惑されることはあり得ません。

良い。したがって、神が悪の誘惑を受けることはあり得ません。彼がそうなる可能性があることを認める

神はご自身の意志に反して行動したいと考えたくなるでしょう。ここで私たちは
私たち自身は、本来、自分の意志に反することをしたいとは決して思っていない。そして私たちは行きました
創世記は「神に似せて」造られました。 1:26。

最初はこれらすべてが単なる神学的推論のように見えるかもしれませんが、そうではありません。へ
この理解がもたらす意味は計り知れず、愛の深さを明らかにします。
それはカルバリから来る光からのみ正しく理解することができます。さあ行こう
この謎をさらに掘り下げる前に、いくつかの事実を確立してください。の犠牲
十字架は神のご意志の成就でした。「神は御子をこの世に遣わされました…」
それは、世界が彼によって救われるためです。」 「私たちが彼を通して生きるためです。」 (ヨハネ 3:17; 1ヨハネ
4:9) 。したがって、イエスは神の意志の表現である律法の成就者でした。そしてその
律法を全うすることは愛です」ロム。 13:10。

上記のことから、神は十字架上の御子を見て非常に苦しんだことが分かります。
しかし私は彼をそこから連れ出す気はありませんでした。神が御子を愛していなかったからではありません - それは
彼が神を愛していたことは明らかですが、「神は御子を与えたほどに世界を愛されました」
独り子、彼を信じる者は滅びず、永遠の命を持つためである。」 ヨハネ
3:16。イエスは、御子を見るために言葉では言い表せないほどの苦しみを味わったにもかかわらず、御子を十字架から降ろそうとはされませんでした。
そこにぶら下がっています。それは、彼が私たちを愛し、私たちが救いたいと思ったからです。

この啓示をもう少し詳しく調べて、次のことから分析してみましょう。
なぜなら、私たちは「神に似て」造られているからです (創世記 1:26) 。我々は持っていない
私たち自身の意志に反したいという自然な欲求はありません。同様に、神もそうではありません。
私はこの壮大で畏敬の念を抱かせる犠牲を中断する気はありませんでした。以前、なしで
彼はまばたきもせず、それをやり遂げるという決意を持ち続けた。イエスが入ったとき、
ゲツセマネは全世界の罪の圧倒的な重みに苦しみながらこう言いました。

「父よ、できることなら、この杯をわたしから去らせてください。でも、私の思い通りにはならないけど、
御心のままに」 (マタイ 26:39)と言いましたが、神は杯を手から取り去られませんでした。むしろ彼は彼に与えた
それを飲む力：「そして天使が天から彼に現れて、彼を力づけた。」リュック。 22:43。少し
その後、イエスが十字架に釘付けになって絞首刑になったとき、そのような侮辱はすべて受けた。
サタンとその御子に投げかけられた悪人たちは、神のうちに目を覚まさなかった。
神をそこから追い出したいという願望はあまりありません。そうすれば、私たちは救いの希望を失うことになるからです。それは彼です
私たちが愛してくれました。私たちが失いたくなかった。「あらゆる良い贈り物も、あらゆる完璧な贈り物も天から与えられます。
光の父の子孫であり、彼には変化も、回転の影もありません。」ティアゴ
1:17。そして、神から私たちに与えられた最大の「良い贈り物」、または「完璧な贈り物」は、彼の命でした。
息子。「神は愛です」ヨハネ第一 4:8。これが神の性質です。私たちに対する神の愛はとても深いです
決して変えることのできない、堅固で不変なものです。「すべてが苦しむ...すべてが

次に、この犠牲に面した御子の立場を考えてみましょう。私たちはすでにそれを見てきましたが、キリストは神から生まれたとき、父と同じ聖さと愛を持っていました。

したがって、神の愛はキリストのうちにありました（ローマ 8:39）。さらに、キリストはすべてを創造されました。したがって、彼もまた統治し、彼の意志は父の意志と同等であり、それは生き物の法則でもありました。そして父は御父に逆らう気はなかったので、律法であり「善」である意志が悪を行うのと同じように、御子も同様でした。ただ生まれただけ。キリストが悪の誘惑を受けることは、御父と同様に不可能でした。キリストは神の独り子として、決して誘惑されるはずがありませんでした。

神が誘惑を受けるためには、被造物にならなければなりません。一方、神と律法は神の意志の表現であったため、キリストは律法の与え者でした。生き物は法の対象でした。つまり、あなたの意志と相手の意志は必ずしも同じではないということです。神。彼らには自由な選択がありました。彼らは法律に従うことを望み、それを選択することもできます。そこには。その証拠は、サタンとその天使たちと人々が罪を犯すことを選んだという事実です。

（ユダ 1:6; 創世記 3:6）一方、他の天使たちは従順を選びました。転生するとき、キリストは神によって造られた被造物の体を持って人間とされることになる（ヘブル10:5)ので、結果、人間の心。そうすれば、イエスは法の対象となるでしょう。これは何パウロはガラテヤ人への手紙でこう述べています。「時が満ちたとき、神は御子を遣わし、法律の下で生まれた女性」ガル。 4:4。今、人間として、生き物として、法として生きているそれはもはや神の意志の単なる表現ではありませんでした。後退した自然の中で存続していた苦しみ。この状態では、従順であり続けるということは、自分自身を次のことにコミットすることを意味します。パウロが次のように言っているのと同じように、常に自分自身と葛藤します。体を隷にし、それを隷に置く」コリント 9:27。パウロは、それはまさに可能にするためだったと明言しています。イエスが人間にされたのではないかという誘惑に駆られる：兄弟たちへ...なぜなら、イエスご自身が誘惑を受けて苦しんだことによって、彼らを助けることができるからです。誘惑されている人たちよ。」ヘブ。 2:17,18。

このシナリオでは、イエスの内なる罪と私たちの心の葛藤について考えてみましょう。

彼の人生の最後の瞬間。神が目的の達成から手を引かない限り愛の場合でも、最大の苦しみに直面した場合でも、人間の墮落した人間性では同じことは起こりません。墮落した人間は「自分のために働く」箴言16時26分。それは自然なことです。戻る。神の意志と人間の本性の意志の間には顕著な対照があります。落ちた。しかし、他人のために自分を寄付するのではなく、自分自身を守りましょう。命を与えるのではなく保持する他人を救うため。苦しみの道が神によって示されたときは撤退し、それは愛とは相反する利己的な行動を特徴とします。そしてご挨拶法の原則は愛です。したがって、それが神のやり方であるとき、犠牲を避けることは法律を犯すことを意味します。そして「罪は律法を犯すことです」ヨハネ第一 3:4。そこで、

イエスがゲツセマネで全人類の罪を自ら受け入れなかった場合、または御手に釘を打つことへの抵抗 - 御父が定めた犠牲からの逸脱 私たちを救うことは罪です。イエスは人間の墮落性に参加することによって、苦しみから逃れたいという人間の願望に参加し、誘惑される可能性があります。センス。

聖書はこう述べています。

欲望。"叔母。 1:14。イエスの生涯の最後の場面に照らして、次のことがわかります。

「欲望」は自分自身を守りたいという欲求でもあります。したくないことを避けるために自分自身を苦しみ、恥辱、嘲笑にさらすことを伴うときは神です。の息子

神にはこのような願いがありました。しかし、神を支配するかどうかは神次第であり、私たちの本性において神はそうされました。

父の恵みによって倒れた。「彼はこう祈った。「父よ、もしこの杯が私から過ぎ去ることができないなら」私がそれを飲まなくても、あなたの御心は完了します。」マタ 26:42。イエスは「〜に似て」来られた

「罪の肉」(ローマ 8:3)は、私たちの肉にあずかり、それに打ち勝ったのです。「そして、出身者は、キリストはその情熱と欲望のままに肉を十字架につけました。」ギャル。 5:24。として？

彼らはキリストに自分自身をささげました。そして私は生きています、もはや私ではなく、キリストです私の中に生きています。そして私が今肉体で生きている人生は、神の御子への信仰によって生きています。」 2:20。

ここでは、光の別の側面を露出させるために小さな括弧を作成する必要があります。

それはこの輝かしい犠牲から生まれます。イエスの人生の最後の場面の分析から、イエスが誘惑された「情欲」には、次のようなものだけが含まれていると結論付けられます。

通常想定されている、物質的なものや官能的な喜びに対する欲望。

それには、十字架の道からのあらゆる逸脱も含まれます。そこに人は神の規準の高さと栄光を見るのです性格の。情欲の誘惑に打ち勝つことは十字架の道を歩むことを意味します。当たり

このイエスは弟子たちにこう言われました。

あなた自身、自分の十字架を背負って、わたしに従いなさい」マタイ 16:24。「そして、彼のものを受け取らない人は誰でも、十字架にかかり、わたしについて来ないなら、あなたはわたしの弟子にはなれません。」リュック。 14:27。

この理解に照らして、使徒パウロの言葉は次のとおりです。

本当の意味：「神は御子を罪深い肉に似せて遣わし、

彼は罪によって肉の罪を非難しました。それは、律法の義が私たちのうちに満たされるためです。

それは、私たちが肉に従って歩むのではなく、御霊に従って歩むことです。」 8:3,4。つまり、

たとえ私たちが罪と激しく戦わなければならなかったとしても、罪を克服することは可能です。

私たちの人間性、肉体。というのは、イエスも同じことに直面し、それを克服されたからです

葛藤し、肉の邪悪な欲望をすべて克服し、人間と調和して生きます。

神の意志。これを行った後、「彼は肉において罪を非難しました」(ロマ8:3)。つまり、

神の恵みによって自由に罪を犯せると全宇宙に宣言しました。

たとえ人間の肉体であっても、勝利はすべての者の手の届くところにあるので、それは違法かつ不当である。

信仰の手によって神の力にしがみついた男、女、子供たち
自由に提供されます。そして神は私たちをこう招いておられます。
私と一緒に、はい、私と和解してください。」いさ。 27:5。

私たちはすでに、キリストがどのようにして人間となり、内なる葛藤とその両方を克服したかを学びました。
罪についての外側のこと。さて、私たちに残っているのは、彼の使命の最終目的に向かって前進することです -
それは、神が私たちの内に生きてくださるように、そして私たちが神と同じように罪を克服して、
保存されました。これについては次の章で説明します。

第14章

キリストは私たちの中に生きておられます

パウロは、「私たちの救い主イエス・キリストは…福音によって死を廃し、命と不死を明らかにされました」と述べています（テモテ第二 1:10）。「彼は死を廃止した」と言っても誰も知らされないあなたが望んでいない限り、自分の罪のために死ぬ必要があります。すべては彼の十字架の死によってです。残念ながら、多くの人は信じたくないでお金を払うでしょう。福音。

次に、イエスは死を廃止しただけでなく、「死を明らかにした」と書かれています。人生”。イエスの働きは私たちの過去の罪を償うことだけにとどまりませんでした。先に進みました - 男性に霊的な生活を送る可能性が開かれました。使徒ヨハネはこう言いました。

「私たちは兄弟を愛しているので、自分たちが死から命に移ったことを知っています。」 1 ジョン 3:4。許しを受けると「神の愛が私たちの心に注がれる」

私たちに与えられた聖霊によって。」ロム。 5:5。そして「律法の成就是愛です」（ロマ 14:30）。13:10）。したがって、霊的な生活を持つということは、愛のうちに歩み、律法と調和することを意味します。十戒を守るか、罪を犯さずに生きるか。本当に自分をキリストに捧げる人は誰でも、

「キリストのうちにとどまり、罪を犯してはなりません」ヨハネ第一 3:6。「神から生まれた者は罪を犯さない」罪;なぜなら、彼の種は彼の中に残っているからです。彼はから生まれたので、罪を犯すことはできません。神。"ヨハネ第一 3:9。これが真のクリスチャンが生きている状態です。

「神は私たちに永遠の命を与えてくださいました。そしてこの命は神の御子の中にあります。」ヨハネ第一 5:11。人生" 私たちに提案されているのは、罪に対する勝利です。彼は生きながらそれを生きた

ここ。ポールにはこんな経験がありました。彼はこう言いました。「私はすでにキリストとともに十字架につけられました。そして生きています、いいえもっと私ですが、キリストが私の中に生きておられます。そして私が今肉体で生きている人生は、御子の信仰によって生きています。神の」ガル。 2:20。主の命を持つということは、主の葛藤と誘惑に対する勝利を生きることを意味します。私たちの経験では。「キリストとともに十字架につけられて」生きるとは、神の意志に従って生きることを意味します。神も、ご自分と同じように、その信仰を通して。イエスは捕虜を解放するために来られました。

罪。そして私たちの内に生きることによって、神はご自身の使命を全うしてください。

しかし、私たちが生まれたときの墮落人間の自然な状態から、キリストとともに十字架につけられて生きるという点で、変化が起こらなければなりません。奇跡聖書では「新生」と呼ばれています。より深く理解できるように、以下の図に説明を添えて示します。最初人間イエス・キリストを、回心していない、つまり肉적인人間と比較しています。

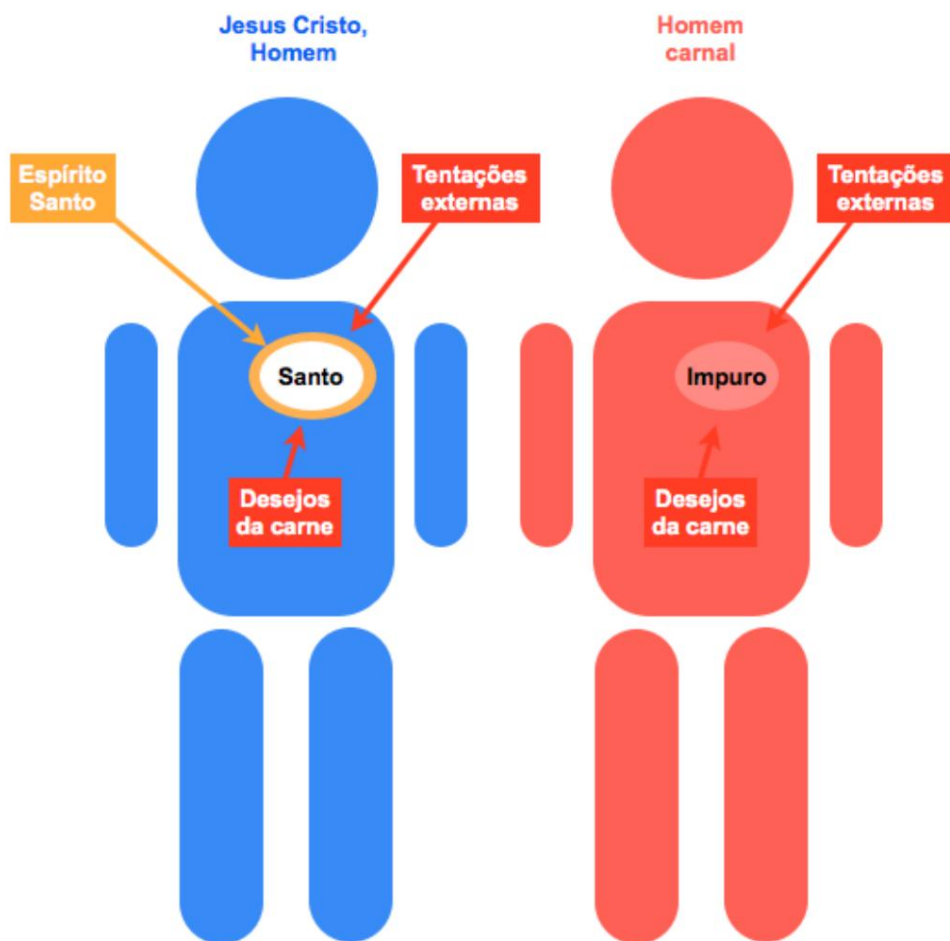


図: 人間イエス・キリストと回心していない(肉的な)人間との比較

イエス・キリストは青色で表現されています。青はエポデの色、覆いでした大祭司のローブを着て、律法への順守を表した

神の言葉：「あなたはエフォドの外套もすべて青色で作りなさい。」エクス。 28:31。聖書は次のように宣言しています

詩篇 97:6 は青い色の「天」が「神の義を宣言する」。そして正義もまた、

「あなたの戒めはすべて義です」詩 119:172 という戒めに相当します。

墮落した人間は罪の象徴である赤で表現されています。神は宣言した

イザヤに：「たとえあなたの罪が緋のようでも…」イザ。 1:18。その男

肉欲は罪人であり、神の戒めに従わない。

イエスと墮落した人間の主な違いは心にあります。の

イエスは白で表されます。聖書には、罪が起こると、

浄化されると「純粋な羊毛のように白く」なるのです。 1:18。ヨハネは天の軍隊を見た
「上質なリネンを着て、白くて清潔」アポック。 19:4。したがって、イエスの心は純粋であり、
罪の汚れも、罪への傾向もありません。

イエスは御父から聖霊の助けを受けました。それは次の図に表されています。
彼の心を覆う金の指輪のために。預言者ゼカリヤはこう尋ねました。
2本の金色のチューブの隣にあり、そこから流れ出ている2本のオリーブの枝
黄金の油？」それに対して天の使者はこう答えました。
主の前に立つ者たち」ゼク。 4:12,14. 油を注ぐことの意味を説明し、
「力や権力によってではなく、私の霊によって」ゼクは宣言した。 4:6。・
神によって注がれた聖霊は、誘惑に対する盾として役立ちました。

さて、墮落した人間は、神の助けなしに、自分自身で何も持っていません。
誘惑にうまく抵抗する保護または強さ。汚れた心を持っているだけでなく、
新しくされていないので、彼には神の霊だけが与えてくれる保護がありません。
したがって、それは害に対して完全に脆弱です。だから君の心が現れるんだ
図では、金色の保護リングなしで示されています。

イエスが地球に来てマリアから生まれたとき、イエスは「聖なる」心を持っていました。
それは汚れのない神の御子が地球に来られたことでした。しかし、男として彼の心は苦しんでいた
悪魔から来る外部の誘惑の圧力（マタイ 4:1）、この世の魅力（マタイ 4:8,9）、そして他の人の挑発（ル
カ 23:39）。そしてまた

彼自身の肉体の欲望または情欲から生じる内なる誘惑

（彼の「私」）、なぜなら「人はそれぞれ、自分自身のものに惹かれ、誘惑されるときに誘惑されるからです」
欲望」（ヤコブ 1:14）そしてイエスは「私たちと同じようにあらゆる面で誘惑されました」（ヘブライ 1:14）。 4:15。のために
上記のことを確認してください。ゲツセマネで主が次のように言われたときのことを思い出してみましょう。
わたしの意志ではなく、あなたの意志です」（ルカ 22:42）。誘惑に打ち勝つために、イエスは次のものを頼りにされました。
祈りに応えて父から送られ、父を守った聖霊の助け。

悪に対する心。彼は、「肉の時代に、大声で叫び、
彼を死から解放してくれる人への涙、祈り、嘆願は聞き届けられました...
息子よ、あなたは苦しんだ経験から従順を学びました。」ヘブ。 5:7,8.

このように、イエスは「あらゆる面で誘惑を受けたが、罪を犯さなかった」（ヘブライ1:3）。 4:15;そのままだった
地球上での生涯を通して、彼が地球に入ったときからずっと、神聖でした。宣教の終わりに、彼はこう言いました。

「この世の君主が近づいてくるが、彼はわたしのうちに何も持っていない」ヨハネ14:30。そして天国へ帰っていきました
彼は地球に来て受肉するために来たのと同じように、罪によって汚れがありませんでした。パウロはこう書きました。

「キリストは、多くの人の罪を取り除くために一度ご自身を捧げ、二度目に現れます。
罪のない者たちに、救いを待ち望んでいる者たちに。」ヘブ。 9時28分。

イエスとは対照的に、肉欲的な人間は生まれつきの性質を持たずに生まれます。

悪に抵抗する。私たちは墮落した弱い性質を持って生まれてくるという事実について、イエスは「肉から生まれたものは肉である」と言いました（ヨハネ 3:6）。そして、「肉に従っている者たち」彼らは肉の事柄に傾いている...肉の傾向は神に対する敵意である。

それは神の律法の対象ではありませんし、実際、そうすることはできません。したがって、中の人は、肉は神を喜ばせることはできない。」ロム。 8:7,8. 私たちは肉からできています。について話すとき「肉体の傾向」、使徒は「自己」の傾向、傾向を明らかにしています。

両親から受け継いだものであり、悪い習慣によって獲得されたものです。ポールもローマ人への手紙第7章5節では「情熱」と表現されています。辞書によると、情熱も支配的な習慣や依存症。ローマ人への手紙の本文の意味は、墮落した人間です。

彼は自分自身を喜ばせることが大好きで生まれており、その情熱を制御することができません。人生イエスが生きた霊的生活は、これとは正反対です。「私は天から降りてきたのです。

それは私を遣わした方の御心です。」ヨハネ 6:38。

イエスが次のように言われたように、心が汚れているとき、人は完全に汚れています。

「人間から出たものは人間を汚す。だって心の奥底から

邪悪な考え、姦淫、淫行、殺人、

窃盗、貪欲、邪悪、欺瞞、解散、羨望、冒涇、誇り、

狂気。これらすべての悪は内側から来て人間を汚染します。」マルコ 7:20-23。

イエスはこの箇所でも道徳的汚染について言及しています。もし人間が罪を大切にすれば

あなたの心は「道徳的に」汚染されています。言い換えれば、彼は違反者になります

神の聖なる律法。だからこそ、肉欲の人間の全身がその姿で表現されているのです。

赤という色によって。汚れた心は身体と精神、つまり存在全体を汚します。

さらに、肉欲的な人の心は神の霊によって守られていません。

したがって、あなたの道徳は内面の影響、または肉の欲望の結果です。

父親と母親の性格特性、および生涯を通じて獲得された性格特性から受け継がれたもの

人生。パウロはこう書いています。「わたしたちは他の人たちと同じように、生まれながらにして怒りの子でした」

2:3.受け継いだ罪の傾向についてダビデはこう言いました。

そして、母は罪を犯して私を身ごもりました。」詩 51:5.そしてその影響に関して

外部では、パウロは回心前の人間の現実を次のように説明しました。

王子によれば、誰が「不法行為と罪の中に生きた...この世の成り行きに従って」

空気の流れ、不従順の子供たちの中に今働いている霊の力。間に

私たちがもかつては肉の欲望の中で生き、そうしたことを

肉の意志と心の意志」エペソ 4: 2:2,3. つまり、私たちの墮落した性質において、

私たちは悪を行う傾向があり（私たちは肉欲的です）、抵抗する力がありません

誘惑。

人間が靈の働きに身を委ねるとき、変化が起こります。
次の図に示されている神。

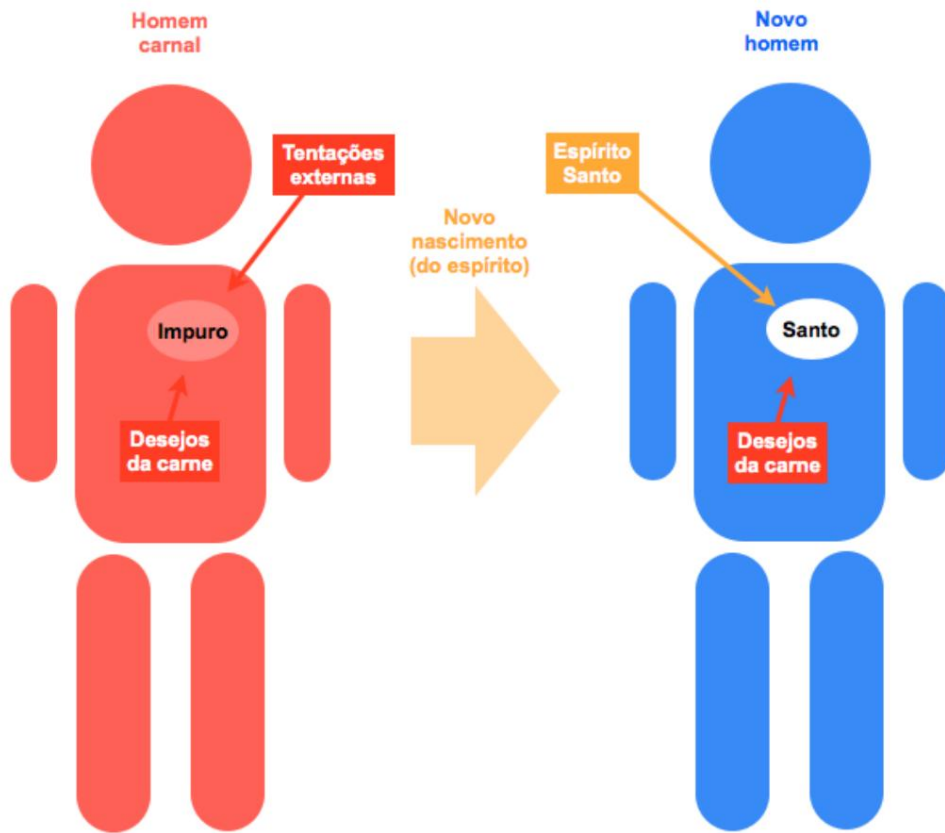


図: マンチャネル x 換算の比較

人間が神の聖霊の印象に抵抗できないとき、心は新しくなり、変化します。彼は神のご意志を行いたいという願望に満ちています。当たり前「今日神の声を聞くなら、心をかたくなにはなりません」とヘブライ1世は書いています。3:7,8。聖霊はその人に聖性を植え付けます。こうして心は清らかになり、神聖になります。つまり、悪から自分を遠ざける傾向があり、それは図の中での変化によって表されています。色 - 赤から白まで。

パウロは、霊が人の心の傾向に変化をもたらすと述べています。男：「肉の心は死だからです。しかし、御霊の傾向は命と平和です。肉の心は神に対する敵意であり、神の律法の対象ではないからです。」

実際、そんなことはありません...しかし、あなたは肉の中にはなく、霊の中にいます。」

8:6,7,9。この過程が新たな誕生です。

新しい人間の状態の前後の違いを説明してください

誕生の際、イエスはこう言われました。「肉から生まれたものは肉であり、肉から生まれたものは肉です。

精神は精神だ。」ヨハネ 3:6。霊は人間をその規範に従って行動するように導きます。

神の言葉と神の律法。イエスは「わたしがあなたに話す言葉は霊である」と言われました。

ヨハネ 6:63。そしてパウロは、「律法の義」は私たちの内で実現される、と付け加えています。

私たちは肉に従ってではなく、御霊に従って歩きます。」ロム。 8:4。モーセはこれを描写しました

現実をもっと単純な形で、次のような言葉で表現します。

心...心を尽くし、魂を尽くしてあなたの神、主を愛すること。

あなたが生きられるように。」ドイツ語。 30:6。

そして、心が新しくなれば、人間全体も新しくなります。を参照してください

心を道徳的に清めることについて、イエスはこう言われました。

清くなさい」ヨハネ 13:10。この変換は、図では色の変化によって表されています。

男 - 赤から青、法律の色。人間はかつては罪人でしたが、今では

従順に変えられました。

パウロは、この心と人間全体の変化を次の言葉で描写しています。

「心の霊を新たにしなさい。そして、神によれば、真の義と聖さをもって創造された新しい人を着なさい。」エフ。 4:23,24。

「聖なる」とは

「悪を避けること」に関連して：「これは神のご意志だから、あなたの

聖化。淫行を避けなさい」（1テサロニケ4:3）。言い換えれば、

回心して新しく生まれ変わった人間の心にキリストによって植え付けられた願望は、

悪から遠ざかる。したがって、新しい人は「真の義と聖さをもって創造された」のです。

（エフェソス 4:24）罪の道を避けてください。「だから、もし誰かがキリストのうちにいるなら、新しいのは、

生き物は;古いものは過ぎ去りました。見よ、すべてが再び行われる。」コリント第二 5:17。彼は行動する、

悪に関しては、天国の住人が行動するかのように。なぜなら、その神聖さゆえに、

神の霊によって植え付けられたものであり、彼は「神の性質にあずかる者」です（2ペテロ1:14）。

1:4）。神の言葉、つまり「神の種」が彼の魂に植え付けられました(1ヨハネ3:9)。

このため、彼の中に葛藤が生じました。

神聖さと肉体の欲望、それが世界の覇権を主張し続ける。

あなたの心。神からのほとぼしる神の助けによってそれらを克服することができます。

信仰の祈りに応えて聖霊が与えられます。したがって、回心した人間においては、

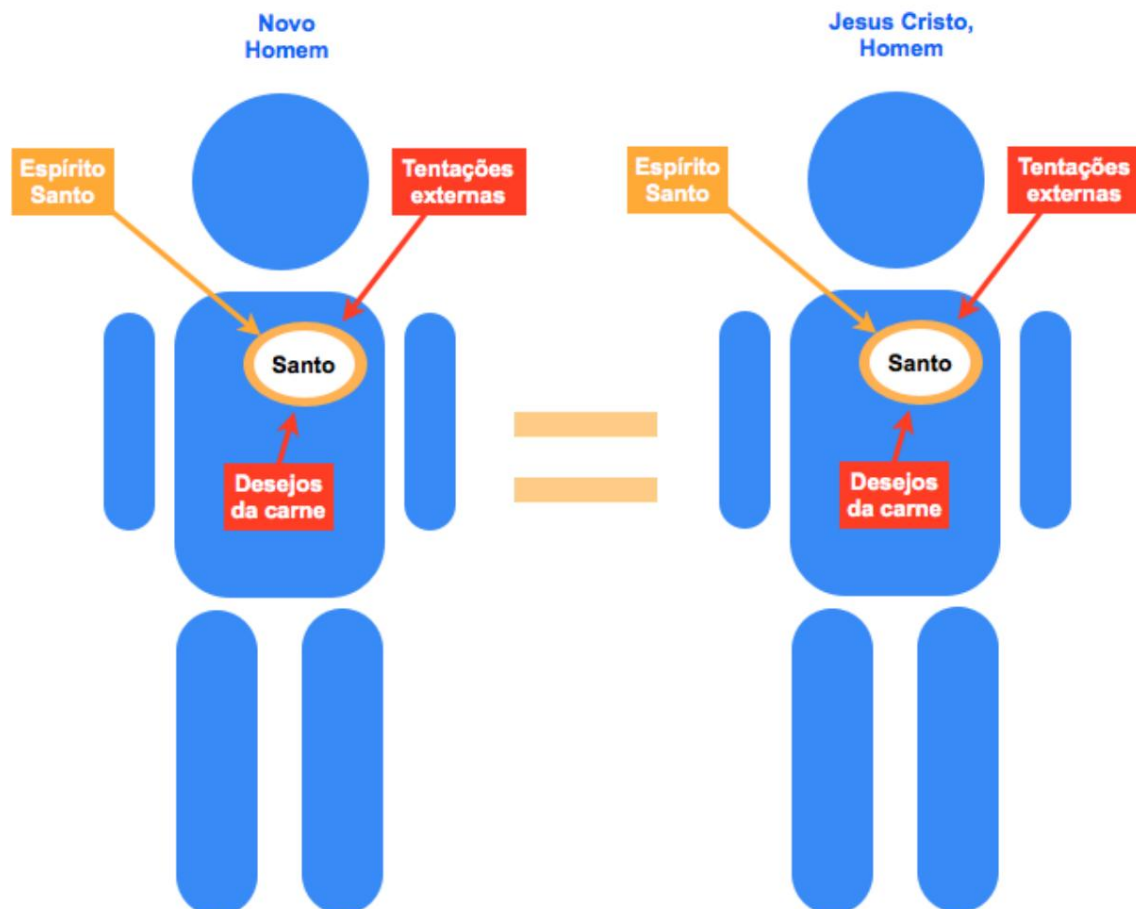
イエス・キリストの体験。

次の図では、精神のほとばしりによってどのように行われるかを示しています。

聖人よ、人間は効果的に戦うためにイエスと同じ立場に置かれています
罪に対して：

図 - イエス・キリストと改心した人の比較

キリストは、汚れのない神の子としてこの世に来られたので、純粋な心で生まれました。
地球。だからこそ、彼の心は白く見えるのです。墮落した人間には心がある
汚れていますが、彼とイエスとのこの違いは聖霊によって補われます
彼が回心するときに神によって送られる。そうすれば心は浄化されます。ピーターは言いました



神は新しく改宗したローマ人の「心を信仰によって」「清めた」と使徒 15:9 に記されています。当たり前で彼の心は白くなります。

彼らは雪のように白くなるでしょう」イザ。 1:18。

この結論は、他の推論に基づいて到達することもできます。ポール常に純粋な心を持っていたイエスを御霊ご自身として表現しています。

主についてこう言われました。「今、主は霊であり、主の霊のあるところには、

自由」IIコリント 3:17。「霊」であるということは、聖なるということを意味します。なぜなら、霊は「聖なる」ものだからです（使徒言行録

2:38);したがって、天使ご自身が宣言されたように、イエスは生まれたときから聖でした。

ルカ 1:35 にはこうあります。「あなたから生まれる聖者は神の子と呼ばれます。」その男

墮落した人間は、母親の子宮から「肉」として出てくるのです。しかし、生まれ変わると、

聖なるキリストの霊を受けます。

罪の赦しのために、イエス・キリストの名によって洗礼を受けました。そしてあなたはの贈り物を受け取ります

聖霊、使徒行伝 2:38。そして彼は「霊」、つまり霊的な人になります。

神の意志との一致：「肉から生まれたものは肉であり、肉から生まれたものは肉である」

霊から生まれたのは霊である」ヨハネ 3:6。こうしてキリストの聖性が彼の中に植え付けられ、

パウロはこう言っています。「そして、神が創造された新しい人を着なさい。

本当の正義と聖さ。」エフ。 4:24。イエスは「霊の傾向」を持っていました。

イエスは霊的で聖なる存在であったため（IIコリント 3:17、ルカ 1:35）、受肉されて以来、神の律法と「平和」を保っていました

（ローマ 8:6,7）。それは精神的な律法と調和していた

（ロマ 7:14）。人間はかつて「敵意」という「肉の傾向」を持っていました。

それは神の律法の対象ではないからです。ただし、変換後は、

聖霊にも霊の傾向があります。それから男はその中に入れられます

イエスが誘惑に直面したときと同じ立場、すなわち悪と戦うのと同じ立場

「純粋な」心から出発し、精神の傾向、つまり、そうしたいという願望と強さを持っていること。

従う。

この観察から、パウロが書いた次の文章をよりよく理解できます。

しかし、確かに神の御霊があなたの内に住んでいるのであれば、あなたがたは肉の中にはなく、御霊の中にいます。

しかし、キリストの御霊を持たない人は、彼のものではありません。」ロム。 8:9。もしその男が

神の霊の働きに抵抗しないでください。それはあなたの心を清めます。それで神はできるのです

彼の心の純粋さ、神聖さ、愛のために、彼を息子として認めてください。

つまり、神のDNA、または「神の種」が人間の中に見られます。あると言える

父なる神と人間の息子との類似点。したがって、人間は次のものに属します

家族。このような経験をするとき、私たちは自分が神の家族の一員であることを知ります。

同じ御霊が、私たちの霊とともに、私たちが神の子であることを証ししてくださいます。」ロム。 8時16分。または

つまり、神は私たちが養子縁組によって神のものであるという事実を私たちの心に刻み込んでいるのです。私たちは神に神の子供として認められており、そのように神によって配慮されています。

イエスの心と回心した人の心とを比較すると、

ここで、誘惑に対する両者の闘いを考えてみましょう。男が物乞いをするとき
神よ、祈りによって勝利を助けてください、聖霊が送られ、あなたの心を守ります

内外の誘惑に負けないように、つまり

それは彼の心臓の周りの金の輪によって図で示されています。注意してください。

経験はイエスの経験に等しい :心は霊によって清められ、武具を得る

聖なる、悪に対して。そして、このような状態にあったイエスが勝利したのですから、次のことは明らかです。

男も勝つ。

パウロは、聖霊が私たちの内で悪霊と戦うとき、次のように説明しています。

私たちの肉の欲望に対して、神は常に勝利します。

肉の欲望。なぜなら、肉は御霊に対して欲情し、御霊は霊に対して欲情するからである。

肉;そしてこれらは互いに対立するので、あなたが望むことはできません。」ギャル。 5:16,17。

そこでは肉体の「貪欲」として表現される欲望は相反するものであると彼は説明する。

「霊」が私たちの魂に植え付けるものに。そして精神がそれに反して作用した結果、

肉体は「自分の思い通りにならないように」という言葉で表現されています。言い換えれば、我々は、肉の意志、自己の意志。

しかし、これは私たちが避難することを「選択」したときに起こることを明確にすることが重要です。魂によって植え付けられた欲望。パウロはこのことを次のように書いています。

あなたは肉の欲望を満たしてはならない。」 「歩く」ということには選択が伴います。私たちはただ歩くだけです。私たちが望むなら。

ガラテヤ人への手紙の中で示されている教えは、ガラテヤ人への手紙の繰り返しです。

ローマ人への手紙: 「どちらも、自分の会員を罪の道具として差し出してはなりません」

不法行為。しかし、あなた自身を死者の中から生き返った者として、そしてあなたのメンバーとして神に差し出しなさい。

義の道具として神に……罪の僕であった神に感謝します。

あなたは自分に与えられた教義の形式に心から従ったのです。そして、そこから解放されて、

罪よ、あなた方は義の僕とされたのです...ちょうど自分の会員たちを表したのと同じように

「不潔に仕え、悪には悪に仕える」 - 過去、回心前

- 「それで今ここにいます」 - 改宗後 - 「あなたのメンバーは、

義は聖化に至るのです。」ロム。 6:13-19。

ガラテヤ人への手紙の本文に戻ると、使徒がこれを強化し続けていることがわかります。

したがって、次のように言うとき、その概念は次のようになります。

法律の。」ギャル。 5:18。 「ガイド付き」という用語は、当社の自発的な同意を意味します。それはただ

「導かれる者」は、そうすることを選択し、それを許可する人です。キリストに導いてもらう人です。

次にパウロは、この経験が実際にどのように生かされているかを、対照的に説明します。

古代の肉の働きと現在の肉の働き：「肉の働きは明白だから、それは、姦淫、淫行、不純、好色、偶像崇拜、魔術、敵意、争い、真似、怒り、喧嘩、意見の相違、異端、羨望、殺人、酩酊、暴食とそれに類するものについては、以前と同様にあなたに宣言します。そのようなことをする者は神の国を受け継がないと言いました。しかし、その果実は、精神とは、愛、喜び、平和、忍耐、優しさ、善意、信仰、優しさ、節制... そしてキリストに属する者たちは、その情熱と肉を十字架につけました。欲望。」ギャル。 5:19-24。「肉を十字架につける」という用語は、それを殺すことを意味します。つまり、あなたの悪い欲望を消滅させてください。改心した人が選択すれば、これは可能です。スピリットによってあなたの魂に植え付けられた純粋な欲望を満たしてください。そうすることで、彼は与えます。神があなたの心の中で働き、肉の欲望を抑える許可を与えてください。それから、精神が肉体に打ち勝つのです。したがって、「これらの人々を非難することはない」と言うのは正しい。彼らはキリスト・イエスのうちにあり、肉に従ってではなく、御霊に従って歩む人たちです。」ロム。 8:1。清く歩む者は決して悪人として非難されることはありません。誰が歩くのか。十戒の律法に従えば、十戒によって非難されることはありません。違反者。パウロはこの真理を次の言葉で表現しています。

あなたは法律の下にいません」ガル。 5:18。

聖霊は修復の働きにおいて二重の役割を果たすことに注意してください。

落ちた男。一つ目は、かつて汚れていた心を新たにして、新たに創造することです。神聖さ、イエス・キリストが地球に来たときのように純粋であり続けること。これは顕著です。その姿を見ると、キリストと人間の両方の心が白く見えます。あ。二つ目は、肉の欲望に抗してそれを克服し、純粋さを保つことです。彼は神のご意志を行うことを粘り強く選択します - それは指輪によって表されます。あなたの心を守る金色の盾。

人間イエス・キリストと回心した人間のイメージを比較すると、

この図を見ると、神と改心した人間がどのようにして勝利を収めたかが注目される。誘惑も全く同じです。したがって、イエス・キリストに加えて、私たちの救い主は、実際、私たち全員ができること、またそうあるべきであるという模範です。地球上で義と聖さのうちに歩んでいます。

「だから、私たちも...あらゆる重荷と、それに密接に関係している罪を脇に置きましょう。

私たちを取り囲んで、目の前に設定されたレースを忍耐強く走りましょう。

信仰の創始者であり完成者であるイエスは、ご自身の前に置かれた喜びのために、苦難に耐えられました。

恥を軽んじて十字架を負い、神の御座の右に座りました。したがって、次のように考えてください。

ご自分に対して罪人たちからのそのような矛盾に耐えられた方は、そうならないように、

弱り、気を失います。あなたはまだ血が出るほど抵抗したわけではありませんが、罪との戦い。そして、あなたは次のように主張する勧めを忘れましたか？
わたしの子よ、主の矯正を軽蔑しないでください、そして気絶しないでください。
あなたが神に叱責されたとき。主は愛するものを正し、鞭打たれるからである。
彼が息子のために受け取ったものは何でも。あなたが矯正に耐えるなら、神はあなたを子供として扱います。
というのは、父親が正さない息子がいるだろうか？しかし、規律がなければ、
全員が参加者にされると、あなたたちは子供ではなくろくでなしになります。さらに、
私たちの先祖は肉に従って私たちを正してくれており、私たちは彼らを尊敬しています。私たちではありません
私たちは生きるために霊の父にもっと服従すべきでしょうか？なぜなら、それらは、
確かに、しばらくの間、彼らは私たちを彼らが適切だと思うように修正しました。しかし、これは、
神の神聖にあずかることが私たちの利益です。

そして実のところ、現時点では、すべての矯正は喜びではなく、喜びであるように思われます。
しかし、悲しみによって行使された人々の中に、平和な正義の実が生まれます。したがって、
疲れた手とバラバラの膝をもう一度持ち上げてまっすぐな道を作って
あなたの足のために、足を引きずっている人が完全に迷わないように、
閉まっている。

すべての人たちとの平和と聖性を追い求めなさい。それがなければ誰も主を見ることができません。持っている
誰も神の恵みを奪わないように、そして苦い根が残らないように気をつけなさい
湧き出てあなたを邪魔し、それによって多くの人が汚されるでしょう。そして誰も不当なことをしないようにしなければ、
食事のために長子の権利を売ったエサウのような不敬な者。なぜ
彼が祝福を受け継ぎたいと思ったにもかかわらず、受け継がなかったために拒否されたことはあなたもよく知っています。
彼は涙を流しながら探し求めましたが、悔い改めの場所を見つけました。なぜ到着しなかったのですか
火で燃え上がる具体的な山へ、そして暗闇へ、暗闇へ、嵐へ、そして
ラッパの音と、それを聞いた人々が尋ねた言葉の声。
もう話さなかった。なぜなら、彼らは命じられたことに耐えられなかったからである :たとえ動物であっても
山に触れると石を投げられるか槍で追い越される。そしてその光景はあまりにも恐ろしかったので、
モーセは言いました、「私は皆驚いており、震えています。」しかし、あなたはシオンの山に来て、
生ける神の都、天のエルサレム、そして何千もの天使。普遍的に
天に記されている長子の集会と教会、そして裁判官である神に
すべて、そして完全にされた義人の霊に。そして新しいものの仲介者であるイエスに
契約、そして振りかける血、それはアベルの血よりもよく語ります。

話し手を拒否しないように注意してください。なぜなら、もし逃げなかった人たちが
地上で彼らに警告したことを拒否し、ましてや私たちが神から背を向けるなら。
天から。その声は当時地球を動かしましたが、今ではこう告げています。
もう一度、地球だけでなく空も動かしてみます。そしてこの言葉「もう一度、」

作られたものなど、動くものの変化を示し、動かないものは残る。したがって、揺るぎない王国を受け取ったので、しっかりと保ちましょう。恵みによって、私たちは敬意と敬虔さを持って受け入れられる形で神に仕えます。」ヘブ。 12:1~29.

キリストを通して神聖に生きる方法を学んだ私たちには、まだ知るべきことが残っています。私たちと、同じ体験をする他の参加者にとっての目的です。• 次の章でそれが分かります。

教会におけるキリストの働き - キリストの再臨の前提条件

「イエス・キリストは……死を廃止し、福音を通して命と不死を明らかにされました」 テモテ第二 1:10

聖書は、イエスが7番目の最後のラッパの音とともに戻ってくると宣言しています。黙示録: 「主ご自身が叫び声と大天使の声とともに天から降って来られます。そして神のラッパとともに。そして、キリストにあって死んだ人々が最初によみがえります。後、生きていて残っている私たちは携拳されるであろう」テス。 4:16,17 「見よ、あなたに言います。謎: 確かに、私たちは全員が眠るわけではありませんが、全員が変身するでしょう。最後のトランペットが鳴る前の瞬間、瞬く間に。ラッパが鳴り響くからです。死者は朽ちない者としてよみがえらせられ、私たちは変えられるのです。」コリント第一 15:51,52。

「しかし、第七の天使の声が聞こえる日、彼がラッパを吹き鳴らそうとしているとき、そうすれば神の奥義は成就するであろう」アポック。 10:7。パウロはその謎を明らかにしています。神は教会員の性格におけるキリストの啓示です。異邦人の間でのこの神秘、つまりキリストの栄光の富が何であるかを知ることです。栄光の希望よ、あなたよ」コロサイ 1:27。キリストがおられるとき、第七のラッパが鳴るでしょう彼の教会で明らかにされました。そして彼のタッチの響きの中でキリストは戻って来られます。

まずキリストのご性質が教会で明らかにされなければなりません、それからキリストは来られますそれを探す。「キリストは教会を愛し、彼女を聖化するために彼女のためにご自身をささげました。御言葉によってそれを水で洗い清め、御自身に教会を差し出す。

輝かしく、シミやしわなどは何もなく、しかし神聖で非の打ち所がありません。」エフ。

5:25-27。

経験によれば、キリストの性格は人間の中に生きているときに形成される

前の章で見たこと。そしてこれは、その人が神と出会った後に起こります。

彼を受け入れてください。人は神の言葉を読むことによってこの経験をすることができます。

キリストは「言葉」です（ヨハネ1:14）。私たちは旧約聖書と新約聖書を学ばなければなりません。

神を見つけること、神について知ること、つまり神が誰であり、誰であるか、神が何をし、何をしているのかを知ることだけが目的です。

私たち。「あなたが聖書を調べるのは、聖書の中に永遠の命があると思うからであり、聖書こそが永遠の命であるからです」

わたしについて証ししなさい」ヨハネ 5:39。したがって、「知らせてください、そして知らせ続けてください」

お客様;彼の出発は夜明けのように確実である。そして彼は雨のように、雨のように私たちのところに来てくださいます

地を潤す末日。」ホセア書 6:3。神は私たちに御霊を注いでくださるでしょう。

雨とともに、彼は私たちの中に住むでしょう。そのとき、イエスが言われたことが成就します。

あなたは、わたしが父の中におり、あなたがわたしの中におり、わたしがあなたの中にいることを知るでしょう。」ヨハネ 14:20。これが

この本はこの旅の最初の衝動として機能し、あなたはキリストと

彼の学びについて。

完全に確実に言えるのは、もし地球上のすべての人々が

皆、キリストを見つけることだけを目的として、御言葉を誠実に研究しなさい。

彼らは神の霊を見つけて受け取ったでしょう。「求める者は見つけるからです」マタイ 7:8。

そうすれば、イエスはそれぞれの教会の中に住み、教会はイエスを受け入れる準備が整います。彼はすでに

私は戻っていただろうし、この本を書く必要はまったくなかったでしょう。しかし、どうしてそうならないのか

起こったとしても、多くの人々がそれによって恩恵を受け、祝福を受けることができます。

おそらくあなたにも神がいるように、読書を通して神を見つけてください。

イエスは、「そして、私が地から引き上げられるとき、すべての人々を私のもとに引き寄せます。」と言いました。ジョン

12時32分。十字架上のキリストの啓示、彼の犠牲、そしてそのすべての真実

影響を受けるすべての人の心を魅了します。したがって、これであれば、

この本は、あなたの目と心をキリストに引き寄せ、他の人たちに

同じ祝福を受ける機会、それを分かち合ひましょう。誰にでもプレゼントをあげましょう

コピーを愛でたり、貸して読んで他の人の人生を祝福したりしてください。あ

キリストの啓示は福音です。そして主は私たちに次の使命を与えられました。

世よ、すべての造物に福音を宣べ伝えなさい」（マルコ16:15）。「そしてこの王国の福音は

すべての国民への証人として世界中で宣べ伝えられれば、やがて終わりが来る。」マツト。

24時14分。したがって、ぜひこの本とメッセージを宣伝し、広めてください。

その中で暴露されると、私たちは「神の日の到来を早める」ことになるでしょう。 3:12。イエスはこう言いました。

「それでは、主人が彼の家の管理者に任命した忠実で賢明な僕とは誰なのでしょうか。

あなたの時間に栄養を与えますか？主人がこう言った僕は幸いである。

さあ、自分がこのように奉仕していることに気づいてください。」マタイ 24:45,46. わたしたちは忠実で賢明な僕となり、広めていきます。

この真の霊的食物、つまりキリストの啓示を他の人に伝えるでしょうか？天国が待っています

はい。それでいいのです！神のお恵みがありますように。